

スリランカ国
南部地域の村落生活向上
プロジェクト（SouthCAP）
中間レビュー調査報告書

平成21年11月
（2009年）

独立行政法人 国際協力機構
（スリランカ事務所）

スリ事
JR
09-002

スリランカ国
南部地域の村落生活向上
プロジェクト（SouthCAP）
中間レビュー調査報告書

平成21年11月
（2009年）

独立行政法人 国際協力機構
（スリランカ事務所）

序 文

独立行政法人国際協力機構は、スリランカ国と締結した討議議事録（R/D）に基づき、提案型技術協力（PROTECO）「南部地域の村落生活向上プロジェクト（SouthCAP）」を2007年3月から4年間の予定で実施しています。

プロジェクトが中間時点で達したことから、当機構はプロジェクトの目標達成度や成果等を分析するとともに、今後の方向性を協議するため、スリランカ国側と合同で2009年4月20日から5月6日まで中間レビュー調査を実施しました。

本報告書は、同調査によるプロジェクト関係者との協議及びレビュー調査結果等を取りまとめたものであり、本プロジェクトならびに関連する国際協力の推進に活用されることを願うものです。

終わりに、本調査にご協力とご支援をいただいた内外の関係各位に対し、心から感謝の意を表します。

平成21年11月

独立行政法人国際協力機構
スリランカ事務所
所長 志村哲

目 次

序文

目次

現地調査写真

プロジェクト位置図

略語表

評価調査結果要約表（和・英）

第1章 調査の概要	1
1-1 調査実施の経緯と目的	1
1-2-1 調査団員構成	1
1-2-2 調査期間	1
1-3 プロジェクトの背景と概要	1
第2章 評価の方法	3
2-1 評価設問と評価手法	3
2-2 データ収集方法	4
2-2-1 質問票	4
2-2-2 面談及びインタビュー	5
2-2-3 現地調査	5
2-2-4 文献レビュー	5
2-3 データ分析方法	6
2-4 評価手法の限界	6
第3章 プロジェクトの実績及び実施プロセス	7
3-1 投入実績	7
3-1-1 日本国側投入	7
3-1-2 スリランカ国側投入	8
3-2 活動実績	9
3-2-1 アウトプット1のための活動	9
3-2-2 アウトプット2のための活動	12
3-2-3 アウトプット3のための活動	13
3-2-4 アウトプット4のための活動	14
3-2-5 その他の活動	17
3-3 アウトプットの達成状況	17
3-3-1 「アウトプット1」	17
3-3-2 アウトプット2	18
3-3-3 アウトプット3	18
3-3-4 アウトプット4	19

3-4	プロジェクト目標の達成見込み	20
3-5	上位目標の達成見込み	21
3-6	活動の実施プロセス	21
3-6-1	実施プロセスの妥当性	21
3-6-2	プロジェクト・マネージメント	22
3-7	プロジェクトの貢献及び阻害要因	24
3-7-1	貢献要因	24
3-7-2	阻害要因	25
第4章	評価5項目における評価結果	27
4-1	妥当性	27
4-2	有効性	27
4-3	効率性	28
4-4	インパクト	29
4-5	自立発展性	30
第5章	結論	31
第6章	提言と教訓	32
6-1	提言	32
6-1-1	スリランカ国政府側への提言	32
6-1-2	スリランカ国政府及びプロジェクト・チーム側への提言	32
6-1-3	プロジェクト・チームへの提言	33
6-2	教訓	33
6-2-1	郡次官事務所のアシスタント・プロジェクト・マネージャー（APM）の配置	33
6-2-2	住民契約システム（CCS）の効果	33
付属資料		
1.	主要面談者	37
2.	カウンターパートリスト	39
3.	協議議事録（M/M）※合同評価報告書を含む	45
4.	聞き取り調査結果	111
5.	質問票回答	121

現地調査写真



1. パッションフルーツ栽培農家への聞き取り



2. 住民コントラクトで改修された頭首工の視察



3. 南部州首席次官との協議



4. RCC での調査結果報告



5. JCC での調査結果報告



6. JCC でのミニッツ署名

プロジェクト対象地地図



0.6 0 0.6 1.2 Kilometers



略語集

ADB	Asian Development Bank	アジア開発銀行
AI	Agriculture Instructor	農業指導員
APM	Assistant Project Manager	アシスタントプロジェクトマネージャー
ARPA	Agriculture Research and Production Assistant	農業普及員
ASC	Agrarian Service Center	農業サービスセンター
CAP	Community Action Plan / Community Action Planning	村落行動計画
CBO	Community Based Organisation	住民組織
CCS	Community Contract System	コミュニティ契約システム
CPH	Carbonised Paddy Husk	籾殻薫炭
DDA	Deputy Director Agriculture	州政府農業局副局長
DO	Development Officer	開発担当官
DS	Divisional Secretary	郡次官
FBG	Family Business Garden	ファミリー・ビジネス・ガーデン
FO	Farmers' Organisation	農民組織
GA	Government Agent	県次官
GN	Grama Niladhari (the smallest administrative unit of Sri Lanka, or Head of Grama Niladhari Division)	行政村、村落行政官
HDCC	Hambantota District Chamber of Commerce	ハンバントータ県商工会議所
HEC	Human Elephant Conflict	ゾウと人間の衝突
HNB	Hatton National Bank	ハットン・ナショナル・バンク
HPPC	Hambantota Product Promotion Committee	ハンバントータ地元産品振興委員会
ICTAD	Institute for Construction, Training and Development	建設・研修・開発研究所
IPM	Integrated Pest Management	総合防除
ISTI	In-Service Training Centre	インサービス研修センター
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人 国際協力機構
JIRCAS	Japan International Research Centre for Agricultural Sciences	国際農林水産業研究センター
JOCV	Japan Overseas Cooperation Volunteers	青年海外協力隊
LDI	Livestock Development Instructor	畜産開発指導員

MoLGPC/MLGPC	Ministry of Local Government and Provincial Council	地方政府省
NGO	Non Governmental Organisation	非政府組織
NWSDB	National Water Supply and Drainage Board	上下水道局
OJT	On the Job Training	実地訓練
O&M	Operation and Maintenance	維持管理
OVOP	One Village One Product	一村一品
PDM	Project Design Matrix	プロジェクトデザインマトリックス
PHI	Public Health Inspector	保健指導員
PIC	Project Implementation Committee	プロジェクト執行委員会
PID	Provincial Irrigation Department	州灌漑局
PMM	Progress Monitoring Meeting	進捗共有会議
PMT	Parachute Method of Transplanting	パラシュート移植法
PS	Pradeshiya Sabha	プラデシヤ・サブハ（郡議会）
RCC	Regional Coordination Committee	地域調整委員会
R/D	Record of Discussions	協議議事録
RDS	Rural Development Society	農村開発組織
RDS	Rural Development Society	村落開発組織
SDO	Samurdhi Development Officer	サムルディ開発オフィサー
SEDD	Small Enterprise Development Division	小規模企業開発部
SEEDS	Sarvodaya Economic Enterprise Development Service	サルボダヤ経済企業開発サービス
SME	Small and Medium Enterprise	中小企業
SouthCAP	Project on Rural Livelihood Improvement in Hambantota District	南部地域村落生活向上プロジェクト
TO	Technical Officer	テクニカルオフィサー
TOT	Training of trainers	講師研修
VCC	Village Coordination Committee	村落開発調整委員会
VIDATHA	Local institute of science and technology	地方科学技術研究所（科学技術省の下部機関）
WDF	Women Development Fund	女性開発基金

評価調査結果要約表（中間レビュー）

1. 案件の概要	
国名：スリランカ民主社会主義共和国	案件名：南部地域の村落生活向上プロジェクト (SouthCAP)
分野：農業・農村開発	援助形態：PROTECO（課題開発タイプ）
所轄部署：スリランカ事務所	協力金額（評価時点）：約 212 百万円
協力期間	R/D 署名日： 平成 19 年 1 月 12 日
	協力期間： 平成 19 年 3 月～平成 23 年 3 月 (4 年間)
	先方関係機関： 1) 主務官庁：スリランカ国地方政府・州評議会省 2) 実施機関：南部州評議会
	日本国側協力機関：無し
	他の関連協力：無し
1-1 協力の背景と概要	
<p>本プロジェクトの対象地域であり、スリランカ国内でも特に生活環境の厳しい地域である南部州ハンバントータ県（人口 42 万人、州内人口の 18%）では、年間降水量が 1000mm 未満のため、農村部においては、農業用水はもちろんのこと、生活水の確保も容易ではなく、伝統的なため池に頼り、政府の給水車に依存した生活を送っている。また、貧困農家には多くの余剰労働力が存在しているが、他の就業機会が限られており（全国平均失業率 7.6% に対し、20% を超えている）、限られた土地で農業に従事することを余儀なくされている。</p> <p>スリランカ国政府は、地域の状況を踏まえた行政サービスを住民に提供するため、1987 年に憲法改正を行い、中央から州へ行政の権限を移した。また、行政サービスのうち村レベルのインフラ整備については、住民のニーズをよりの確に踏まえたものとし、かつ整備されたインフラに対する住民のオーナーシップの醸成を目的として、その企画・実施・管理を既存住民組織が受託する“コミュニティ契約システム”（CCS）という方式を導入した。同制度は、同国北東部で内戦からの復旧・復興支援等で活用されているが、開発から取り残されてきた南部州ではほとんど活用されていない。その促進のためには、制度活用の下地となる住民組織及び彼らをファシリテートする行政官の能力強化が不可欠な状況となっている。この状況を踏まえ、本プロジェクトは、コミュニティ行動計画の策定・実施を通じた南部貧困地域の生活向上を目的として、南部州政府をカウンターパート（C/P）機関として、2007 年 3 月より 4 年間の予定で実施され、プロジェクト対象県内 9 行政村に対し、“コミュニティ行動計画”（CAP）の策定、住民組織による農村インフラの整備支援、農業技術の指導、収入向上支援を行っている。</p>	
1-2 協力内容（PDM）	
(1) 上位目標	
ハンバントータ県及び南部州地域において、プロジェクトを通じて認知された参加型開発のコミュニティに対する取り組みが普及することにより、住民の生計向上及び生活改善が図られる。	
(2) プロジェクト目標	
対象地域において、住民の生計向上及び生活改善のために、CAP や CCS の有効活用を通じた参加型村落開発の体制、仕組みが機能する。	

(3) 成果

1. 選定された行政村で CAP が策定され具体的な事業が抽出される。
2. CAP の実施に対し、郡調整委員会が機能する。
3. 具体的な事業の実施を通じ、住民及び住民組織の地方インフラ建設・整備能力が向上する。
4. 住民及び住民組織の生産・生活環境改善の実施活動及び維持能力が向上する。

(4) 投入（評価時点）

日本国側：

専門家派遣 8 名（70 人月） 機材 9,710 千円
ローカルコスト負担 68,660 千円

相手国側：

カウンターパート配置 97 名 C/P 予算 21,696 千スリランカ・ルピー
事務所施設提供；南部州評議会ハンバントータ県庁舎の一棟

2. 評価調査団の概要

調査者	調査団員数 7 名	
	(1) 団長・総括	西野 恭子 国際協力機構 スリランカ事務所 次長
	(2) 参加型開発	赤松 志朗 国際協力機構 国際協力専門員
	(3) プロジェクト運営	湯浅 啓一郎 国際協力機構 スリランカ事務所 所員
	(4) 評価分析	飯田 春海 グローバルリンク・マネジメント (株)
	(1) H.W. Wijayaratne	Project Director – Special Projects, SPC
	(2) M.H.S. Dayaratne	Economic Development Specialist, Hambantota District Chamber of Commerce and Industries
	(3) I.V.N. Preethika Kumudunie	Deputy Chief Secretary (Planning), SPC
調査期間	平成 21 年 4 月 20 日（日）～5 月 6 日（水）	評価種類：中間レビュー調査

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

- (1) 成果 1～4 の達成状況は以下のとおりである。

成果 1：選定された行政村で CAP が策定され具体的な事業が抽出される。

- ①各行政村における CAP の策定準備過程において、各村における CAP 策定の準備過程において、各種の技術研修が実施され、住民側の参加者数合計は 688 名、行政官の参加者数合計は 154 名となった。
- ②その結果として、2008 年 1 月時点において、全 9 つの行政村で CAP を完成させた。各 CAP において、村の課題に対応する小規模インフラ整備事業や農業分野等の生計向上事業の優先付けが行われ、準備が終わったものから実践に移された。
- ③各村における第一次の小規模インフラ整備事業が終了する過程に至った段階で、各村で現状を確認するための CAP レビュー・ワークショップが開催された。同ワークショップにおいて、参加した住民より、自らが事業に関わった事業の有効性について、多数の報告がなされた。

成果 2：CAP の実施に対し、郡調整委員会が機能する。

- ①プロジェクト活動開始後に、プロジェクト執行委員会（PIC）は、支援対象となる 3 郡においてそれぞれ、組織され、各行政の CAP の進行状況の把握や、実施上の課題が検討、調整が行われることとなった。2007 年 8 月の設立以降、年間 6 回以上の会合が各郡において開催されており、現在までの総開催数は、ハンバントータ郡で 12 回、スーリャウェワ郡で 9 回、そして、ルヌガンヴェヘラ郡で 12 回となっている。
- ②各郡次官、職員及びプラデシヤ・サブハ議長等において、CAP の調整を図る PIC の重要性は認識されている。
- ③一方で、郡次官、郡評議会議長、各行政村長（グラマ・ニラダリ）以外の行政官（農業指導員、畜産局職員、サムルディ職員、保健士等）の当事者意識は低く、PIC への参加率が芳しくない状況となっている。

成果 3：具体的な事業の実施を通じ、住民及び住民組織の地方インフラ建設・整備能力が向上する。

- ①建設（技術）研修、建設管理研修、運営維持（O&M）研修が、其々、各行政村において、実施された。建設（技術）研修においては、8 村で想定していた参加者の 70%以上が参加した（ケリヤプラ村のみ 65%）。また、建設管理研修では平均 78%、運営維持（O&M）研修では、平均 90%の想定参加者が研修を受けた。
- ②各行政村において、CAP における優先事業であった小規模インフラ整備事業が実施された（VCC において合意に達しなかったイハラクンブックウェワ村を除く）。全ての小規模インフラ整備事業において、CCS に則って事業が実施されたが、プロジェクト側の徹底した管理の指導の下で安全基準が遵守され、工事が施行された。これらの事業は 2009 年 3 月までには全て終了した。
- ③また、ほとんどの事業では合意された契約金額内で事業が行われた。一方、いくつかの事例では、住民側の都合によって一部の工事がキャンセルされ、そのための代替工事が契約外で実施された。
- ④住民に対する運営維持（O&M）研修を通じて、各村において整備された小規模インフラ施設の維持管理計画が策定された。

成果 4：住民及び住民組織の生産・生活環境改善の実施活動及び維持能力が向上する。

- ①プロジェクトは、行政村の農産物等の生産力向上や収入の増加を図るため、住民を対象とした様々な研修や実施訓練を行った。収入向上活動において、9 つのワークショップ/研修が実施され、予期された参加者のうち、91%が参加した。また、農業・畜産分野の活動において実施された、83 の研修、実地訓練に、計 1,623 人が農家より参加した。
- ②農業・畜産分野における 19 種類の技術的指導・実施訓練において、40%以上の参加者があり、新たに導入された技術によって、その収入の向上を図っている。
- ③地域で産出される生産物の販売促進を図り、地域振興を担っていくためのプラットフォームとして、「ハンバトータ地元物産品振興委員会（HPPC）」の設立と活動を支援した。また、象と住民との接触による被害を避けるために、「象の生態及び被害に係る実態調

査」が実施され、その結果の共有がなされた。

- ④他方、各行政村において、CAPに基づいた事業の進捗の確認と課題を検討するために、2007年11月以降、VCCの定期会合が開催されている。これまでの開催数は総計で100回であり、各村で平均開催数は11回となっている。

- (2) プロジェクト目標及び上位目標の達成（予測）は、以下のとおりである。

<プロジェクト目標>

対象地域において、住民の生計向上及び生活改善のために、CAPやCCSの有効活用を通じた参加型村落開発の体制、仕組みが機能する。

現状において、プロジェクトは、対象行政村において策定されたCAPを軸とした活動を展開し、確実にその成果を積み上げている。現在、各村のCAPで、計380の活動が提案され、うち44%が実施に移されている。住民の収入の変化はまだ測定されていないが、CCSの利用では住民組織の能力向上などの効果が発現している。この観点からは、プロジェクトの終了時において、プロジェクト目標の達成は十分に可能と思われる。

一方で、9つの行政対象村の中で、ハンバントータ郡のイハラクンブックウェワ村では、VCCにおいて優先事業に係る合意形成が得られておらず、活動が停止している状況にある。また、郡レベルで設置しているPICへの行政関係者の出席率が芳しくないことについて、今後の改善が必要になるとと思われる。

<上位目標>

ハンバントータ県及び南部州地域において、プロジェクトを通じて認知された参加型開発のコミュニティに対する取り組みが普及することにより、住民の生計向上及び生活改善が図られる。

プロジェクトが導入したCAPアプローチは、スリランカ独自の住民主導で策定されるCAPと、CCSの確実な履行によって構成されている。プロジェクトによるその確実な実施は、特に農村インフラ施設の整備と維持管理に係る住民の高いオーナーシップをもたらしていることが注目されている。また、農業関連の生産に係る技術指導と収入向上活動は、農家側より多くの参加を得ている。

しかし、このCAPアプローチのプロジェクト対象地域外への普及への可能性については、スリランカ国の制度と合致させ、予算の措置を行うなど、カウンターパート側の知見と力量に大きく左右されるものである。現在、南部州評議会を始めとするカウンターパート機関において、どの程度、同アプローチを自らのものとして咀嚼しているかは明確となっていない。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性

プロジェクトは、スリランカ国政府の開発政策、対象地域である南部州ハンバントータ県のニーズ、日本国及びJICAの同国に対する技術支援の計画と合致している。また、プロジェクト・デザインにおいても、地域の事情に適正に応じたアプローチを採っている。これらことから、プロジェクトの実施に係る妥当性は高いと言える。

- ①スリランカ国政府は、現在の国家政策である「マヒンダ・チンタナ」においては、紛争影響地である北・東部の復興支援と同時に、開発の遅れている南部地域で開発を進め、バランスのとれた国家開発を行うとしている。そのため、同国政府は地方開発の推進を目的としたガマ・ネグマ等の類似プロジェクトに、大規模な予算措置を講じて実施している。
- ②プロジェクトの対象地域となる、南部州ハンバントータ県3郡内の9つの行政村において、当該コミュニティと協議を経つつ、コミュニティ活動計画（CAP）を策定した。CAPの活動は、各々のコミュニティによって優先順位付けがなされた上で実施されている。
- ③2004年に策定された日本国の国別援助計画において、1) 平和の定着・復興支援、2) 長期開発ビジョンから成り立っており、2) においては貧困削減を援助の重点としている。また、JICAの国別事業実施計画において、貧困削減を重点としている。このことから、本プロジェクトは、日本国の開発援助政策とJICA事業実施計画との整合性を保っている。
- ④プロジェクトが導入したアプローチは、スリランカ国の概念と制度であるCAP及びCCSを適切に実施するものであり、当該住民及びカウンターパート機関となる地方政府機関にとって、非常に親和性の高いものとなっている。このことから、本プロジェクトのデザインは、相手国側への技術支援事業として、妥当性は高い。

(2) 有効性

プロジェクトは、これまでの活動期間において、確実に所定の成果を、対象地域において積み上げており、プロジェクトは効果的に実施されて来た。一方、主にCAPの策定とその実行におけるCCSの適切な実施によって成り立つアプローチ（CAPアプローチ）が、今後、カウンターパートや地方政府機関において実施され、かつ、他の支援団体がCAPをリソースとして活用していく観点からは、課題が残されている。

①プロジェクト目標の達成度（予測）に関しては以下の通りである。

- ▶ プロジェクトの支援対象である9つの全ての対象行政村において、綿密な準備の下、コミュニティ内における協議を中心として、CAPが策定された。また、CAPの運用と活動の実施を担う村落調整委員会（VCC）が各行政村において設立された。
- ▶ CAP策定後、各行政村において、小規模インフラ整備事業の選定と実施、生計向上のための農業及びその他の分野で生産向上活動が開始された。これらの行政村では、コミュニティによる整備されたインフラ施設の維持管理が行われ、農業及びその他の生産分野における生産向上活動において住民は様々な活動に加わり、生計向上を図っている。
- ▶ これらの実績とプロジェクトのCAPアプローチは、州評議会次官及び県次官によっても、その有用性が認められおり、その実績の積み重ねによって、CAPが対象行政村における包括的な開発計画として機能することが予想される。

②プロジェクト目標達成に係る貢献及び阻害要因

- ▶ 貢献要因：プロジェクトの存在は、村レベルの開発課題への対処において、開発に携わる行政機関が縦割り構造のために連携を欠いている状況において、これらの機関を繋ぐプラットフォーム機能を果たしている。また、各村のCAPが、これらの機関に対して統一された開発情報を提供すると共に、新たに設立されたHPPCでは、異業種間の協働

が進行している。

- 阻害要因：郡レベルにおいて、プロジェクト活動実施の調整機関である PIC における、政府関係機関のメンバーの関心が低く、会合への出席率が芳しくない。また、南部州評議会側においても、自らの組織と財政で CAP アプローチを担っていくべき準備が整っていない。

(3) 効率性

プロジェクトの活動は、計画に沿って遅延無く実施されている。また、日本国及びスリランカ国双方の投入は、活動において効果的に活用され、成果の達成に貢献している。これらの観点から、プロジェクトは効率的に実施されていると云える。

- ①日本国側及びスリランカ国側の投入は、遅延無く活動に投入され、効果的に活用された。日本国側の投入について、日本人専門家と現地人専門家はチームとして活動し、日本の技術支援を現地において、効率的に実施した。スリランカ国側の投入について、特に郡次官事務所に配置されたアシスタントプロジェクトマネージャー (APM) は、プロジェクト活動全般に参加し、成果の達成に寄与した。また、カウンターパート機関とプロジェクトチームは良好にコミュニケーションを図っている。定期的に行われる JCC 及び RCC において、プロジェクトの進捗状況の確認と意思決定がなされている。
- ②一方、プロジェクト活動に係る阻害要因としては、ハンバントータ県が、2004 年の津波による被災地域であり、外部援助が多く入ったことから、官民間問わず、開発事業は外部資源に依存しようとする意識が、依然として強く残っていることが挙げられる。そのため、住民自らが開発課題を考え、事業の実施における責任の分担と住民の負担を求めるといふ、プロジェクトのアプローチが地域で受容されるには、大きな労力が必要となった。

(4) インパクト

プロジェクトの対象地域外において、スリランカ国政府及びカウンターパート機関が、CAP アプローチを実践していくことが、上位目標として掲げられている。そのためには、スリランカ政府による資金・人材の確保が課題になると思われる。一方、プロジェクト実施によるインパクトについては、以下のようなポジティブインパクトが散見された。

- ①HPPC の設立：ハンバントータで生産される農工業品の販売を促進するため、県次官が会長となり、企業、農家、銀行、NGO 等の 25 団体により設立された。HPPC の設立後、異業種であるメンバー団体間の意見交換や情報の共有が図られ、各種の貿易、産業フェア等に農家等の生産者が多く参加し、生産者側の意識の向上に繋がった。
- ②対象行政村内における象の生態及び被害に係る実態調査：対象行政村内の 2 村では、地域を徘徊する象による被害が深刻な課題として捉えていた。そのため、実態調査が実施され、対象地域における象の生態、被害、その対策を明らかにされ、関係者間で、結果の共有が行われた。

(5) 自立発展性

現状における本プロジェクトの自立発展性の予測に関して、以下の通り、スリランカ国側における政策/制度面、組織/財政面、技術面について検証した。

- ①政策/制度面：プロジェクトが導入した CAP、CCS のアプローチは、スリランカの既存の概念と制度であり、スリランカ国政府及び地方政府にとって親和性が高く、州首席次官や県次官においても、その持続、展開について意欲が示されている。しかし、州以下のレベルにおいて、その具体的な措置を行うための政策的な裏付けは確認されていない。
- ②組織/財政面：スリランカ国政府の地方開発を目的とした、ガマ・ネグマ等の類似プロジェクトには、大規模な予算措置がなされている。一方で、プロジェクト終了後に、CAP アプローチを継続するために、州評議会以下の行政機関に於いて、組織や財政面での措置は現時点で確保されていない。また、行政村レベルで活動を行う機関を一元的に調整する枠組みとして、郡調整委員会が設置されているが、現状において、CAP を活用するためには有効に機能していない。
- ③技術面：プロジェクトが導入したアプローチは、高度な技術は使用しておらず、政府職員がプロジェクトへの参加を通じて習得し得る適正技術であり、その継続性は確保することが容易である。また、住民レベルにおいても、VCC メンバーを中心として、各村の CAP の策定と小規模インフラ整備事業の実施と維持管理を経験しており、その活動の継続と知見の維持が期待される。

3-3 結論及び提言・教訓

(1) 結論

実績/実施プロセスの検証、5 項目での評価の結果から、プロジェクトは当初計画に沿って、引き続き活動を展開することが妥当と判断される。同時に、自立発展性を高めるために、スリランカ国政府による財政面、組織面での取り組みが求められる。

(2) 提言

<スリランカ国政府への提言>

- ①スリランカ政府が実施しているガマ・ネグマ等の地方開発プログラムにプロジェクトの手法を取り込んでいくこと。具体的には、プロジェクト期間中に、CAP で特定された事業を政府プログラムの資金を使って実施することを試行的に開始する。
- ②対象 9 行政村の周辺村において CAP 作成を開始すること。プロジェクトでは、3 郡よりそれぞれ 3 行政村のみを選んで事業を実施しているが、郡レベルで効果的に開発の調整を行っていく場合、他行政村にも同様の CAP が作成される必要があり、プロジェクト期間中から郡次官事務所が中心となって周辺村での CAP 作成を試行する。
- ③不在となっている **Project Manager** に適任者を任命すること。
- ④村落インフラ事業において、適切な CCS を推進すること。プロジェクトの実施を通じて住民コントラクトには、住民組織の財政/技術能力、自信及び主体性の向上、維持管理能力の養成の効果が確認され、また主体性を高めるために住民の一部負担を組み込んでいることは、事業のコスト削減にも寄与している。一方、プロジェクト以外では、形だけの住民コントラクト（住民組織がマージンを取って業者に丸投げする例）が見られ、これらは住民コントラクトの意味を無くすものであることから、政府は現状をモニターし、適正化を図っていくことが求められる。

<スリランカ国政府及びプロジェクトチームへの提言>

- ①PIC にコア・チームを形成すること。現在は、PIC のメンバーがプロジェクトとの関係が薄い行政官も含めて 30 名近くとなっており、参加者が集まらないため、月一回計画している PIC を延期する事態も起きている。コア・チームを形成することで、重要な関係者間でより実質的な議論を定期的に行えるようにする。
- ②インフラ事業の選定をめぐる意見不一致から、活動が停滞しているイハラクンブクウェワ村に関して、客観的、技術的な事実に基づいて、対話を促進すること。

<プロジェクトチームへの提言>

プロジェクトの手法を政府プログラムに取り込んでいく過程において、様々な状況の相違から困難に直面することが想定されるが、それらの経緯や対応の経験を取りまとめ、将来政府が自立して展開していく際の参考とすること。

(3) 教訓

- ①郡レベルにおいて、アシスタント・プロジェクト・マネージャーを、カウンターパートの中核として配置したことは、現場でのスリランカ国側のオーナーシップを高めるのに効果的であった。
- ②プロジェクトで実施している CCS からは、住民組織の財政/技術能力、自信及び主体性の向上、維持管理能力の醸成といった高い効果がみられた。

Summary of Mid-term Review

I. Outline of the Project	
Country : Sri Lanka	Project title : The Project on Rural Livelihood Improvement in Hambantota District (SouthCAP)
Issue/Sector : Rural Development	Cooperation scheme : Technical Cooperation Project
Division in charge : JICA Sri Lanka office	Total cost (at the review point) : Approx. 212 million yen
Period of Cooperation	(R/D) : Jan.12, 2007 (Duration) : Mar.2007~Mar.2011
	Partner Country's Implementing Organization : Ministry of Local Government and Provincial Councils, Southern Provincial Council
Supporting Organization in Japan : None	
Related Cooperation : None	
1. Background of the Project	
<p>Hambantota District is the largest district in the Southern Province, with the area of 2,609 km². It is divided into 12 Divisionary Secretary (DS) divisions, and these are divided further into 576 Grama Niladhari (GN) Divisions. Population is about 420,000 and it is the smallest in the Province, in composition of Sinhala (97.1%) , Sri Lankan Tamil (0.4%) , Muslim (1.0%) and others (1.4%). In terms of religions, majorities are Buddhists (96.9%) and there are some Hindus (0.3%) and Muslims (2.5%) and Catholic Christians (0.2%).</p> <p>Major sources of income are agriculture production, including paddy rice production and field crops, animal husbandry and fishery. However, agriculture production is not satisfactory contributing to local economy, due to multiple factors; small amount of rain fall, low productivity, lack of infrastructure, instability of market prices, unfair profit making activities of mediators, and so forth.</p> <p>It is generally understood that there have been a number of development interventions both by national and international development actors in Southern Province. However, the results of these interventions are considered not as good as they were expected. The thought-less development plans and no-sensitivity to sustainability, and lack of coordination among development efforts are identified as common problems, contributing to unsatisfactory effects from these development interventions. SouthCAP Project is designed to contribute to livelihood improvement of the area, by strengthening the existing systems on supporting community development efforts.</p>	
2. Project Overview	
(1) Overall Goal	
Income and livelihood of the people in areas within Hambantota and Southern Province will be improved by introducing the Community Approach Programme for participatory rural development, which is acknowledged by stakeholders through this Project.	
(2) Project Purpose	
The existing system and structure for the participatory rural development will be functioning	

through effective use of institutions and practices (e.g. Community Action Planning and Community Contract System), aiming at improving income and livelihood of the people in the Project area.

(3) Outputs

1. Community Action Plans (CAPs) prepared in selected villages, then individual projects will be identified.
2. Divisional Coordination Committee will be carried out the implementation of CAPs.
3. Villager's (CBO's) skills for construction / maintenance works of rural infrastructure are developed through implementation of identified project (s).
4. Villager's (CBO's) capacity to implement and manage productive and reproductive activities is enhanced.

(4) Inputs

Japanese side :

Expert: 8(70MM),

Equipment : 8,430,000 SLR

Local cost : 59,612,000 SLR

Sri Lankan Side :

Counterpart : 97

Land and Facilities : 1 office space

Local Cost : 21,696,000SLR

II. Evaluation Team

Members of Evaluation Team	Ms. NISHINO Yasuko	Team Leader
	Mr. AKAMATSU Shiro	Senior Advisor (Rural Development)
	Mr. YUASA Keiichiro	Evaluation Planning
	Mr. IIDA Harumi	Evaluation Analysis
	Mr. H.W. Wijyaratne	Project Director – Special Projects, SPC
	Dr. M.H.S. Dayaratne	Economic Development Specialist, Hambantota District Chamber of Commerce and Industries
	Ms. I.V.N. Preethika Kumudunie	Deputy Chief Secretary (Planning), SPC
Period of Evaluation	April 20, 2009~May 6, 2009	Type of Evaluation : Mid-term Review

III. Results of Evaluation

3-1 Achievement of the Project

3-1-1 Achievement of Outputs

(1) Output 1

Result of preparation phase for formulation of Community Action Plan (CAP) in each village (GN), total number of participants for training program was 688 from the community and 154 from government officers, respectively. All targeted villages (nine GNs) prepared CAPs, during the two days workshops for formulation of the CAP held in October 2007 to January 2008. Then, individual projects have been implemented, by the priority of each community which articulated in CAP. According to the result of CAP review workshops, most of small scale infrastructures which constructed from the CAP were recognized as usefulness by villagers.

(2) Output 2

Project Implementation Committees (PIC) have been organized in each Division. In the PIC meeting, the progress of the project activity, approval of community scheme from the CAP and other issues among the community were discussed. However, the attendance of stakeholders to PICs has not been kept well.

(3) Output 3

Small scale constructions were implemented except Ihalakumbukwewa GN, where VCC could not reach to agreement. All those construction works finished by the end of March 2009. After such training for construction, Community Contract System (CCS) management and Operation & Maintenance, O&M committee was established in each village (GN) to maintain those facilities by communities.

(4) Output 4

The Project supported and trained villagers to enhance their capacity to manage their production. Several activities have been introduced for villages especially in agriculture and income generation. Monthly VCC meeting has been organized to discuss the matter in the village. Also, HPPC for promotion of production from target area was established, it consists of representatives from 25 organization, including local government, private sector, banks, and NGOs. On the other hands, the study of Human Elephant Conflict (HEC) was conducted to avoid damage for agricultural products from the elephant.

3-1-2 Prospect of Achieving Project Purpose

According the present achievement of indicators suggest that more than 44% of proposed activities in the CAPs which total number is 380, have already implemented by the Project. Thus, the Project has certainly accumulated such experience of utilizing CAP as comprehensive development plan in target areas.

In this aspect, achieving the Project Purpose would be possible by the end of project period, except one village (GN) which has difficulty to reach agreement to implement activities of the Project. On the other hand, low attention paid to PIC at district level may have been obstacles to have such sense of ownership of the Project by Sri Lankan side.

3-1-3 Prospect of Achieving Overall Goal

The CAP approach, which mainly consist of the process of formulating CAP and proper implementation of CCS, show high ownership of rural infrastructures and facilities for operation and maintenance as well as active participation in the programmes of agricultural production and income generation. It would be dependent on the effort of Sri Lankan counterparts to extend the experience of the Project.

3-2 Summary of Evaluation Results

(1) Relevance

The Project is highly relevant to the following points;

- 1) The aim of the Project consisted with Government development priority in Sri Lanka, which improves living standards of people living in the economically backward areas such as Southern Province.
- 2) The Project has introduced the approach which consists of formulation of Plan (CAP) at village (GN) level and proper implementation of Community Contract System (CCS). This methodology has been able to meet the needs of the community as well as enhance such sense of ownership.
- 3) The Project functions as the platform which offers opportunities for participatory and coordinated development activities to the stakeholders in Hambantota District. The government organizations and communities have been strengthened their relation through the Project.

(2) Effectiveness

The Project has already made certain results. It could be said that effectiveness of the Project is considered as moderately high at this middle point.

- 1) Formulation of CAP in each village (GN) was carefully prepared by the Project. And, all target villages (GNs) formulated CAPs by their initiatives, and Village Coordination Committees (VCCs) were established to represent those community members. This process was the first step to achieve the Project purpose.
- 2) After formulation of CAP, many activities have been implemented to respond the community needs. Especially, implementing small scale construction work by CCS and introducing agricultural varieties and technologies have made certain results. Counterparts have already recognized the effectiveness of the CAP approach.
- 3) However, funding sources of the counterpart agencies are not arranged. Also, low attention was paid to PIC in each Division. It has been obstacle to implement the CAP approach by the counterpart agencies.

(3) Efficiency

The project activities have been implemented along the plan, and inputs are effectively utilized to implement those activities. In this regards, the Project has been efficiently implemented to produce Outputs.

- 1) There were no such obstacles to make delay for the project activities as compared to the original plan.
- 2) Inputs by the Project have been utilized effectively to produce each Output. Especially, facilitation for formulation of the CAP, supervising construction work of infrastructures, training and guiding for agricultural and other production were fully implemented.
- 3) Relationship between Southern Provincial Council and the Project team has been kept well, which contributed efficient management of project activities.

(4) Impact

At this point, expecting to reach Overall Goal of the Project is not appropriate, due to limited information and condition. On the other hands, the Project activities have made some impacts on positive and negative sides.

- 1) The Project has shown right direction to achieve Project purpose at the end of the project term. However, for reaching the Overall Goal, expansion of the CAP approach to outside of target area would require further effort of Sri Lankan side such as allocation of budget and development of human recourses.
- 2) Positive impacts are found in such as establishment of HPPC and the study of Human Elephant Conflict (HEC). HPPC has induced active interaction among members for promotion of products in Hambantota District. Also, it has high potential for sustainable and evolving activities by those producers. On the other hand, the result of HEC study showed importance of security control of wild elephant in target areas, the report among other stakeholders at HEC seminar held at January 2009.
- 3) Negative impact is found in sense of dependency exists in some part of community people, members of local authority, and government officers. Such persons sometimes hesitate to contribute to the benefits of all or fulfill their duties but seek personnel interests.

(5) Sustainability

The sustainability of the project is considered as moderate with the observations of both positive aspects such as system, technique and intentions of key counterparts and uncertain ones such as finance, policy and organization.

- 1) There are intentions of Chief Secretary and District Secretary to continue and expand South CAP approach. However, currently, there is no back-up policy to mainstream this approach.
- 2) Allocations of budget as well as organizational arrangement to ensure sustainability are uncertain.
- 3) Technical aspect of the CAP approach in the Project will be sustained and maintain by member of local governments and communities, due to the various appropriate techniques. The government officers can enhance their techniques by participating in project activities.

4. Conclusion

From the results of the measurement of results, examination of implementation process and value judgment based on five evaluation criteria, the Joint Mid-term Review Team studied that SouthCAP project has high relevancy and has been efficiently implemented.

Also, with the appropriate project management, SouthCAP project has produced certain expected results at the project areas as well as some positive effects which are not intended in the initial plan, then the effectiveness is considered as moderately high and the occurrence of positive impacts are noted. However, the low participation of the Project Implementation Committee will be a hindrance factor to the achievement of Project Purpose and Overall Goal potentially.

5. Recommendations

<Recommendation to Sri Lanka side>

(1) Incorporation of SouthCAP approach into the government programmes

Since the community based SouthCAP approach with an operational management structure at the district and divisional level provide a practical example for the rural development for better results, the incorporation of its approach into the government programmes such as Gama-Neguma and is recommended as an appropriate action leading to sustainability.

(2) Preparation of Community Action Plan (CAP) in neighboring GNs

It is justifiable for SouthCAP project because intensified input and careful supervision is necessary to produce successful examples steadily for the new approach. On the other hand, since the total coordination and management of development projects must be done at divisional level, it is preferable if more GNs in these DS divisions have their CAPs, these DS offices start facilitation to prepare CAPs in neighboring GNs during the project period under the guidance of SouthCAP.

(3) Assignment of Project Manager

The post of Project Manager has been vacant for more than one year. It is required that Chief Secretary of Southern Provincial Council appoints qualified person.

(4) Promoting proper Community Contract System (CCS)

The implementation of CCS has many good aspects such as an enhancement of community capacity and confident, fostering the ownership on the infrastructure to ensure the self-maintenance by the contribution of community. However, other than SouthCAP, CCS is just in form, i.e. community signs but sub-contracts it, seems to be spreading in many places. It is recommended that each level government monitors the situation of CCS and promotes proper method of it.

<Recommendation to both Sri Lanka side and Project team>

(1) Core Team of Project Implementation Committee (PIC)

At present, PIC is arranged at division level to coordinate all the matters necessary to make all institutions participated in the activities on the ground. However, participation of the representatives from the scheduled institutions in the regular meeting has not been reached at satisfactory level. For smooth implementation of the project, "Core Team" of PIC among selected relevant institutions is recommended to be materialized.

(2) Ihalakumbukwewa

Activities in Ihalakumbukwewa are in stagnation due to the disagreement on the selection of infrastructure work. It is recommend to facilitate dialogue on rational base in order to find early solution.

<Recommendation to Project team>

In case of the government programmes such as Gama-Neguma adopts the SouthCAP approach, it would be possible to face several obstacles, due to the different condition of both programmes. Therefore, the SouthCAP Project is recommended to have analysis when issue arises, in terms of technical level of human resources, procedure for construction work, coordinating with other stakeholders and etc. Project team is expected to compile those experiences for driving the programmes by counterpart institutions.

6. Lessons learned

(1) Allocation of Assistant Project Manager (APM)

As an administration of SouthCAP project, Assistant Project Managers (APM) are assigned in each DS divisions. They are highly involved in the project activities and for example at the Regional Coordination Committee, they explain the progress in their divisions on behalf of SouthCAP. It seems that this design is effective to strengthen the ownership of the partner country and sustainability.

(2) Effect of Community Contract System (CCS)

SouthCAP has been implementing proper CCS for the infrastructure works. It requires several steps such as construction training, construction management training, signing of contract, and implementation with some community contribution, regular monitoring, operation and maintenance training. Though it takes time, the proper implementation of CCS seems to be useful for rural infrastructure rehabilitation or development because it helps to enhance community financial and technical capacity, ensure the maintenance by community people.

第1章 調査の概要

1-1 調査実施の経緯と目的

本調査は、スリランカ国政府の要請に基づき 2007 年 3 月から始まった「南部地域の村落生活向上プロジェクト (SouthCAP)」の中間時点にあたり、PDM 及び活動計画に基づき、プロジェクトの投入実績、活動実績、計画達成度を調査・確認した上で、評価 5 項目 (妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性) の観点からレビューを行い、プロジェクトの課題につき具体的な改善策の提言を行うことを目的として実施された。

1-2 調査団の構成

1-2-1 調査団員構成

日本国側

No.	担当分野	氏名	所属
1	総括	西野 恭子	JICA スリランカ事務所 次長
2	参加型開発	赤松 志朗	JICA 国際協力専門員
3	プロジェクト運営	湯浅 啓一郎	JICA スリランカ事務所 所員
4	評価分析	飯田 春海	グローバルリンクマネジメント株式会社 社会開発部員

スリランカ国側

No.	氏名	所属
1	H.W. Wijyaratne	Project Director – Special Projects, SPC
2	M.H.S. Dayaratne	Economic Development Specialist, Hambantota District Chamber of Commerce and Industries
3	I.V.N. Preethika Kumudunie	Deputy Chief Secretary (Planning), SPC

1-2-2 調査期間

2009 年 4 月 20 日～5 月 6 日

1-3 プロジェクトの背景と概要

スリランカ国は、面積 6.6 万 km² に 1,905 万人の人口を有し、全人口の 80%以上が農村部人口である。一人当たり GDP は 1,617US\$ (2007 年) で、農業セクターは、全 GDP の 20%を産し、就労人口の 30%を占めている。

全国人口の大部分が南西部に集中し、西部州及び南部州は、面積が全国の 14%程度であるのに対し、人口は 39%を占めている。また、この地域では、貧困率も高く、2000 年時点では国全体の貧困率が 22.7%であるのに対し、南部州ハンバントータ県では 32.5%に達していた。2004 年に作成されたスリランカ国政府の「経済政策フレームワーク」では、「農村開発と貧困削減を通じた社会経済開発に取り組む」とされており、そのためには、都市部と農村部等の地域間の格差是正、社会経済活動の活性化、生活水準の向上等を組み合わせる必要があるとされている。

本プロジェクトの対象地域であり、スリランカ国内でも特に生活環境の厳しい地域である南部州ハンバントータ県 (人口 42 万人、州内人口の 18%) では、年間降水量が 1,000mm 未満のため、

農村部においては、農業用水はもちろんのこと、生活水の確保も容易ではなく、伝統的なため池に頼ったり、政府の給水車に依存した生活を送っている。また、貧困農家には多くの余剰労働力が存在しているが、他の就業機会が限られており（全国平均失業率 7.6%に対し、20%を超えている）、限られた土地で農業に従事することを余儀なくされている。

スリランカ国政府は、地域の状況を踏まえた行政サービスを住民に提供するため、1987年に憲法改正を行い、中央から州へ行政の権限を移した。また、行政サービスのうち村レベルのインフラ整備については、住民のニーズをよりの確に踏まえたものとし、かつ整備されたインフラに対する住民のオーナーシップの醸成を目的として、その企画・実施・管理を既存住民組織が受託するコミュニティ契約システム（CCS）という方式を導入した。この制度は、同国北東部において内戦からの復旧・復興支援等で活用されているが、開発から取り残されてきた南部州ではほとんど活用されていない。その促進のためには、制度活用の下地となる住民組織及び彼らをファシリテートする行政官の能力強化が、不可欠な状況となっている。

この状況を踏まえ、本プロジェクトは、コミュニティ行動計画の策定・実施を通じた南部貧困地域の生活向上を目的として、南部州政府をカウンターパート（C/P）機関として、2007年3月より4年間の予定で実施されている。現在6分野（チーフアドバイザー、農村基盤整備、施工・維持管理、農業生産、流通・加工、業務調整）を派遣中であり、プロジェクト対象県内9行政村に対し、コミュニティ行動計画（CAP）の策定、住民組織による農村インフラの整備支援、農業技術の指導、収入向上支援を行っている。

(1) 上位目標

ハンバントータ県及び南部州地域において、プロジェクトを通じて認知された参加型開発の、コミュニティに対する取り組みが普及することにより、住民の生計向上及び生活改善が図られる。

(2) プロジェクト目標

対象地域において、住民の生計向上及び生活改善のために、CAP や CCS の有効活用を通じた参加型村落開発の体制、仕組みが機能する。

(3) 成果

- ①選定された行政村で CAP が策定され具体的な事業が抽出される。
- ②CAP の実施に対し、郡調整委員会が機能する。
- ③具体的な事業の実施を通じ、住民及び住民組織の地方インフラ建設・整備能力が向上する。
- ④住民及び住民組織の生産・生活環境改善の実施活動及び維持能力が向上する。

(4) 投入

日本国側：

専門家派遣、機材供与、ローカルコスト負担、研修員受入、その他（小規模インフラ改修工事等）

スリランカ国側：

カウンターパート配置、土地・施設提供、ローカルコスト負担

第2章 評価の方法

2-1 評価設問と評価手法

今般の中間レビュー調査は、『JICA 事業評価ガイドライン（2004年1月：改訂版）』に基づき、ログフレームを用いた評価手法に則って実施した。『JICA 事業評価ガイドライン』による評価は、以下のとおり、4つの手順で構成されている。

- ①プロジェクトの計画を論理的に配置した、ログフレーム（本事業における PDM）を事業計画として捉え、評価デザインを確定する。
- ②いくつかのデータ収集方法を通じ入手した情報を基に、プロジェクトの現状を「実績・実施プロセス」、「因果関係」の観点から把握・検証する。
- ③「妥当性」、「有効性」、「効率性」、「インパクト」、「自立発展性」の5つの観点（評価5項目）から、プロジェクトの成果（アウトカム）を評価する。
- ④また上記①から③を通じ、プロジェクトの成否に影響を及ぼした、様々な要因の特定を試み、プロジェクトの残りの実施期間の活動に対しての提言と、スリランカ国側及び日本国側双方のその他案件に対する教訓を抽出する。

なお、本評価手法において活用される PDM の構成要素の内容について、以下の表 2-1 に示す。

表 2-1 PDM の構成要素

上位目標	プロジェクトを実施することによって期待される長期的な効果 プロジェクト終了後3年～5年程度で対象社会において発現する効果
プロジェクト目標	プロジェクト実施によって達成が期待される、ターゲットグループや対象社会に対する直接的な効果
アウトプット	プロジェクト目標達成のためにプロジェクトが生み出す財やサービス
活動	アウトプットを産出するために、投入を用いて行う一連の具体的な行為
指標	プロジェクトのアウトプット、目標及び上位目標の達成度を測るもので、客観的に検証できる基準
指標データ入手手段	指標を入手するための情報源
外部条件	プロジェクトでコントロールできないが、プロジェクトの成否に影響を与える外部要因
前提条件	プロジェクトが実施される前にクリアしておかなければならない条件
投入	プロジェクトのアウトプットを産出するために必要な資源、人員、資機材・運営経費・施設等

出所：プロジェクト評価の手引き（JICA 事業評価ガイドライン）、2004年2月

さらに、本プロジェクトの評価に適用される評価5項目の各項目の定義は、以下の表 2-2 のとおりである。

表 2-2 評価 5 項目の定義

評価 5 項目	JICA 事業評価ガイドラインによる定義
妥当性	プロジェクトの目指している効果（プロジェクト目標や上位目標）が受益者のニーズに合致しているか、問題や課題の解決策として適切か、相手国と日本側の政策との整合性はあるか、プロジェクトの戦略・アプローチは妥当か、公的資金である ODA で実施する必要があるか等といった「援助プロジェクトの正当性・必要性」を問う視点。
有効性	プロジェクトの実施により、本当に受益者もしくは社会への便益がもたらされているのか（あるいはもたらされるのか）を問う視点。
効率性	主にプロジェクトのコストおよび成果の関係に着目し、資源が有効に活用されているか（あるいはされるか）を問う視点。
インパクト	プロジェクトが実施によりもたらされる、より長期的、間接的効果や波及効果を見る視点。この際、予期しなかった正・負の効果・影響も含む。
自立発展性	プロジェクトが終了しても、プロジェクトで発現した効果が持続しているか（あるいは持続の見込みはあるか）を問う視点。

出所：プロジェクト評価の手引き（JICA 事業評価ガイドライン）、2004 年 2 月

本レビュー調査における調査項目を明確にするために、PDM に基づいて、プロジェクトの「実績」、「実施プロセス」、「評価 5 項目」の各項目を包含した評価グリッドを作成した。同グリッドは、「A. プロジェクトの実績及び実施プロセスの検証」と、「B. 評価 5 項目の分析」で構成される（同評価グリッド及びその各項目については、付属資料「3. 協議議事録 (M/M)」中の「ANNEX-5 Evaluation Grid and results」を参照）。

2-2 データ収集方法

本中間レビュー調査では、実績の検証及び 5 項目評価の分析作業のために、定性的・定量的データを以下の方法で収集した。

2-2-1 質問票

評価グリッドの設問を基に、主に以下のようなスリランカ国側カウンターパートである中央政府、南部州評議会、ハンバントータ県及び対象 3 郡の各関係者を対象として、質問票を作成・配布した（質問票及びその回答は、付属資料「6. 質問票回答」にまとめた）。

- スリランカ国政府（地方政府・州議会省、国家開発省）
- 南部州評議会次官事務所
- ハンバントータ県次官事務所
- 支援対象 3 郡（ハンバントータ、スーリヤウエワ郡、ルヌガンヴェヘラ郡）次官
- 事務所、評議会
- その他、スリランカ国政府農業関連事務所等

2-2-2 面談及びインタビュー

面談及びインタビューは、基本的に質問票配布先と同様に、同国中央政府、南部州評議会、ハンバントータ県及び対象3郡の各関係者を対象として行った（インタビューを実施した対象者のリストは、付属資料「3. 協議議事録（M/M）」中の「ANNEX-2 List of the Persons Consulted」に記載。また、インタビュー結果については、付属資料「5. 現地調査・聞き取り結果」を参照）。

- ・スリランカ政府（地方政府・州議会省、国家開発省）
- ・南部州評議会次官事務所
- ・ハンバントータ県次官事務所
- ・支援対象3郡（ハンバントータ郡、スーリヤウエワ郡、ルヌガンヴェヘラ郡）次官事務所、評議会
- ・その他、スリランカ政府農業関連事務所等
- ・現地活動団体（CARE等のNGO）
- ・プロジェクト・スリランカ人スタッフ

2-2-3 現地調査

現地調査は、プロジェクト活動の対象である9つの行政村において、関係者、住民代表（VCC）への個人、グループ・インタビューを行った。また、プロジェクトの活動状況や成果について確認するための現地踏査を行った。現地踏査においては、各村において実施された各小規模インフラ整備事業の実施状況や、各農業活動について確認（observation）した（各行政村のグループ・インタビュー対象者は、付属資料「3. 協議議事録（M/M）」中の「ANNEX-2 List of the Persons Consulted」に記載。また、インタビュー結果は、付属資料「5. 現地調査・聞き取り結果」を参照。）。

現地調査対象となった行政村名は、以下の通り。

- ア) ハンバントータ郡：コホランカラ村、ケリヤプラ村、カタンウエワ村
- イ) スーリヤウエワ郡：イハラクンブクウエワ村、ウエリウエワ村、ウエリヤガマ村
- ウ) ルヌガンヴェヘラ郡：ボガハウエワ村、パダウガマ村、プンチアアップジャンドゥラ村

2-2-4 文献レビュー

調査順序としては前後するが、以下のような文献資料を使用して情報を収集した。

- ・スリランカ民主社会主義共和国 PROTECO（課題開発タイプ）南部地域の村落生活向上プロジェクト形成調査報告書、2004年7月
- ・スリランカ国南部地域の村落生活向上計画（SouthCAP）：事前評価調査報告書（及び実施協議報告書）、2007年1月
- ・同上（SouthCAP）：第1年次報告書、2007年7月
- ・同上（SouthCAP）：第2年次報告書、2008年3月
- ・同上（SouthCAP）：第3年次報告書、2009年3月

2-3 データ分析方法

データの分析方法としては、プロジェクト側が作成した投入及び活動に係る各種の資料や、インタビュー結果、質問票の回答について、分析と検証を行った。また、これらの結果を基に、評価5項目にしたがって評価結果をとりまとめた。また、評価団内で、5項目の評価結果を検証し、提言と教訓を取り纏めた。

2-4 評価手法の限界

今般の中間レビュー調査は、限られた予算と実施期間の制約の下、プロジェクト実施期間の後半に向けて、プロジェクトの進捗状況を確認し、また、関係者間で議論することを目的として実施された。そのため、プロジェクト活動で実践されている個々の多様なアプローチに関する効果や、経済性等に係る詳細な分析や、費用対効果の観点から、他案件との相対的な比較を行うことは含んでいない。

第3章 プロジェクトの実績及び実施プロセス

3-1 投入実績

本中間レビュー対象となった、プロジェクト活動における日本国側及びスリランカ国側の投入実績を、以下に示す（其々の投入の詳細については、「付属資料 3. 協議議事録（M/M）」中の「ANNEX-7 Record of Input」に記載されている、投入項目別のリストを参照）。

3-1-1 日本国側投入

(1) 日本人専門家及びスリランカ人スタッフ

ア) 日本人専門家

日本専門家は、プロジェクト活動が開始された 2007 年 3 月より、活動第 3 年次の終了する 2009 年 3 月まで、以下の表 3-1 のとおり、「チーフアドバイザー/地域村落開発」、「農村基盤整備」、「施工・維持管理」、「農業生産（1）」、「農業生産（2）」、「流通・加工」、「業務調整」の 7 職種、計 8 名が派遣されている。合計派遣人数/月は、70MM となっている。

表 3-1 日本専門家派遣実績

No.	職 種	人数/月
1	チーフアドバイザー/地域村落開発	20.13
2	業務調整*	18.03
3	農村基盤整備	14.00
4	施工・維持管理	8.00
5	農業生産（1）	3.00
6	農業生産（2）	2.00
7	流通・加工	4.93
合計		70.09

*「業務調整」は計 2 名となっている。

イ) スリランカ人スタッフ

スリランカ人スタッフは、「事務運営」、「農業」、「収入向上」、「施設」、「組織開発」の 5 つの部署より構成されている。各部署の人員合計は、以下の表 3-2 のとおり、現状で 24 名となっている。

表 3-2 スリランカ人スタッフ部署別人数構成

No.	部 署 名	人数
1	事務運営	10
2	農業	3
3	収入向上	1
4	施設	5
5	組織開発	5
合計		24

(2) カウンターパート研修

以下の通り、日本国での本邦研修に加え技術交換研修等に、中国及びインドネシア国にカウンターパートをそれぞれ、派遣している。

表 3-3 カウンターパート研修

No.	研修名	実施時期	研修者数
1	参加型農村開発研修 (本邦研修)	2008年1月	3
2	一村一品国際セミナー(中国)	2008年11月	4
3	技術交換研修(インドネシア)	2009年2月	4
合計			11

(3) 機材供与

プロジェクト活動で使用される事務用機器を中心として供与され、また、現地活動用の車両も4台供与されている。機材供与合計額は、8,430,000 LKR (スリランカ・ルピー) となっている。

(4) 現地事業費支出

プロジェクトの活動経費として、主にカウンターパートや対象地域の住民に対する現地研修やセミナーの実施、参加型小規模インフラ工事の実施、その他の経費に支出された。以下の表 3-4 のとおり、機材調達費を含めた 2007 年度の支出額は、30,347,000 LKR、また、同様に、2008 年度(12 月末まで)の支出額は 29,265,000 LKR、合計額は 59,612,000 LKR となっている(日本円換算では、約 68,660 千円となる¹⁾)。

表 3-4 現地事業費支出 (単位: 1,000 LKR)

支出項目	2007 年度	2008 年度 (12 月末)	合計
活動用支出	21,917	29,265	51,181
機材調達費	8,430	0	8,430
合計	30,347	29,265	59,612

3-1-2 スリランカ国側投入

スリランカ国側の投入は、カウンターパートの配置、ローカル・コスト負担、プロジェクト事務所用の施設の提供である。

(1) カウンターパートの配置

本プロジェクトのカウンターパートは、中央(地方政府・州評議会省)、州(南部州評議会)、県(ハンバントータ県)、郡(ハンバントータ郡、スーリヤウエワ郡、ルヌガンヴェヘラ郡)のレベルから活動に関わる人員が配置され、現状においては総計 97 名となっ

¹ 2008 年 12 月時点での LKR/円換算レート(JICA スリランカ事務所公定換算レート)は、1LKR=0.86822 円となっている。

ている。また、南部州評議会からプロジェクト・マネージャーが配置され、また、ハンバントータ県内の支援対象3郡において、アシスタント・プロジェクト・マネージャー（APM）が各1名ずつ配置されている（カウンタパートリストについては、「付属資料2. プロジェクト・カウンタパート・リスト」参照）。

(2) ローカル・コスト負担

カウンタパート機関である南部州評議会より、プロジェクト活動支援として、以下の通り、2008年12月末時点において、計21,696,000LKRが支出された。

表3-5 スリランカ側のローカル・コスト負担（単位：1,000LKR）

支出項目	2007年度	2008年度 (12月末)	合計
プロジェクト・マネージャー給与	255	—	255
APM 手当	63	108	171
車両免税措置経費（4台分）	21,246	—	21,246
モータサイクル用燃料費	—	24	24
合計	21,501	132	21,696

(3) 土地、施設、機材等の提供

プロジェクト事務所として、ハンバントータ県次官事務所内の敷地に、一家屋が提供された。

3-2 活動実績

3-2-1 アウトプット1のための活動

(1) コミュニティ活動計画（CAP）の策定準備及び研修の実施

プロジェクト活動開始後、対象3郡の中で、行政村の選考基準が設定され、各村の村落プロファイルが策定され、現地踏査が実施された。その結果、対象3郡において、各3つ計9つの行政村が、支援対象として選定された。そして、2007年6月に、対象9行政村に対するイントロダクション・ワークショップと、南部州評議会以下の行政職員対象とした「CAPセミナー」が、それぞれ開催された²。

(2) CAPワークショップの開催と各行政村におけるCAPの策定

2007年10月～2008年1月の期間において、支援対象9行政村において、各2日間のCAPワークショップが開催され、その成果として、それぞれの村において各行政村の包括的な開発計画である、CAPが策定された（各村におけるワークショップの開催日程は、以下の表3-6のとおり、また、CAPワークショップのプログラム内容は表3-7のとおり）。

² CAPセミナーには、県及び郡レベルの行政官等、計55名が参加

表3-6 各村におけるCAPワークショップの開催

郡	行政村（開催日）	参加者数
ハンバントータ	ケリヤプラ（10月11日、12日）	78
	カタンウェワ（11月13日、14日）	54
	コホランカラ（11月29日、30日）	46
スーリヤウェワ	イハラクンブックウェワ（10月16日、17日）	102
	イハラクンブックウェワ（1月4日）	10
	ウェリヤガマ（11月19日、20日）	77
	ウェリウェワ（11月22日、23日）	46
ルヌガンヴェヘエラ	ボガハウエワ（10月19日、20日）	59
	ブンチアップジャンドゥラ（10月23日、24日）	83
	パダウガマ（11月5日、6日）	70
総計		625

表3-7 CAPワークショップ・プログラム

<ol style="list-style-type: none"> 1) プロジェクト概要説明 2) 参加型開発計画の有用性の説明 3) 問題分析演習のガイダンス 4) 問題分析演習（農業、組織開発、非農業活動、その他の課題） 5) 問題分析結果の発表 6) 抽出された問題の優先付け 7) CAP作成演習 8) CAPの共有、討議、採択 9) 村落開発調整委員会（VCC）の結成
--

ワークショップにおける成果品として、①集落別問題分析（課題、要因、影響を受ける住民世帯数）、②コミュニティ・マップ、③CAP（村全体の 카테고리別優先順位及び解決方法、裨益世帯数、責任組織、活動時期が明記された活動計画）が作成され、「CAP リポート」として各村毎に纏められた。

(3) CAP実施のための村落開発調整委員会（VCC）の設立

ワークショップの最後に、各村毎に支援対象村内の活動をモニターし、村の開発課題や問題について意見交換を行うVCCが結成された³。同委員会は、住民組織や集落の代表、15名程度で構成され、月に一回程度の定例会合が実施されることとなった。

(4) 対象行政村のCAP実施支援のための基礎調査の実施

CAP策定後、其々の住民活動の開始に先立って、活動の円滑化やモニタリングを行うた

³ 当初、既存の住民組織である農業開発組織（RDS）の活用が想定されていたが、住民から十分な信頼が得られていないことが判明したことから、新たな組織の設立となった。

め、以下の表3-8のようなデータ収集・調査が、2007年11月から、2008年3月の期間、プロジェクトによって実施された。

表3-8 対象地域における基礎調査の実施

ベースライン調査	今後のモニタリング・評価活動に必要な情報の収集を目的として、地域の生業、生活に関する項目、生活改善に関係する行政サービスの仕組み、行政の役割と能力等の情報が収集された。結果は、「ベースライン調査報告書」として纏められた。
市場調査	支援対象地域における農産物、加工品に関し、その流通経路や、今後の改善を念頭に置いて実施された。各郡の主要製品の価格、流通経路、運送及び保存方法等が調査され、「市場調査報告書」として纏められた。
土地管理調査	農民の不法耕作等の課題を解決するために、モザイク状の土地管理状況の実態把握が必要とされた。土地管理法規、保護区等の耕作、灌漑施設拡大に係る手続きの情報や、灌漑局、マハウェリ・オーソリティー、野生動物保護局、森林保護局等による土地管理と地域住民の生活実態が調査された。

(5) 行政官のCAP支援能力向上

行政官の支援能力向上は、プロジェクトの全ての活動過程で重要な要素として考慮され、現場での活動はOJTと見なされている。その中で、別途、CAPの実施運営に必要とされる以下の技術研修が実施された。

- ・会計研修（2008年5月～7月）：APM、郡評議会の会計担当、郡次官事務所、VCC、各村長、住民組織代表等に対し、基礎会計の知識、出納長の筆記、資機材管理についての実習を実施。参加者は、ハンバトータ郡で22名、スーリャウエワ郡で45名。
- ・ファシリテーション技術研修（2008年10月）：村レベルで活動する行政官を対象に、コミュニティ開発におけるファシリテーターの育成を念頭に置いて1日間の研修を実施。
- ・技術交換研修（第三国研修）：①中国漂陽市（2008年11月）郡の次官、ハンバントータ地元産品振興委員会秘書の計4名が、「一村一品国際セミナー」に参加。②インドネシア国ジョグジャカルタ特別州・南スラウェシ州（2009年2月）、各郡のAPM、州農業局指導員1名の計4名が、農業加工、流通や、参加型村落開発支援のための行政システムに関し、視察を行った。

(6) CAPレビュー・ワークショップの開催

各行政村で実施されている事業を振り返り、活動の実施による生活改善への効果や今後の改善点を話し合うための1日間のワークショップが開催された⁴（2008年11月～2009年1月）。ワークショップの結果は、CAPレビュー報告として取りまとめられた。参加者数合

⁴ 事業が停止しているイハラクンブクウエワ村を除く。

計は、317名となった。

3-2-2 アウトプット2のための活動

(1) プロジェクト執行委員会（PIC）の設立と運営

各郡において、プロジェクト活動の進捗報告、各村のCAP事業の承認やモニタリング、問題・課題に関する意見交換などを行うために、PICが組織された。PICのメンバー構成は、以下の表3-9のとおり。

表3-9 プロジェクト執行委員会（PIC）メンバー

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 郡次官 ・ グラマニラダリ（行政村長） ・ 郡次官事務所付け専門職員（農業指導員、畜産局職員、サムルディ職員、保健士） ・ プラデシヤ・サブハ（郡評議会）代表 ・ その他、関係行政事務所職員 ・ NGO等の関係者 |
|---|

PICは、プロジェクト活動開始後に、プロジェクト運営に携わる重要会合として、定期的で開催されている。PICの開催実績は、以下の表3-10のとおり。

表3-10 各郡のPICの開催実績

ハンバントータ郡	スーリヤウエワ郡	ルスガンヴェヘラ郡
第1回（2007年4月24日）	第1回（2007年4月26日）	第1回（2007年4月27日）
第2回（2007年6月12日）	第2回（2007年6月13日）	第2回（2007年6月20日）
第3回（2007年9月11日）	第3回（2007年9月19日）	第3回（2007年9月13日）
第4回（2007年12月24日）	第4回（2007年12月20日）	第4回（2007年11月26日）
第5回（2008年2月5日）	第5回（2008年1月30日）	第5回（2008年2月7日）
第6回（2008年3月11日）	第6回（2008年3月4日）	第6回（2008年3月11日）
第7回（2008年6月6日）	第7回（2008年5月14日）	第7回（2008年6月4日）
第8回（2008年8月5日）	第8回（2008年7月23日）	第8回（2008年7月9日）
第9回（2008年10月2日）	第9回（2008年9月22日）	第9回（2008年9月3日）
第10回（2008年12月5日）	第10回（2008年10月6日）	第10回（2008年12月24日）
第11回（2009年2月6日）	第11回（2009年12月29日）	第11回（2009年3月12日）
第12回（2009年3月6日）	第12回（2009年2月2日）	
	第13回（2009年3月9日）	
	第14回（2009年3月12日）	

3-2-3 アウトプット3のための活動

(1) 小規模インフラ整備事業に係る研修事業の実施

小規模インフラ整備事業の実施に先立って、工事契約書案の作成や、関連政府機関との協議が行われる一方、インフラ事業の実施に携わる住民に対して、「建設研修」、「施工検討会」、「会計研修」、「維持管理研修」等の研修や検討会が実施された。

また、住民側の事業に対する理解促進のため、行政官が行う調査・測量活動における住民参加や、住民、農業指導員、農業普及員を対象とした円借款事業「ワラウェ左岸地域灌漑計画」の視察が実施された。

(2) 小規模インフラ整備事業採択会議の開催とコミュニティ契約システム（CCS）

各行政村において、CAPより抽出された事業の設計・積算作業が終了し、CCSに準じて、詳細計画、契約書類の準備が出来た順に、「採択会議」が開催された。同会議には、VCC、住民組織のメンバー、行政官等が参加し、基盤整備工事の工事概要、期間、金額（住民の負担金は10%）、管理責任体制について、最終的な協議と確認が行われた。そして、各事業について、契約書（契約書、着工命令書、工事概要、特記仕様書、工事標準仕様書、設計図面、積算書で構成）が作成され、契約を経て事業が実施された。

(3) 1次小規模インフラ整備事業の実施

2008年6月以降、住民との間で契約終了後、順次、以下の表3-11のとおり、各事業が開始された（但し、ハンバントータ郡イハラクンブクウェワ村では、プロジェクトが実施したフィージビリティ調査の結果、実施を断念した事業に住民側が固執した結果、交渉が中断している）。全ての工事は、2009年3月までに終了し、住民側に引き渡された。

表3-11 各村の農村基盤整備事業の契約者及び実施者

①ハンバントータ郡

行政村	事業	事業内容	契約者	住民組織	現状
コホランカラ	上水用パイプライン延長	62戸を対象とした上水道管の敷設	郡協議会 (州水道局が協力)	アラベッタ 農民組織	2月20日に 完工式実施
ケリヤプラ	カプワッタウェワ灌漑施設改修	満水状態の溜め池の排水、緊急時仮排水路の掘削	県灌漑局技官	カプワッタ 農民組織	瑕疵対応終了、3月15日完工式実施
カタンウェワ	マハヘンディーラ道路網改修	道路への側溝の整備、潜水橋、横断管の埋設	郡協議会 (州水道局が協力)	パラクン農 民組織	3月中旬に 瑕疵対応終了

②スーリヤウェワ郡

行政村	事業（工期）	事業内容	契約者	住民組織	現状
イハラクンブ ックウェワ	村落内溜池ポ ンプ灌漑 （不採用）	調査の結果、事 業の妥当性に疑 問有り	—	—	—
ウェリヤガマ	カラマティヤ 道路改修	道路への側溝の 整備、潜水橋、 横断管の埋設	郡評議会	ランディヤ ガマ・サム ルディ 委員会	瑕疵対応終 了、 3月13日 完工式実施
ウェリウエワ	ワラウエ灌漑 事業からの水 路の完成	コンクリート舗 装、潜水橋、横 断管の埋設	郡評議会	サラマサク ティ 農民組織	3月中旬に 瑕疵対応終 了

③ルヌガンヴェヘラ郡

行政村	事業（工期）	事業内容	契約者	住民組織	現状
ボガハウエワ	イルックパラ ッサウエワ 水路の改修	コンクリート化 による幹線水路 の改修	県灌漑局技官	パトゥム 農民組織	12月に完工 式実施、3 月中旬に瑕 疵対応終了
パダウガマ	衛生設備の 改善	22 優先世帯、 2 寺院へのトイ レの建設	郡次官 （保健所協 力）	ディヤワラ 村落開発委 員会	2月末に工 事は終了
ブンチアッ プジャンドゥラ	ウィーラウィ 頭首項灌漑 施設の改修	既設頭首工の改 修と土堤防の 整備	県灌漑局技官	ブンチアッ プジャンド ゥラ村落開 発委員会	3月中旬に 瑕疵対応終 了

(4) 維持管理委員会の設立

小規模インフラ整備が終了した後に、使用者及び住民側による施設の維持管理のため、各村において、維持管理委員会が設立された。また、適切な維持管理について学習するため、これらの維持管理委員会のメンバーを中心として、システムC地区へのスタディー・ツアーが実施された。

3-2-4 アウトプット4のための活動

(1) 農業・畜産分野の活動

プロジェクト活動において、まず、各行政村における農業形態の優先付け調査が行われた。同調査結果を参考として、CAPワークショップで抽出された問題や要望に基づき、農家との間で実施可能な活動について検討がなされた。結果として、稲作、畑作栽培への要望が多く、種子の自家採取や有機肥料投入等による初期投資削減への要望が多いことが判

明した。また、畜産分野の技術的訓練への要請が多くあった。農業・畜産分野における活動の概要は、以下の表 3-12 にまとめた。

表 3-12 農業・畜産分野活動概況

	活動内容	研修等 参加者数	実践者数	特記事項
1	CPH（籾殻薫炭）の活用	314	23	稲作、畑作において主に使用
2	緑肥栽培	6	3	乾期の水田で栽培し、収穫された種子を他農家へ配る事例有り
3	液肥の活用	111	21	ほとんどの農家にとって新しい取り組み
4	パラシュート移植法	108	8	モデル農家に限定して実践し、今後拡大を志向
5	種籾の自家生産	166	166	2kg の種子を各農家に提供し、来期用の種子生産を開始
6	ウリ科野菜栽培	40	40	農家管理が不適切で改善指導
7	きのこ栽培	8	5	6農家が実践していたが1農家が離脱
8	グアバ栽培	64	64	各農家の栽培は順調
9	パッションフルーツ契約栽培	206	36	栽培を行った農家において種子の発芽率が低い
10	ポロン豆の種子自家栽培	31	7	100g の種子から生産し、1kg は地域に還元
11	中国野菜栽培	7	7	ハンパントータ港湾事業に携わる中国人向け
12	拓榴栽培	180	180	家庭菜園の一環として実施
13	野菜種子の自家生産	37	7	40g 程度の種子を配布。害虫被害等が多い
14	家庭ビジネス菜園指導	25	25	意識向上と実践指導
15	家庭菜園	20	4	灌漑キット等設置
16	野菜栽培への複合的害虫対策	15	15	小規模農地では有効性が確認
17	堆肥の活用	314	77	
18	養蜂	40	8	一部を住民負担で養蜂箱を提供
19	CO-3 牧草栽培	6	4	家屋周辺での栽培

(2) 収入向上・生活改善分野の活動

各行政村の CAP で提案されている活動の中から重要度の高いものを選び、詳細な活動計画を策定するため、「生計向上会議」が全ての村で実施された。同会議においては、地域内の資源の有効活用に係る意識の向上や、視聴覚教材による「一村一品運動」について紹介がなされた。

各村に共通した課題として、1) 地元産品改善のための技術研修の必要性、2) 市場の問題、3) 原材料や種の不足、4) 起業やマネージメントに係る知識不足、5) 強い住民の依存心、が挙げられた。その後、以下のとおり、村レベル及び郡・県レベルでの生産支援活動が実施された。

村における活動

- ・「生産者と市場が出会うワークショップ」において、生産者、流通業者によって、共通する問題や改善策が検討された。
- ・ブンチアアップジャンドウラ村で、レンガ作り生産者グループが形成され、中央銀行系列のマイクロファイナンス団体よりローンが供与された。
- ・ボガハウエワ村の女性グループを対象とした食品加工技術研修が実施された。
- ・各村からの 10 名の住民代表に対し、食品加工実践及びマーケティング・プロセスに関する研修が実施された。
- ・手工芸品技術研修として、各村からの 15 名の住民代表に対し、生産者や市場見学が実施された。
- ・収入向上活動のオリエンテーション・プログラムが、現地 NGO の SEEDS と共同で開催された。

郡・県における活動

- ・スリランカ正月前フェアに、各村より、手工芸、果実・生鮮野菜、加工食品、米粉製品、乳製品、セメント鉢等が出品された。

「ハンバトータ地元産品振興委員会 (HPPC)」の設立と活動支援

ハンバトータで生産される農工業品の販売を促進するため、県次官が会長となり、企業、農家、銀行、NGO 等の 25 団体により設立された。HPPC は、設立後、以下のような、各種の貿易、産業フェア等に農家等の参加を促した。以下のような活動を行った。

- ・一村一品セミナーが開催され、135 名が参加 (2008 年 6 月)
- ・ハンバトータ物産展において、16 名の生産者が出品 (2008 年 7 月)
- ・ハンバトータ給料日市において、毎月、5~10 名の生産者が野菜等を販売 (2008 年 5 月~)
- ・コロンボで開催された Ag-Biz フェアに 5 名が参加 (2008 年 8 月)
- ・その他、ナボダヤ・フェア、ルフヌ・フェアにも生産者が参加

(3) 社会経済活性化分野の活動

小規模金融ワークショップを、対象となる 3 郡で開催し、VCC メンバー、銀行、NGO、他ドナー支援の事業関係者等が、合計 95 名が参加した。また、各村の女性グループへの啓発活動も実施された。

(4) VCC の運営支援活動

各行政村において、CAP に基づいた事業の進捗の確認と課題を検討するために、VCC

の定期会合が開催された。現状の VCC の開催実績は、表 3-13 の通りである。

表 3-13 VCC の開催実績 (2007 年 11 月～2009 年 3 月)

郡	行政村	開催数
ハンバントータ	ケリヤブラ	6
	カタンウェワ	5
	コホランカラ	8
スーリヤウェワ	イハラクンブックウェワ	—
	ウェリヤガマ	6
	ウェリウェワ	7
ルヌガンヴェフェラ	ボガハウェワ	10
	ブンチアップジャンドゥラ	8
	パダウガマ	6

3-2-5 その他の活動

(1) 対象行政村内における象の生態及び被害に係る実態調査 (2009 年 1 月)

対象行政村内の 2 村では、地域を徘徊する象による被害が深刻な課題として捉えていた。そのため、対象地域における象の生態、被害、その対策を明らかにし、プロジェクト対象地域内の人間の生活圏における象被害対策の経験と教訓が取りまとめられた。調査結果は、2009 年 1 月開催の HEC 報告セミナーにて関係者に周知された⁵。

(2) プロジェクト広報用ニュースレターの発行

日本語、英語、シンハラ語によるプロジェクト通信を、毎月、発行して、プロジェクト関係者を中心として、多数、配布されている。

3-3 アウトプットの達成状況

3-3-1 「アウトプット 1」

選定された行政村で CAP が策定され具体的な事業が抽出される。

各行政村における CAP の策定準備過程において、相当数の住民、関係する行政官が研修・実践訓練を受けた。そして、その結果として、2008 年 1 月時点において、全 9 つの行政村で CAP を完成させた。各 CAP において、村の課題に対応する事業の優先付けが行われ、準備が終わったものから実践に移された。

- ・ 指標 1：対象行政村において、2,160 名 (60 名×9 行政村×4 年) 以上の住民、204 名 (17 名×3 郡×4 年) 以上の地方行政官が CAP 策定の研修を受ける。

各村における CAP 策定の準備過程において、各種の技術研修が実施され、住民側の参加者数合計は 688 名、行政官の参加者数合計は 154 名となった。

⁵ “Seminar on Human-Elephant Conflict (HEC) in the Hambantota District”

- ・ 指標 2：全ての対象行政村で CAP が形成される。
支援対象となる 9 つの行政村で開催された CAP 策定ワークショップの成果として、其々の CAP が策定された。
- ・ 指標 3：選定された具体的な事業のうち、80%が裨益者から効果を認められる。
CAP レビュー・ワークショップにおいて、参加した住民より、自らが事業に関わった小規模インフラ整備に関して、その有効性が多数報告された。

3-3-2 アウトプット 2

CAP の実施に対し、郡調整委員会が機能する。

プロジェクト活動開始後に、プロジェクト執行委員会（PIC）は、支援対象となる 3 郡において其々、組織され、各行政の CAP の進行状況の把握や、実施上の課題が検討、調整が行われることとなっている。しかし、郡次官、郡評議会長、各行政村長（グラマ・ニラダリ）以外の行政官（農業指導員、畜産局職員、サムルディ職員、保健士等）の当事者意識は低く、PIC への参加率が芳しくない状況となっている。

- ・ 指標 1：各対象郡において、PIC が年間 10 回以上開催される。
2007 年 8 月以降の設立された各 PIC において、年間 6 回以上の会合が各郡において開催されている。これまでの開催数合計は、ハンバントータ郡で 12 回、スーリャウエワ郡で 14 回、そして、ルヌガンヴェヘラ郡で 11 回となっている。
- ・ 指標 2：全ての PIC において、50%を超える招待された開発関係者が参加する。
プロジェクト・スタッフへのインタビュー結果より、郡レベルの関係者の PIC への意識は高いとは言えず、総じて出席率の伸び悩んだ状況となっている。
- ・ 指標 3：各郡次官、職員及びプラデシヤ・サブハ議長が、調整機能の重要性を認識する。
本中間レビューのインタビュー結果は、各郡次官、職員及びプラデシヤ・サブハ議長等において、CAP の調整を図る PIC の重要性は認識されている。

3-3-3 アウトプット 3

具体的な事業の実施を通じ、住民及び住民組織の地方インフラ建設・整備能力が向上する。

各行政村において、CAP における優先事業であった小規模インフラ整備事業が実施された（VCC において合意に達しなかったイハラクンブックウエワ村を除く）。これらの事業は 2009 年 3 月までに全て終了した。各行政村において、建設、CCS 管理、運営維持等の研修が実施され、整備されたインフラの維持管理を行う運営管理委員会が組織された。

- ・ 指標 1：各事業に対し少なくとも 3 回の研修が実施され、70%の期待された住民が参加する。
建設（技術）研修、建設管理研修、運営維持（O&M）研修が、それぞれ各行政村において、実施された。建設（技術）研修においては、8 村で想定していた参加者の 70%以上が参加した（ケリヤプラ村のみ 65%）。また、建設管理研修では平均 78%、運営維持（O&M）研修で

は平均 90%の想定参加者が研修を受けた。

- ・ 指標 2：各郡において、CAP によるコミュニティ・コントラクトが 6 事業以上実施される。上記の表 3-11「各村の農村基盤整備事業の契約者及び実施者」にあるとおり、CCS に則って、3 郡中、8 ヲ村 8 事業が実施された。
 - ハンバントータ郡：3 事業
 - スーリヤウエワ郡：2 事業
 - ルヌガンヴェヘラ郡：3 事業

- ・ 指標 3：プロジェクトより資金支援を受けた全てのコミュニティ・コントラクトが満足できる安全性と質をもって完成する。

全ての小規模インフラ整備事業において、CCS に則って事業が実施されたが、プロジェクト側の徹底した管理の指導のもとで安全基準が遵守され、工事が施行された。

- ・ 指標 4：コミュニティ・コントラクトに責任をもつ全ての住民組織が、契約金額内で事業を完成させる。

ほとんどの事業では合意された契約金額内で事業が行われた。一方、いくつかの事例では、住民側の要望によって一部の工事がキャンセルされ、その代替工事が契約金額の範囲内で実施された。

- ・ 指標 5：責任をもつ全ての住民組織が、彼らの能力の範囲において維持・管理計画を策定する。

運営維持 (O&M) 研修を通じて、各村において整備された小規模インフラ施設の維持管理計画が策定された。

3-3-4 アウトプット 4

住民及び住民組織の生産・生活環境改善の実施活動及び維持能力が向上する。

プロジェクトは、行政村の農産物等の生産力向上や収入の増加を図るため、住民を対象とした様々な研修や実施訓練を行った。また、月例の VCC 会合では、これらの課題について住民間で検討がなされた。さらに、地域で産出される生産物の販売促進を図り、地域振興を担っていくためのプラットフォームとして、HPPC の設立と活動を支援した。また、象と住民との接触による被害を避けるために、「象の生態及び被害に係る実態調査」が実施され、その結果の共有がなされた。

- ・ 指標 1：各行政村の住民組織が、324 回 (3 回×3 住民組織×9 行政村×4 年) 以上のワークショップ及び研修を実施し、70%を超える期待された住民が参加する。

収入向上活動において、9 つのワークショップ/研修が実施され、予期された参加者の内、91%が参加した。また、農業・畜産分野の活動において実施された、83 の研修、実地訓練に、計 1,623 人が農家より参加した。

- ・ 指標 2: 少なくとも研修を受けた住民の 50% が、紹介された活動または技術指導を実践する。農業・畜産分野における 19 種類の技術的指導において、40% 以上の実践者があり、新たに導入された技術によって、その収入の向上を図っている。
- ・ 指標 3: 各対象行政村において、VCC 等開発に関する住民集会在、少なくとも月に 1 回開催される。
各行政村において、CAP に基づいた事業の進捗の確認と課題を検討するために、2007 年 11 月以降、VCC の定期会合が開催されている。これまでの開催数は、総計で 56 回である。

3-4 プロジェクト目標の達成見込み

対象地域において、住民の生計向上および生活改善のために、CAP や CCS の有効活用を通じた参加型村落開発の体制、仕組みが機能する。

現状において、プロジェクトは、対象行政村において策定された CAP を軸とした活動を展開し、確実にその成果を積み上げている。現在、各村の CAP で、計 380 の活動が提案され、うち 44% が実施に移されている。住民の収入の変化はまだ測定されていないが、CCS の利用では、住民組織の能力向上等の効果が発現している。この観点からは、プロジェクトの終了時において、プロジェクト目標の達成は十分に可能と思われる。

一方で、9 つの行政対象村の中で、ハンバントータ郡のイハラクンブックウェワ村では、VCC において優先事業に係る合意形成が得られておらず、活動が停止している状況にある。また、郡レベルで設置している PIC への行政関係者の出席率が芳しくないことについて、今後の改善が必要になると思われる。

- ・ 指標 1: CAP で示された 50% 以上の活動が、プロジェクト、政府機関、NGO 等で実施される。
CAP 策定後において、各行政村で優先事業・活動の実施がプロジェクトの支援により開始されている。その進捗状況は、以下の表 3-14 のとおり、各村毎に異なっており、既に 50% を超過したものもあれば、20% に達しない村もある。

表 3-14 CAP で提案された事業の実施割合 (2007 年 11 月～2009 年 3 月)

郡	行政村	提案事業	実施事業	(%)
ハンバントータ	コホロンカラ	58	11	19
	ケリヤプラ	47	23	49
	カタンウェア	59	20	34
スーリヤウェア	イハラクンブックウェワ	—	—	—
	ウェリヤガマ	36	29	81
	ウェリウェワ	52	22	42
ルヌガンヴェフェラ	ボガハウエワ	42	27	64
	パダウガマ	43	21	49
	ブンチャップジャンドゥラ	43	14	33
合計		380	167	44

- ・ **指標 2** : 50%以上の PIC 及び CBO メンバーが、包括的な開発計画としての CAP の有用性を認識する。

2009年2月から3月において実施された各郡の PIC メンバーによる、プロジェクト活動の評価結果からは、各 CAP より実施された事業や活動について、特に CCS によって実施された小規模インフラ整備事業について、住民側の労力や資材の提供とその後の維持管理について有効性が認められるとの意見が多く出された。

- ・ **指標 3** : 外部からの支援によって、5つ以上の活動、事業の実施がなされる。

3つの行政村において、既に WFP、CARE、World Vision からの支援によって活動を実施している。しかし、現状においては、これらの外部支援機関の CAP に対する認識は十分なものとなっていない。

- ・ **指標 4** : 9つの行政村において、25%の世帯の収入が増加する。

現状では、いくつかの農業・畜産分野及び収入向上分野の活動に参加した農家は、その生産物の販売によって収入を増加させている。しかし、まだ、この傾向が定着するまでには時間を要するものと思われる。

3-5 上位目標の達成見込み

ハンバントータ県及び南部州地域において、プロジェクトを通じて認知された参加型開発の、コミュニティに対する取り組みが普及することにより、住民の生計向上及び生活改善が図られる。

プロジェクトが導入した CAP アプローチは、主に住民主導で策定される CAP と、CCS の確実な履行によって構成されている。CAP 及び CCS 共に、スリランカ国独自のものであり、プロジェクトによるその確実な実施は、特に農村インフラ施設の整備と、維持管理に係る住民の高いオーナーシップをもたらしていることが注目されている。また、農業関連の生産に係る技術指導と収入向上活動は、農家側より多くの参加を得ている。

しかし、この CAP アプローチのプロジェクト対象地域外への普及への可能性については、スリランカ国の制度と合致させ、予算の措置を行う等、カウンターパート側の知見と力量に大きく左右されるものである。現在、南部州評議会を始めとするカウンターパート機関において、どの程度、同アプローチを自らのものとして咀嚼しているかは明確となっていない。

3-6 活動の実施プロセス

3-6-1 実施プロセスの妥当性

(1) 活動計画の実施

これまでの実施期間において、当初の活動計画に対して遅延もなく、活動が実施されている。各行政村において活動の中心となる CAP が策定され、住民との協議を経つつ、同計画に沿った活動が順次、実施に移されている。対象9行政村の中で、活動が停滞しているイハラクンブクウェワ村については、優先事業として挙げられた灌漑池改修事業が、フイービリティ調査の結果、経済性や持続性に課題があることが判明し、同村 VCC がこれに理解を示していないことに原因がある。他村においては、同様な状況が生じた際に

は、VCC 側との協議で、第 2 優先事業に変更するなどしている。この状況は同村側の問題であり、このことはプロジェクト活動全体の遅延には繋がっていない。

(2) 投入活用、カウンターパートとの関係

投入については、日本国側、スリランカ国側とも活動において十分に活用された。日本国側の投入については、日本人専門家とスリランカ人スタッフのチーム体制が組まれて、効果的に活動を行った。プロジェクト・チームは、各村の CAP の内容に柔軟に応じていくために、機能及び分野別に 5 つの部門によって構成され、現場活動における地方行政と住民を繋ぐ重要な役割を担った。

スリランカ国側投入については、州、県、郡、村レベルで其々、立場に応じて円滑に関与がなされた。州評議会からは、プロジェクト・マネージャーが配置され、活動全般を統括した。また、県次官は、PIC 等で調整の付かない課題等については、率先し調整を行った。また、郡レベルにおいて、郡次官事務所に APM が配置され、各村の CAP の策定から実施の過程において、プロジェクト側と活動を共同で行った。また、小規模インフラ整備事業（特に道路整備事業）の実施においては、各郡評議会から良好な協力が得られた。

一方、農業関連分野の活動において、南部州等の農業関連事務所については、プロジェクト側からの促される形で活動に参加することが多かった。また、各郡に設置された PIC において、定期会合への参加率の低さが課題となっている。

3-6-2 プロジェクト・マネジメント

(1) プロジェクト実施体制

ア) 合同調整委員会及び地方調整委員会

プロジェクトの意思決定と進捗のモニタリングのために、中央レベルでは合同調整委員会（JCC）、州/県レベルでは地方調整委員会（RCC）が設置された。同会合では、プロジェクトの進捗状況に関して、定期的な報告がなされる共に、課題等について意見交換が行われた。これまでに JCC は 4 回、RCC は 8 回開催されている（JCC 及び RCC の構成、開催実績については、以下の表 3-15 及び 3-16 参照）。

表 3-15 JCC の構成及び開催実績

スリランカ国 側構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 州評議会・ 地方政府省次官（議長） ・ 国家建設省次官 ・ 財務委員会次官 ・ 財務・ 計画省援助局代表 ・ 南部州評議会次官 ・ ハンバントータ県次官
開催実績	第 1 回（2007 年 4 月 16 日） 第 2 回（2007 年 7 月 16 日） 第 3 回（2008 年 3 月 17 日） 第 4 回（2009 年 1 月 15 日）

表 3-16 RCC の構成及び開催実績

スリランカ国 側構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南部州評議会次官（議長） ・ ハンバントータ県次官（議長） ・ プロジェクト・ マネージャー ・ 南部州関係各省代表 ・ 各 3 郡次官
開催実績	第 1 回（2007 年 4 月 19 日） 第 2 回（2007 年 7 月 9 日） 第 3 回（2007 年 12 月 4 日） 第 4 回（2008 年 3 月 12 日） 第 5 回（2008 年 6 月 6 日） 第 6 回（2008 年 9 月 26 日） 第 7 回（2008 年 12 月 8 日） 第 8 回（2009 年 3 月 13 日）

イ) プロジェクト執行委員会（郡）

郡レベルにおいて、各行政村内で実施されるプロジェクト活動の執行を管理するために、PIC が設置された。対象となる 3 郡において PIC は、年間 6 回以上の割合で開催されている。これまでの開催実績数は、ハンバントータ郡で 12 回、スーリャウエワ郡で 14 回、そして、ルヌガンヴェヘラ郡で 11 回となっている（PIC の構成、開催実績については、以下の表 3-17 参照）。

表 3-17 PIC の構成及び開催実績

スリランカ国側構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郡次官 ・ グラマニラダリ (村長) ・ 郡次官事務所付け専門職員 ・ プラデシヤ・サブハ (郡評議会) 代表 ・ その他、関係行政職員 ・ NGO 等の関係者 	
ハンバントータ郡	スーリヤウェワ郡	ルヌガンヴェヘラ郡
第 1 回 (2007 年 4 月 24 日)	第 1 回 (2007 年 4 月 26 日)	第 1 回 (2007 年 4 月 27 日)
第 2 回 (2007 年 6 月 12 日)	第 2 回 (2007 年 6 月 13 日)	第 2 回 (2007 年 6 月 20 日)
第 3 回 (2007 年 9 月 11 日)	第 3 回 (2007 年 9 月 19 日)	第 3 回 (2007 年 9 月 13 日)
第 4 回 (2007 年 12 月 24 日)	第 4 回 (2007 年 12 月 20 日)	第 4 回 (2007 年 11 月 26 日)
第 5 回 (2008 年 2 月 5 日)	第 5 回 (2008 年 1 月 30 日)	第 5 回 (2008 年 2 月 7 日)
第 6 回 (2008 年 3 月 11 日)	第 6 回 (2008 年 3 月 4 日)	第 6 回 (2008 年 3 月 11 日)
第 7 回 (2008 年 6 月 6 日)	第 7 回 (2008 年 5 月 14 日)	第 7 回 (2008 年 6 月 4 日)
第 8 回 (2008 年 8 月 5 日)	第 8 回 (2008 年 7 月 23 日)	第 8 回 (2008 年 7 月 9 日)
第 9 回 (2008 年 10 月 2 日)	第 9 回 (2008 年 9 月 22 日)	第 9 回 (2008 年 9 月 3 日)
第 10 回 (2008 年 12 月 5 日)	第 10 回 (2008 年 10 月 6 日)	第 10 回 (2008 年 12 月 24 日)
第 11 回 (2009 年 2 月 6 日)	第 11 回 (2009 年 12 月 29 日)	第 11 回 (2009 年 3 月 12 日)
第 12 回 (2009 年 3 月 6 日)	第 12 回 (2009 年 2 月 2 日)	
	第 13 回 (2009 年 3 月 9 日)	
	第 14 回 (2009 年 3 月 12 日)	

3-7 プロジェクトの貢献及び阻害要因

3-7-1 貢献要因

(1) スリランカ独自のアプローチ

プロジェクトが行政村レベルで導入した CAP 及び CCS は共に、外来的に導入した参加型開発ではなく、スリランカ国独自の概念及び制度である。そのため、活動において導入する際に、現地地方行政側及び地域住民にとって違和感無く、受け入れることができた。

(2) 日本人専門家とスリランカ人スタッフ

プロジェクトの日本側投入において、日本人専門家とスリランカ人スタッフはチームとして、活動を効果的、効率的に行った。特に、小規模インフラ整備事業や農業分野における活動に際して、日本専門家は活動に際して、スリランカ人スタッフ任せにせず、其々の活動の各工程で、適正な技術指導を行い、活動の質の確保と時間の管理に貢献した。スリランカ人スタッフ側は、これらの技術指導により自らの能力向上を図りつつ、活動を推進した。

(3) 外部支援に慣れた住民

対象地域となった行政村では、津波被害前後より現在まで、NGO を始めとする外部支援

団体が活動を行っている。これらの団体の活動に際しては、住民側に組織化や内部での課題の検討を求めることが多いことから、いくつかの行政村では、プロジェクトの活動における VCC の結成、協議という要請についても、既に経験が蓄積されていた。

3-7-2 阻害要因

(1) 関係者に残る依存症癖

2004 年に対象地域を襲った津波被害に対する外部からの支援以降、地域住民の外部支援に対する援助慣れの現象が強く残っている。そのため、村落開発において自らの力で行うという発想に乏しく、プロジェクトに対しても、常に受動的、かつ、資源の提供を望む傾向があり、CCS における住民側の貢献についても、受け入れに時間を要した。

(2) 低いカウンターパート側のオーナーシップ意識

郡レベルでの調整機関である PIC において、出席を求められるメンバーの関心が低く、会合への出席率が向上していない。要因として、プロジェクトから活動経費などの直接的な恩恵を得られないことや、プロジェクトがあくまで JICA 独自のものと認識されていること、同じ郡レベルの開発関係者で設定されている郡調整委員会との機能の重複が掲げられている。

(3) 複雑な行政機構

プロジェクトでは協力セクターを事前に特定するのではなく、住民参加型で計画して決定していくアプローチを取っているが、その結果関係セクターが農業、灌漑、保健、水道、農道等多岐にわたっている。スリランカ国の地方行政はセクターや灌漑スキームによって責任機関のラインが異なり、中央政府出先機関、地方議会政府、郡次官事務所はプロジェクトの中心実施機関である南部州の指揮命令下になく、調整に大きな労力が費やされている⁶。

(4) プロジェクト・マネージャーの不在

スリランカ国側のカウンターパートであるプロジェクト・マネージャーについては、2008 年 3 月に本人が急逝し不在となった、それ以降、人員の割り当てがなされていない。そのため、南部州評議会及びハンバントータ県次官事務所との意思の疎通について、プロジェクト側において負担を生じるものとなっている。

(5) 対象行政村内で活動する NGO 等の調整

プロジェクトが活動を行う 9 行政村において、多数の NGO 等が住民を対象とした支援活動を行っている。これらの団体は、独自の活動目的と支援アプローチによって活動を行

⁶ スリランカ国の地方行政は、県次官 (GA) ⇒ 郡次官 (DS) ⇒ 村長 (GN) という中央政府ラインと、州政府 (PC)、地方議会政府 (PS) という分権体制との並列構造となっている。DS と PS の地域は異なることもあるが、SouthCAP 対象 3 郡では同一である。農業、灌漑、畜産、教育、保健等の分野は DS が担当し、小規模水道、農道、ごみ処理等の分野は PS が担当する。なお研究開発一般や、2 つ以上の州にまたがる灌漑地域 (SouthCAP ではルヌガンヴェヘラ郡) や道路等での行政サービス、そして農民支援センター (ASC) のサービスは中央省庁直轄となっている。郡レベルでの開発計画策定やセクター間の調整は DS の所管であり、PC に所属する現場行政官も DS 事務所で勤務している。

い、プロジェクトが作成支援を行った各村の CAP を重視しないケースや、活動における住民負担を必ずしも求めない例もあり、住民側に混乱を生じさせる要因となっている。

第4章 評価5項目における評価結果

4-1 妥当性

プロジェクトは、スリランカ国政府の開発政策、対象地域である南部州ハンバントータ県のニーズ、日本国及び JICA の同国に対する技術支援の計画と合致している。また、プロジェクト・デザインにおいても、地域の事情に適正に応じたアプローチを採っている。これらのことから、プロジェクトの実施に係る妥当性は高いと云える。

(1) 相手国政府の政策との整合性

スリランカ国政府は、2004年に策定された経済フレームワークにおいて、貧困層に配慮した経済成長を最優先課題としている。また、現在の国家政策である「マヒンダ・チンタナ」においては、紛争影響地である北・東部の復興支援と同時に、開発の遅れている南部地域で開発を進め、バランスのとれた国家開発を行うとしている。そのため、同国政府は地方開発の推進を目的としたガマ・ネグマ等の類似プロジェクトに大規模な予算措置を講じて実施している。

(2) 支援対象地域のニーズとの合致

プロジェクトの対象地域となる、南部州ハンバントータ県3郡内の9つの行政村において、開発事業の実施に先立って、地域の状況を基礎調査等で把握した後に、当該コミュニティと協議を経つつCAPを策定した。次に、プロジェクトが支援するCAPの活動は、各々のコミュニティによって優先順位付けがなされた上で実施されている。このことから、プロジェクトの活動は、地域のニーズに合致している。

(3) 日本国の開発援助政策と JICA 事業実施計画との整合性

2004年に策定された日本の国別援助計画において、1) 平和の定着・復興支援、2) 長期開発ビジョンから成り立っており、2)においては貧困削減を援助の重点としている。そのため、後発開発地域として南部地域がその対象とされている。また、JICAの国別事業実施計画において、貧困削減を重点としている。このことから、本プロジェクトは、日本の開発援助政策と JICA 事業実施計画との整合性を保っている。

(4) プロジェクト・デザインの妥当性

プロジェクト対象とする行政村の選定に際しては、開発ニーズが高く、かつ、他団体との支援状況が重複しない地域が優先された。一方、プロジェクトが導入したアプローチは、スリランカ国の概念と制度であるCAP及びCCSを適切に実施するものであり、当該住民及びカウンターパート機関となる地方政府機関にとって、非常に親和性の高いものとなっている。このことから、本プロジェクトのデザインは、相手国側への技術支援事業として、妥当性は高いものとなっている。

4-2 有効性

プロジェクトは、これまでの活動期間において、確実に所定の成果を、対象地域において積み

上げてきている。この観点からは、プロジェクトは効果的に実施されて来ていると云える。一方、主に CAP の策定から適切な CCS 実行を含む CAP の実施、管理にいたる一連のプロセス（CAP アプローチ）が、今後、カウンターパートや地方政府機関において実施され、かつ、他の支援団体が CAP をリソースとして活用していく観点からは、課題が残されている。

(1) プロジェクト目標の達成度（予測）

プロジェクトの支援対象である 9 つの全ての対象行政村において、綿密な準備の下、コミュニティ内における協議を中心として、CAP が策定された。また、CAP の運用と活動の実施を担う VCC が、各行政村において設立された。

CAP 策定後、各行政村において、小規模インフラ整備事業の選定と実施、生計向上のための農業及びその他の分野で、生産向上活動が開始された。事業の選定に係る調整が捗らなかった一村を除き、インフラ事業は、CCS の適切な実施により、2009 年 3 月までに全て終了した。これらの行政村では、コミュニティによる整備されたインフラ施設の維持管理が行われている。また、農業及びその他の生産分野における生産向上活動において、住民は様々な活動に加わり、生計向上を図っている。

これらの実績とプロジェクトの CAP アプローチは、州評議会次官及び県次官によっても、その有用性が認められおり、その実績の積み重ねによって、プロジェクト目標として掲げたとおり、CAP が対象行政村における包括的な開発計画として、機能することが予想される。

(2) プロジェクト目標達成に係る貢献及び阻害要因

ア) 貢献要因

スリランカ国の郡レベルにおいて、開発に携わる行政機関や縦割り構造のため、村レベルの開発課題への対処において連携を欠いている。また、NGO 等の外部支援機関は、個別に活動を行っている。そのような状況において、プロジェクトの存在は、ハンバントータ県の地方行機関や NGO 等の関係機関に対して、連携した活動を行うためのプラットフォーム機能を果たしている。また、各村の CAP が、これらの機関に対して統一された開発情報を提供すると共に、新たに設立された HPPC では、異業種間の協働が進行している。

イ) 阻害要因

郡レベルにおいて、プロジェクト活動実施の調整機関である、PIC における政府関係機関のメンバーの関心が低く、会合への出席率が芳しくない。また、南部州評議会側においても、自らの組織と財政で CAP アプローチを担っていくべき準備が整っていない。地方分権が中途段階で、基本的に中央集権構造が残っているスリランカの行政機構においては、どの程度、州及び県レベルの行政機関が強いイニシアティブと裁量を持っているか、不明確な要素がある。

4-3 効率性

プロジェクトの活動は、計画に沿って遅延無く実施されている。また、日本国及びスリランカ国双方の投入は、活動において効果的に活用され、成果の達成に貢献している。これらの観点から、プロジェクトは効率的に実施されていると云える。

(1) 投入の活動における適正度

日本国側及びスリランカ国側の投入は、遅延無く活動に投入され、効果的に活用された。日本国側の投入について、日本人専門家と現地人専門家はチームとして活動し、日本の技術支援を現地において、効率的に実施した。スリランカ国側の投入について、特に郡次官事務所配置された APM は、プロジェクト活動全般に参加し、成果の達成に寄与した。

(2) プロジェクト・マネージメント

カウンターパート機関とプロジェクトチームは、良好にコミュニケーションを図っている。定期的開催される JCC 及び RCC において、プロジェクトの進捗状況の確認と意思決定がなされている。

(3) プロジェクト活動に係る阻害要因

対象地域であるハンバントータ県は、2004 年の津波による被災地域であり、被災地支援のための外部援助が多く入った地域である。そのため、官民間問わず、開発事業は外部資源に依存しようとする意識が、依然として強く残っている。そのため、住民自らが開発課題を考え、事業の実施における責任の分担と住民の負担を求めるといふ、プロジェクトのアプローチが地域で受容されるには、大きな労力が必要となった。また、同じ地域で活動する NGO 等が、依然として無償でサービスを提供するアプローチを採っていることが、住民側においてプロジェクトの理念を理解することの妨げとなった。

4-4 インパクト

上位目標は、プロジェクトの対象地域外において、スリランカ国政府及びカウンターパート機関による CAP アプローチの実践であるが、そのためには、スリランカ国政府による資金・人材の確保が課題になると思われる。一方、プロジェクト実施によるインパクトについては、いくつかのポジティブ及びネガティブなインパクトが、散見された。

(1) ポジティブなインパクト

①ハンバントータ地元産品振興委員会 (HPPC) の設立

ハンバントータで生産される農工業品の販売を促進するため、県次官が会長となり、企業、農家、銀行、NGO 等の 25 団体により設立された。HPPC の設立後、異業種であるメンバー団体間の意見交換や情報の共有が図られ、各種の貿易、産業フェア等に農家等の生産者が多く参加する結果となった。このことが、同地域において、生産と市場の近接を促すこととなり、生産者側の意識の向上に繋がった。

②対象行政村内における象の生態及び被害に係る実態調査

対象行政村内の 2 村では、地域を徘徊する象による被害が深刻な課題として捉えていた。そのため、実態調査が実施され、対象地域における象の生態、被害、その対策を明らかにされ、関係者間で、結果の共有が行われた。

(2) ネガティブなインパクト

住民及び現場行政官において存在する依存心が残存しており、プロジェクトを新たな外部

支援としてのみ捉え、即物的なインセンティブを求めるケースが見られている。

4-5 自立発展性

現状における本プロジェクトの自立発展性の予測に関して、以下の通り、スリランカ国側における政策/制度面、組織/財政面、技術面について検証した。

(1) 政策/制度面

プロジェクトが導入した開発アプローチを構成する CAP、CCS は、スリランカにおける既存の概念と制度であり、スリランカ国政府及び地方政府にとって、親和性の高いものである。州首席次官や県次官においても、CAP アプローチの持続、展開には意欲を示している。しかし、州以下のレベルにおいて、その具体的な措置を行うための政策的な裏付けは確認されていない。また、地方行政の末端である行政村で策定された CAP について、郡や行政村、また、各集落レベルにおける公的な位置付けや扱いに関しても、方向性が明示されていない。

(2) 組織/財政面

スリランカ国政府は、地方開発に重点をおいており、ガマ・ネグマ⁷等の類似プロジェクトに、大規模な予算措置がなされている。しかしながら、プロジェクト終了後に、CAP アプローチを継続するために、州評議会以下、県次官事務所、郡次官事務所、郡評議会、農業支理事務所等において、組織の位置付け、財政面での措置は、現時点で確保されていない。また、行政村レベルで活動を行う機関を一元的に調整する枠組みとして、郡調整委員会が設置されているが、現状において、CAP を活用するためには有効に機能していない。

(3) 技術面

プロジェクトでは、外部からの技術支援として、応用が困難な高度な技術は使用せず、スリランカの概念と制度である CAP、CCS という開発手法を導入し、実践している。これらの開発手法は、政府職員がプロジェクトへの参加を通じて習得し得る適正技術であり、技術面では継続性が確保される。また、住民レベルにおいても、VCC メンバーを中心として、各村の CAP の策定と小規模インフラ整備事業の実施と維持管理を経験している。これらの経験はメンバー間で共有されており、その活動の継続と知見の維持が期待される。

⁷ 国家政策“Mahinda Chinthana”で掲げられ 2006 年に始まった村レベルの開発プログラムで、“Village up-liftment programme”もしくは“Intensive village development programme”と訳される。生計持続のため、参加型開発を通じたコミュニティーの能力向上に重点を置いており、対象分野は地方道路、地方電化、給水、小規模灌漑、農業、保健関連施設改善、コミュニティーセンター改善など幅広い。郡次官（DS）が村長（GN）の支援を得てニーズを特定、住民組織および地方議会の合意を得てプロジェクトを決定する。事業実施時には住民組織からの一部自己負担も求めている。国家建設・エステート基盤開発省が主管し、2009 年度予算は 120 億ルピー。

第5章 結論

現状の活動実績及び実施プロセスの検証、5項目による評価の結果より、本プロジェクトは、実施における妥当性が高く、かつ、実績を積み重ねる過程で、効率的に実施されてきたと結論することができる。

また、プロジェクトは、当初の計画の則って確実に成果を上げており、かつ、当初は予想していなかったポジティブなインパクトを生んでいる。この観点からは、有効性も適正と云える。一方、プロジェクト目標の達成を鑑みる場合、PIC へのスリランカ国側の関心の低さは阻害要因ともなり得る。

プロジェクト効果の持続性の観点からは、CAP 及び CCS は共に、外来的に導入した参加型開発ではなく、スリランカ国独自の概念及び制度である。そのため、同アプローチの導入と維持については、同国側として違和感無く行えるものであり、州政府評議会次官及び県次官より、その継続と拡大への意思表示が見られた。一方で、そのための財政措置や、組織的な対応については、現状では何ら明確にされていない。

これらの観点から、プロジェクトが、今後の後半の期間において、計画通りに実施されるとともに、プロジェクト効果の持続性を確保し、スリランカ国政府による自立発展性の確保を図るためには、カウンターパート機関の財政的、組織的な対応が求められる。

第6章 提言と教訓

6-1 提言

6-1-1 スリランカ国政府側への提言

(1) プロジェクトにおける CAP アプローチの、政府プログラムへの適用

プロジェクトが導入した CAP アプローチは、県及び郡レベルにおける農村開発の好事例を示している。スリランカ政府が実施しているガマ・ネグマ、マガ・ネグマ等の地方開発プログラムにおいて、同アプローチを活用して実施することが、必要と思われる。具体的には、プロジェクト期間中に、CAP で特定された事業を、これらの政府プログラムの資金を使って実施することを試行的に開始することが求められる。

(2) 他行政村への CAP 作成の準備

プロジェクトの活動対象となっている 9 つの行政村の周辺にある、他の行政村に関して、包括的な開発計画である CAP の作成を開始すること必要と思われる。プロジェクトでは、3 郡よりそれぞれ 3 行政村を選んで活動を展開しているが、郡レベルで効果的な開発効果を求める場合には、他の行政村においても同様に、CAP を中心とした開発事業の実施が行政効率の観点からは望ましく、プロジェクト期間中から郡次官事務所が中心となって、周辺村での CAP 作成を試行することが求められる。

(3) プロジェクト・マネージャーの再配置

2008 年 3 月以降、スリランカ国側のプロジェクト・マネージャーが不在となっており、その後継者について、適任者を速やかに配置することが必要である。

(4) 適切なコミュニティー契約制度 (CCS) の推進

プロジェクトの実施を通じて、CCS は、住民組織の財政/技術能力、維持管理能力の養成の効果や、住民の一部負担を組み込んでいることによる、主体性意識の醸成が確認された。一方、本プロジェクト以外では、形だけの CCS として、住民組織がマージンを取り事業者に丸投げする等の例が見られている。このような事例は、CCS 本来の役割と意義を大きく減じてしまうことになるため、スリランカ国政府は、現状を検証した上で、CCS のあるべき姿を取り戻すために、その適正化を図っていくことが求められる。

6-1-2 スリランカ国政府及びプロジェクト・チーム側への提言

(1) PIC コア・チームの形成

現状の各 PIC において、メンバーはプロジェクトとの直接的な関係が求められていない行政官も含めて 30 名近くとなっている。このことから、プロジェクトに対する関心の低さが生じ、定期会合においては、参加者が集まらず、会合の延期等の要因となっている。そのため、従来のメンバー構成を見直し、プロジェクト活動への関与が高い機関、関係者によるコア・チームを形成することで、より実質的な議論を定期的に行えるようにする必要がある。

(2) イハラクンブックウェワ村に係る調整

インフラ事業の選定をめぐる意見不一致から、プロジェクト活動が停滞しているイハラクンブックウェワ村に関して、客観的、技術的な事実に基づいて、対話を促進することが求められている。

6-1-3 プロジェクト・チームへの提言

(1) CAPアプローチ導入における経験や知見の取り纏め

プロジェクトは、CAPアプローチの実施を、プロジェクト自身の人的、資金的リソースで実施してきたが、今後、スリランカ国側のカウンターパート機関による実施を促進するため、同国政府の行政機構、財政制度に則った同アプローチの運用が必要となる。

そのための実践の一環として、今後、ガマ・ネグマ等の政府プログラム予算を、活動中に取り込んでいくことが求められる。そのような政府プログラムに取り込んでいく過程において、様々な制度上の相違から生ずる実施上の課題や、その解決方法等の経験を、CAPアプローチの実践のための知見として文献資料として取りまとめることが必要である。このような資料は、将来、同国政府がCAPアプローチを自主的に展開していく際に、重要な知的資源となると思われる。

6-2 教訓

6-2-1 郡次官事務所のアシスタント・プロジェクト・マネージャー（APM）の配置

郡次官事務所の APM を配置したことは、プロジェクトの活動現場において、のスリランカ国側のオーナーシップを高めるのに効果的であった。APM は、フィールド・レベルのプロジェクト活動に深く関与し、RCC 等ではプロジェクトを代表する形で、担当郡の活動の進捗状況を報告する等している。

6-2-2 住民契約システム（CCS）の効果

プロジェクトが対象行政村内の小規模インフラ整備事業の実施で導入している CCS では、住民に対する建設（技術）研修、建設運営研修、契約実施、住民負担を前提とした工事の実施、定期的なモニタリング、維持運営管理研修と実施の各ステップが確実に履行されている。住民自身に知識や施設管理能力を持たせ、計画のみならず、事業の実施に主体的に参加させる、このようなプロセスは時間を要するものであるが、その結果として、住民組織の財政/技術能力、自信および主体性の向上、維持管理能力の醸成といった高い効果あることが改めて確認された。また、整備されたインフラ施設そのものも、住民の管理によって公共性を維持することが可能となった。

付 属 資 料

1. 主要面談者
2. カウンターパートリスト
3. 協議議事録 (M/M) ※合同調査報告書を含む
4. 聞き取り調査結果
5. 質問票回答

主要面談者リスト

所属	タイトル	氏名
地方政府・州評議会 省	Secretary	Mr. H.P. Cashian Herath,
	Additional Secretary	Mr. Eric Illyapparachchi,
国家建設省	Director-General	Mr. B. H. (Buddhi) Passaperyma,
農業開発局－農業支 援センター	Divisional Officer (Weeriwela)	Mr. Sawath Hewarathna,
	Divisional Officer (Bandogiriya)	Mrs. Ramani Alegenanardan
	Divisional Officer (Meegahojandena)	Mr. E.P.Sugathpala
南部州評議会	Chief Secretary	Mr. A. Samarasinghe,
南部州灌漑局	District Irrigation Engineer	Mr. Upul Chandana
	Technical Officer	Mr. M. Wijamuni Aracbenic
南部州農業局	Deputy Director	Mr. C. Nanayakkewa,
	Subject Matter Officer	Mr. Zaneer
ハンバントータ県	District Secretary	Mr. R.M.D.B. Meegasmulla
	Small Enterprises Development Division	Mr. Piyasena Wetthasinghe, Assistant Director
ハンバントータ郡次 官事務所)	Divisional Secretary	Mr. Ganesha Amarasinghe
	Assistant Project Manager	Mr. L.A. Jayaratne
スーリヤウエワ郡 (次官事務所)	Divisional Secretariat	Mr. N.K.R. Pathirana
	Assistant Project Manager	Mr. Srimantha Piyawardana
	Weeriyagama GN	Mr. J. G. Dharmasena
	Weliwewa GN	Mr. H.G.S. Premaka
スーリヤウエワ郡 (評議会)	Chairman	Mr. Nandasiri Ranatuuga
	Vice Chairman	Mr. Sugath Gamimi
	Secretary	Mr. Somasiri
ルヌガンヴェフェラ 郡 (次官事務所)	Assistant Divisional Secretary	Mr. R.M.B. Jayathilaka
	Assistant Project Manager	Mr. P. Wanigasekara
	Bogahawewa GN	Mr. Wannigama
	Padwgana GN	Mr. E.K. Siril
	Punchiappu Jandura GN	Mr. E.K. Siril
ルヌガンヴェフェラ 郡 (評議会)	Chairman	Mr. Wijitha Ubewardhana,
	Technical Officer	Mr. Wasantha Jayawardhana,
ハンバントータ物産 振興委員会 (HPPC)	Secretary	Mr. P. Weththazinghe
ケア・インターナシ ョナル	Area officer	Mr. Dissanayaka M. Ilangarathna
貧困緩和のためのマイ クロファイナンス (PAMP)	District Coordinator	Mr. A. Jayawardana
人権支援組合 (CHA)	District Officer	Mr. Chameera Ekanayake

*JICA 関係者、プロジェクトスタッフ、対象村落住民を除く。

2. Assignment of Counterpart

No	Position / Organization	Name of Counterpart	Field in charge	Term of Assignment		2007												2008					2009					
				From	To	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
Administrative personnel																												
1	Secretary, MoL/GPC	Mr. Casian Herath	Overall direction and management of project	March-07	Present																							
2	Additional Secretary, MoL/GPC	Mr. Eric Illayapparachchi	Overall direction and management of project	March-07	Present																							
3	Chief Secretary, Southern Provincial Council	Mr. A. Samarasinghe,	Overall direction and management of project	April-07	May-09																							
4	District Secretary/GA Hambantota District	Mr. R.M.D.B. Meegasmulla	Overall direction and management of project	April-07	Present																							
5	Project manager	Mr. M.G.T. Navaratne	Overall management of Project activities	September-07	March-08																							
6	Assistant Project Manager (Lunuganwéhera DS division)	Mr. H.A. Amalapura	Divisional level coordination and	October-07	February-08																							
7	Assistant Project Manager (Lunuganwéhera DS division)	Mr. Piyasena Wanigasekara	Divisional level coordination and	March-09	present																							
8	Assistant Project Manager (Sooriyawewa DS division)	Mr. L. A. Jayaratne	Divisional level coordination and	October-07	present																							
9	Assistant Project Manager (Hambantota DS division)	Mr. A. W. Srimantha Priyawardhana	Divisional level coordination and	October-07	present																							
Provincial level																												
10	Deputy Chief Secretary of Planning, SPC	Mrs Kumudunie Abeywickrama	Supervising district/divisional level activities	April-07	March-08																							
11	Deputy Chief Secretary of Planning, SPC	Mr. Seelaratne De Silva	Supervising district/divisional level activities	March-08	April-09																							
12	Deputy Chief Secretary of Planning, SPC	Mrs I.V.N.P.Kumuduni	Supervising district/divisional level activities	April-09	present																							
13	Deputy Chief Secretary of Finance, SPC	Mr. H.K.Dayapema	Supervision and provision of financial activities	April-07	present																							
District level																												
14	Assistant Commissioner, Agrerian Service Centre	Mr. D.L.K. Priyawansa	District level coordination and monitoring	August-08	Present																							
15	Deputy Director, Agriculture	Mr. Sarath Sri Lal	District level coordination and monitoring	April-07	November-08																							
16	Deputy Director, Agriculture	Mr. C. Nanayakkara	District level coordination and monitoring	December-08	Present																							
17	Deputy Director, Agriculture (Inter-Provincial)	Mr. T.A. Booso	District level coordination and monitoring	April-07	February-08																							
18	Deputy Director, Agriculture (Inter-Provincial)	Mr. W.L. Hiran Peris	District level coordination and monitoring	March-08	Present																							
19	District Assistant Director, Animal Production and Health	Dr. K.H.S. Wasanthi	District level coordination and monitoring	April-07	Present																							

No	Position / Organization	Name of Counterpart	Field in charge	Term of Assignment		2007												2008												2009				
				From	To	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
40	Veterinary surgeon Lunugamwehela	Dr. V.R. Wikrama Arachchi	Divisional level monitoring & evaluation	April-07	February-08																													
41	Veterinary surgeon Lunugamwehela	Dr. V.D. Widana Pathirana	Divisional level monitoring & evaluation	February-08	Present																													
42	Agriculture Instructor Hambantota	Mr. H.A. Upali	Training and instructing	April-07	Present																													
43	Agriculture Instructor Sooriyawewa	Mr. W.A.P. Kulasingha	Training and instructing	April-07	Present																													
44	Agriculture Instructor Lunugamwehela	Mr. W. Sumantha Gammiri	Training and instructing	April-07	Present																													
45	Livestock Development Instructor Hambantota	Ms. M.H. Niroshi Dilhani Gunasiri	Training and instructing	April-07	Present																													
46	Livestock Development Instructor Sooriyawewa	Mr. K.P. Indruwage	Training and instructing	April-07	present																													
47	Livestock Development Instructor Lunugamwehela	Mr. L.C. Walpola	Training and instructing	April-07	present																													
48	Technical Officer, Pradeshiya Sabha - Sooriyawewa	Mr. R.M. Rajudeen	Detailed planning, survey and levelling, construction supervision and training to CBO members related to CCS	December-07	February-08																													
49	Technical Officer, Pradeshiya Sabha - Sooriyawewa	Mr. M.M. Rohitha	Detailed planning, survey and levelling, construction supervision and training to CBO members related to CCS	February-08	present																													
50	Technical Officer, Pradeshiya Sabha - Habmantota	Mr. R.M. Rajudeen	Detailed planning, survey and levelling, construction supervision and training to CBO members related to CCS	February-08	present																													
51	Technical Officer, Provincial Irrigation Department	Mr. M. Wijemuni Arachchi	Detailed planning, survey and levelling, construction supervision and training to CBO members related to CCS	May-07	present																													
52	Rural Development officer Lunugamwehela	Mr. M.W. Dharmadasa	RDS coordination and facilitation	April-07	present																													
53	Public Health Inspector Sooriyawewa	Mr. Nimal Senarathna	Divisional level monitoring & evaluation	April-07	present																													
54	Medical Officer of Health Lunugamwehela	Mr. P.E. Galappaththi	community awareness and necessary approval	April-07	present																													
55	Medical Officer of Health Hambantota	Mrs. Gajanayake	community awareness and necessary approval	April-07	July-08																													
56	Medical Officer of Health Hambantota	Mrs. H.M.S. Madukaipani	community awareness and necessary approval	August-08	present																													

**MINUTES OF MEETING
OF
THE JOINT COORDINATION COMMITTEE FOR
THE JOINT MID-TERM REVIEW
ON
THE PROJECT ON RURAL LIVELIHOOD IMPROVEMENT
IN HAMBANTOTA DISTRICT
(SouthCAP)**

Since the Project on Rural Livelihood Improvement in Hambantota District (hereinafter referred to as “the Project”) has come to the middle of the cooperation term, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and the government of Democratic Socialist Republic of Sri Lanka (hereinafter referred to as “Sri Lanka”) has jointly organized a Mid-Term Review Team (hereinafter referred to as “the Team”) to conduct mid-term review of the Project.


After the intensive study and analysis of the activities and achievements of the Project, the Team prepared the Joint Mid-Term Review Report (hereinafter referred to as “the Report”). The report was presented to the Regional Coordination Committee (hereinafter referred to as “RCC”) and accepted.

The Team next presented the Report to the Joint Coordination Committee (hereinafter referred to as “JCC”) and explained the result of the discussion in RCC. After the series of discussions, JCC endorsed them.

Colombo, 5th May, 2009



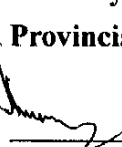
Ms. NISHINO Yasuko
Senior Representative
JICA Sri Lanka Office




Ms. KITAZUME Akino
Chief Advisor
SouthCAP



Mr. Cashian Herath
Secretary
**Ministry of Local Government &
Provincial Councils**



Mr. A. Samarasinghe
Chief Secretary
Southern Provincial Council



Mr. R.M.D.B. Meegasmulla
District Secretary
Hambantota District

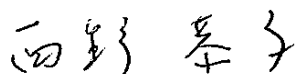
MINUTES OF MEETING
OF
THE REGIONAL COORDINATION COMMITTEE FOR
THE JOINT MID-TERM REVIEW
ON
THE PROJECT ON RURAL LIVELIHOOD IMPROVEMENT
IN HAMBANTOTA DISTRICT
(SouthCAP)

Since the Project on Rural Livelihood Improvement in Hambantota District (hereinafter referred to as “the Project”) has come to the middle of the cooperation term, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and the government of Democratic Socialist Republic of Sri Lanka (hereinafter referred to as “Sri Lanka”) has jointly organized a Mid-Term Review Team (hereinafter referred to as “the Team”) to conduct mid-term review of the Project.


After the intensive study and analysis of the activities and achievements of the Project, the Team prepared the Joint Mid-Term Review Report (hereinafter referred to as “the Report”), and presented it to the Regional Coordination Committee.

The Regional Coordination Committee discussed the major issues pointed out in the Report and agreed the matters attached hereto.

Hambantota, 4th May, 2009



Ms. NISHINO Yasuko
Senior Representative
JICA Sri Lanka Office



Mr. A. Samarasinghe
Chief Secretary
Southern Provincial Council



Ms. KITAZUME Akino
Chief Advisor
SouthCAP


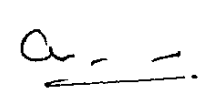


Mr. R.M.D.B. Meegasmulla
District Secretary
Hambantota District

Attachment

1. The Joint Mid-Term Review Team presented the Report to the Regional Coordination Committee.
2. The Regional Coordination Committee accepted the Report and decided to take necessary actions to each recommendation of the Report.
3. Especially, to recommendations of “Incorporation of SouthCAP approach into the government programmes” and “Preparation of CAP in neighboring GNs”, the Regional Coordination Committee decided to take necessary actions, step by step, during the project period with the necessary and possible support from SouthCAP Team.
4. The Regional Coordination Committee decided to review the progress of each action mentioned 2 and 3 above in their meetings.

69

THE JOINT MID-TERM REVIEW REPORT
ON
THE PROJECT ON RURAL LIVELIHOOD IMPROVEMENT
IN HAMBANTOTA DISTRICT
(SouthCAP)

HAMBANTOTA, 4th May 2009

JICA – SRI LANKA
JOINT MID-TERM REVIEW TEAM

CONTENTS

I	Introduction	
1-1	Objectives of the Mid-term review	5
1-2	Members of the Mid-term review Team	5
1-3	Schedule	5
2.	Outline of the Project	
2-1	Background of the Project	6
2-2	Summary of the Project	6
3.	Methodology of the review	
3-1	Review Questions, Indicators and Five Criteria	8
3-2	Joint Team for Mid-term Review	9
3-3	Data Collection Method and Analysis	9
3-4	Constraints of the Method	9
4.	Project Performance and Implementation Process	
4-1	Input	10
4-2	Activities	11
4-3	Output	13
4-4	Project purpose	17
4-5	Overall Goal	18
4-6	Implementation process	18
5.	Results of the Five evaluation criteria	
5-1	Relevance	19
5-2	Effectiveness	20
5-3	Efficiency	20
5-4	Impact	21
5-5	Sustainability	21
6.	Conclusion	22
7.	Recommendations & Lessons Learned	22

ANNEX

ANNEX-1	Schedule of the Joint Review
ANNEX-2	List of the Persons Consulted
ANNEX-3	PDM
ANNEX-4	Project Management Structure
ANNEX-5	Evaluation Grid and results
ANNEX-6	Questionnaire
ANNEX-7	Record of Input
	(1) Experts
	(2) Assignment of Counterpart
	(3) Training
	(4) Equipment donated by JICA
	(5) Local Cost Implementation
ANNEX-8	Record of Project Performance
	(1) Accomplishment Grid
	(2) Plan of Operation (planned and actual)

ABBREVIATIONS

AI	Agriculture Instructor
APM	Assistant Project Manager
ARPA	Agriculture Research and Production Assistant
ASC	Agrarian Service Center
CAP	Community Action Plan
CBO	Community Based Organization
CCS	Community Contract System
DDA	Deputy Director's Office of Agriculture
DO	Development Officer
DS	Divisional Secretary
FO	Farmers' Organization
GA	Government Agent
GN	Grama Niladari (Village as an administrative unit)
HDCC	Hambantota District Chamber of Commerce
HPPC	Hambantota Product Promotion Committee
ICTAD	Institute for Construction Training and Development
JCC	Joint Coordination Committee
JOCV	Japan Overseas Cooperation Volunteer
LDI	Livestock Development Instructor
MoLGPC	Ministry of Local Government and Provincial Councils
NWSDB	National Water Supply and Drainage Board
O&M	Operation and Maintenance
OVOP	One Village One Product
PIC	Project Implementation Committee
PID	Provincial Irrigation Department
PS	Pradeshya Sabha/ Local Council
RCC	Regional Coordination Committee
R/D	Record of Discussion
RDS	Rural Development Society
REAP	Rural Economic Advancement Project
SDO	Samurdhi Development Officer
VCC	Village Coordination Committee

1. Introduction

1-1 Objectives of the Review

The Mid-term Review was performed with the following objectives:

- (1) To review the progress and achievement of the Project referring to the Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operation (PO).
- (2) To evaluate the Project from the five Evaluation Criteria (Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability).
- (3) To make recommendations and draw lessons learned for the improvement of the Project (SouthCAP) or other projects.

1-2 Members of the Review Team

(1) The Japanese Review Team

- (a) Ms. NISHINO Yasuko (Leader)
Senior Representative, JICA Sri Lanka Office
- (b) Mr. AKAMATSU Shiro (Participatory Development)
Senior Advisor (Rural Development), JICA
- (c) Mr. YUASA Keiichiro (Project Management)
Representative, JICA Sri Lanka Office
- (f) Mr. IIDA Harumi (Evaluation and Analysis)
Researcher, Social Development Department, Global Link Management

(2) The Sri Lankan Review Team

- (a) Mr. H.W. Wijyaratne
Project Director - Special Projects, Southern Provincial Council
- (b) Dr. M.H.S. Dayaratne
Economic Development Specialist, Hambantota District Chamber of Commerce and Industries
- (c) Ms. I.V.N. Preethika Kumudunie
Deputy Chief Secretary (Planning), Southern Provincial Council

1-3 Schedule

The schedule of the Mid-term Review is attached as ANNEX-1.

2. Outline of the Project

2-1 Background of the Project

Hambantota District is the largest district in the Southern Province, with the area of 2,609 km². It is divided into 12 DS divisions, and these are divided further into 576 Grama Niladhari (GN) Divisions. Population is about 420,000 and it is the smallest in the Province, in composition of Sinhala (97.1%), Sri Lankan Tamil (0.4%), Muslim (1.0%) and others (1.4%). In terms of religions, majority are Buddhists (96.9%) and there are some Hindus (0.3%) and Muslims (2.5%) and Catholic Christians (0.2%).

Major sources of income are agriculture production, including paddy rice production and field crops, animal husbandry and fishery. However, agriculture production is not satisfactory contributing to local economy, due to multiple factors; small amount of rain fall, low productivity, lack of infrastructure, instability of market prices, unfair profit making activities of mediators, and so forth.

It is generally understood that there have been a number of development interventions both by national and international development actors in Southern Province. However, the results of these interventions are considered not as good as they were expected. The thought-less development plans and no-sensitivity to sustainability, and lack of coordination among development efforts are identified as common problems, contributing to unsatisfactory effects from these development interventions.

SouthCAP Project is designed to contribute to livelihood improvement of the area, by strengthening the existing systems on supporting community development efforts.

2-2 Summary of the Project

Project Title

The Project on Rural Livelihood Improvement in Hambantota District (SouthCAP)

Executing Agency

Ministry of Local Government and Provincial Councils

Implementing Agencies

- 1) Southern Provincial Council (SPC)
- 2) Hambantota District Secretariat's Office
- 3) Divisional Secretariat's Office
- 4) Relevant Departments and Institutions

Project Duration

4 years from March 2007

Project Area

9 GN Divisions in Hambantota, Sooriyawewa, and Lunugamwehera DS Divisions

Target Group

- 1) The front-line government officials/ institutions, to be directly trained, supported, supervised by the project
- 2) The target community, to be directly/ indirectly benefited from CAP formulation and implementation

Overall goal

Income and livelihood of the people in areas within Hambantota and Southern Province will be improved by introducing the Community Approach Programme for participatory rural development, which is acknowledged by stakeholders through this Project.

Project purpose

The existing system and structure for the participatory rural development will be functioning through effective use of institutions and practices (e.g. Community Action Planning and Community Contract System), aiming at improving income and livelihood of the people in the Project area.

Outputs

- 1) Community Action Plans (CAPs) prepared in selected villages, then individual projects will be identified.
- 2) Divisional Coordination Committee will be carried out the implementation of CAPs.
- 3) Villager's (CBO's) skills for construction / maintenance works of rural infrastructure are developed through implementation of identified project(s).
- 4) Villager's (CBO's) capacity to implement and manage productive and reproductive activities is enhanced.

Activities

- 1-1) Villagers and field level officials of related governmental organizations will learn the approach and skills that is essential for preparing CAP.
- 1-2) Villagers' meeting will be held, with assistance of field level officials in selected GN Villages, then CAP will be formulated in each village.
- 1-3) Individual activities will be identified based on CAPs.

- 2-1) Functions of the Divisional Coordination Committees will be confirmed and recognized by development stakeholders
- 2-2) Villagers become aware of existence and functions of coordination committees.
- 2-3) Coordination Committee meetings will be held.
- 2-4) Outline of CAP will be explained at coordination committees and individual projects to be assisted under this cooperation will be identified.
- 2-5) Government officials will indicate candidate projects for governmental assistance.

- 3-1) CBOs will receive the training in construction and management of infrastructure works.
- 3-2) CBOs will implement infrastructure works.
- 3-3) Villagers will receive training(s) in Operation and Maintenance of infrastructure.

- 4-1) Project will hold workshop(s) for the beneficiaries to be educated on better reproductive practices, in cooperation with NGO(s) if necessary.
- 4-2) Project will give technical guidance to the beneficiaries on productive and reproductive activities.

3. Methodology of the Review

3-1 Review Questions, Indicators and Five Criteria

3-1-1 Review Questions

Review questions of the Mid-term review were set as follows.

- (1) How is the Project processing the implementation (achievement of Activities and Inputs)? What have been inhibiting factors and what is the degree of influence from them? How has the Project been mitigating or lowering those inhibiting factors?
- (2) What are the effects and/or impacts of the Project activities? How much beneficiaries and the related stakeholders perceive the effects and/or impacts of the Project activities?
- (3) What should be done in order to achieve the Project purpose in the rest of project implementation period and finally reach to Overall goal?

3-1-2 Indicators to measure Achievement of Outputs and Project Purpose

Indicators in the Project Design Matrix (PDM) are used to measure achievement of Outputs and Project purpose. (see ANNEX-3 PDM)

3-1-3 Five Criteria

Mid-term review method is accordance with JICA's project evaluation method which is consisted of measuring the achievement of Outputs, Project purpose, and measuring the Project from the view

point of Five evaluation criteria such as Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability. The review items, questions, necessary information and data sources were summarized in the evaluation grid. The evaluation grid for the Mid-term review with the review results is attached as ANNEX-5 and ANNEX-6.

3-2 Joint Team for Mid-term Review

The review survey was done by cooperated manner between Japanese team and Sri Lankan team. Member of both teams are listed in "1-2 Members of the Review Team" of "1.Introduction". The review team started the activities from April 19th, 2009 and carried out three-day field survey from 22nd to 24th April, 2009. The survey data were analysed and a report was jointly discussed from April 29th to May 3rd, 2009.

3-3 Data Collection Method and Analysis

For collection of data, four methods were used such as 1)Review of documents and materials, 2)Interview to stakeholders, 3)Questionnaire survey, and 4) Group discussion and site observation in the fields.

(1) Questionnaire survey and Interview to stakeholders

The necessary information was collected by interview survey along with the questionnaire which applied to relevant local government officials, and other stakeholders prior to the interview.

(2) Group interview survey

The performance and impact of the Project was measured by group interview of community people. Observation and confirmation of the Project activities and some of outputs were done in the field survey.

3-4 Constrains of the Method

This mid-term review is mainly designed, within limited time and budget for the review study, for the purpose to review the progress and have discussions with stakeholders for the necessary measures to be taken in the later half of the project period, so the detail survey and analysis such as cost-benefit analysis or the in-depth comparison to other projects are not included.

4. Project Performance and Implementation Process

4-1 Input

4-1-1 Inputs from the Japanese side

Inputs from the Japanese side are as follows: (see a list of (1) Expert in Annex 7 "Record of Inputs")

1) Experts and National staff

- a) Experts: 7 (seven) persons in six fields (Totally 70 MM)
- b) National staff: 24 (twenty-four) in five division

2) Counterpart training in Japan

- a) 3(three) persons on "The Counterpart Training on Rural Development through Community Approach"
- b) 4(four) persons on "OVOP International Seminar in China"
- c) 4(four) persons on "Counterpart Technical Exchange in Indonesia"

3) Provision of Equipment

The equipment for operation of the Project such as computers and its related equipment, vehicles provided by JICA is equivalent to 8,430,000 SLK. (see a list of (4) Equipment provided by JICA in Annex 7 "Record of Inputs")

4) Local Cost

Local cost expenditure for implementing activity of the Project such as conducting training in target area, implementation of construction work, and other administration works was 21,917,000 LKR for JFY 2007, and 29,265,000 LKR for JFY 2008 (up to December). Totally 59,612,000 LKR was spent. (see Table: Local cost implementation of Japanese side)

Table: Local Cost Implementation of Japanese side (Unit; LKR1,000)

	FY2007	FY2008 (up to Dec 08)	Total Amount
Local Cost Implementation	21,917	29,265	51,181
Procurement of Equipment	8,430	0	8,430
Total	30,347	29,265	59,612

4-1-2 Inputs from Sri Lankan side

Inputs from Sri Lankan side are as follows:

1) Counterpart Personnel necessary for the Project

During the implementation of the Project, appropriate persons have been assigned as counterparts from the Southern Provincial Council. Total number of counterparts is 11 staffs. (see list of (2) Assignment of Counterpart in Annex 7 "Record of Inputs")

2) Necessary budget for the operation of the Project

Total amount of local expenditure for implementing the activities by Sri Lankan side was 21,696,000 SKR by December 2008. (See Table: Local expenditure of Sri Lankan side)

Table: Local Cost Implementation of Sri Lankan side (Unit; LKR1000)

Budget Item	FY2007	FY2008 (up to Dec 08)	Total Amount
Salary for Project manager	255	—	255
Allowance of APM	63	108	171
VAT for JICA Vehicle (4 cars)	21,246		21,246
Fuel cost for Donated motorbike	—	24	24
Total	21,501	132	21,696

3) Land, Facilities and Equipment

One House has been offered for the Project Office from Hambantota District Secretary.

4-2 Activities

4-2-1 Activities for Output1

In the initial stage of the Project, the workshops for introduction of the CAP approach were organized in all target villages (GNs). And the CAP seminar was conducted for dissemination of the Project to local government officials. In addition, several trainings such as for accounting and facilitators were conducted.

Baseline survey, market survey and land holding survey were conducted to collect initial condition of those target areas.

Two days workshops for formulation of the CAP were organized in each village (GN)

from October 2007 to January 2008. Total participants were 625. In the workshops, several issues among the each community were discussed and analyzed by themselves. According to the result of discussion in workshops, all nine villages (GNs) formulated their own CAPs.

Village Coordination Committee (VCC) was established in each village (GN) to coordinate implementation of activities in the CAP. The monthly VCC meeting has been organized in each village since its establishment in November 2007.

4-2-2 Activities for Output2

Project Implement Committee (PIC) was organized in each Division in April 2007. In the PIC meeting, the progress of the project activity, approval of community scheme from the CAP and other issues among the community were discussed.

However, low number of attendants and low degree of attention paid by officers at divisional level negatively affect the PIC meetings.

4-2-3 Activities for Output3

Necessity of number of small scale construction scheme in the CAP was discussed, one scheme was selected according to the priority of the community in each village (GN). Feasibility studies were conducted for those selected scheme by the community, if necessary.

The Ratification meeting was organized after such detailed plan and contract document were prepared. Also, Community Contract System (CCS) which includes community contribution for construction work was explained to community members.

In year 2008, those small scale constructions were implemented except Ihalakumbukwewa GN, where VCC could not reach to agreement. Other than that, all construction finished by the end of March 2009. List of small scale construction scheme in each village (GN) are shown in Table below.

Table: Implemented small scale construction scheme in each village

Division	GN	Scheme
Hambantota	Koholankala	Extension of Drinking Water Supply,
	Keliyapura	Restoration of Kapuwatta Tank,
	Ketanwewa	Improvement of Karamatiya Road
Sooriyawewa	Ihalakumbukwewa	No construction was implemented.
	Weeriyagama	Improvement of Gamunu Mawatha,
	Weliwewa	Improvement of Karamatiya Road,

Lunuganwehera	Bogahawewa	Ilukpalassa Main Canal Rehabilitation
	Padawgama	Construction of Toilet
	Punchiappu Jandura	Improvement of Weerawilara Anicut

In order to manage construction work and maintenance of facilities, construction training, CCS management training, O&M training were conducted for community members. As the result of those trainings, Operation & Maintenance Committee was established in each village (GN).

4-2-4 Activities for Output4

To enhance the capacity of community members to manage their production, the Project supported and trained them especially in agriculture and income generation sectors. Those activities which implemented in each village (GN) are such as followings:

a) Agriculture

- Organic and green manures
- Home gardening, bee-keeping
- Integrated Pest Management.
- Production of Passion fruit, Guava, Pongronate, Spine gourd, Rruhunu, Chillie and Polon been
- Seed production of paddy
- Animal vaccination

b) Income Generation

- Conducting Micro finance workshop
- Exhibit the product to agricultural fairs
- Producers meet Market Workshop
- Brick makers society formulation

Hambantota Product Promotion Committee (HPPC) was established in November 2007 by the support of the Project. HPPC which chaired by District Secretary consist of representatives from 25 organization, including Local government, Private sector, Banks, and NGOs.

4-3 Outputs

4-3-1 Output1

Community Action Plans (CAPs) will be prepared in selected villages, then individual projects will be identified.

Result of preparation phase for formulation of CAP in each village (GN), certain number of villages

and government officers were trained. Then, all nine villages (GNs) formulated their own CAPs. According to the priority of each community which articulated in CAP, individual projects have been implemented.

Indicator 1: More than 2160 villagers (60persons×9GNs×4yr) and 204 field level officials (17officials×3DSs×4yr) trained for preparation of CAP in target villages.

During the preparation phase of the CAP in each village (GN), total number of participants for training program was 688 from the community and 154 from government officers, respectively.

Indicator 2: All targeted villages prepare CAPs

All targeted villages (nine GNs) prepared CAPs, during the two days workshops for formulation of the CAP held in October 2007 to January 2008.

Indicator 3: 80 % of identified individual projects estimated as useful by beneficiaries.

According to the result of CAP review workshops, most of small scale infrastructures which constructed from the CAP were recognized as usefulness by villagers.

4-3-2 Output2

Divisional Coordination Committees will be functioning for implementation of CAPs.

Project Implementation Committees (PIC) have been organized in each Division. In the PIC meeting, the progress of the project activity, approval of community scheme from the CAP and other issues among the community were discussed. However, the attendance of stakeholders to PICs has not been kept well.

Indicator1: Each target DS division holds PIC meeting more than 9 times annually.

Since the establishing of the PICs at August 2007, PIC meeting was organized more than 6 times annually. Totally, number of organized meetings is 12 time in Hambantota DS, 9 times in Sooriyawewa DS and 12 times in Lunugamwehera DS.

Indicator2: All PIC meetings are held with more than 50% participation of invited development stakeholders.

The proper data is not available, however, according to the interview of the Project staffs, low number of attendants and low degree of attention paid by officers at divisional level.

Indicator3: Divisional Secretaries, DS Officers, P/S chair person and officers recognise

the importance of coordination body at divisional level.

According to summarizing the result of interviews in the review, they may recognize such importance to coordinate development plan at divisional level.

4-3-3 Output3

Villager's (CBO's) skills for construction / maintenance works of rural infrastructure are developed through implementation of identified project(s).

Small scale constructions were implemented except Ihalakumbukwewa GN, where VCC could not reach to agreement. All construction works finished by the end of March 2009. Operation & Maintenance Committee was established in each village (GN), after such training for construction, CCS management and O&M.

Indicator1: At least 3 trainings are held per contract, and 70 % of expected villagers participate.

Construction Training (Skill), Construction Management Training, and Operation and Management (O&M) Training were conducted for village. (O&M Training was not conducted in Weliwewa) According to the records of the Project, more than 70% were attended in Construction Training (Skill) in each village (GN) except Kaliyapura GN which recorded 65%. Also, more average rate of attendance for Construction Management Training was 78%, and for O&M Training was 90%, respectively.

Indicator2: More than 6 Community Contracted projects from CAPs are implemented in each DS Division.

Number of Community Contracted projects in Hambantota DS, Lunuganwehera DS and Sooriyawewa DS are 3, 3, 2 respectively.

Indicator3: All Project-funded community contracts are completed with safe and satisfactory quality.

All Project-funded community contracts are completed with safe and satisfactory quality by the end of March, 2009.

Indicator4: All responsible CBOs for Community Contracts complete the contracted project within contract amount.

Most of the projects were completed within the agreed contract amounts. There were few cases in which particular works have been cancelled due to villagers' request and alternative works were implemented instead of the cancelled works within the contract

Indicator5: All responsible CBOs formulate the O&M plan within their capacity.

O&M plans were formulated through O&M trainings and the plans were compiled in their O&M booklet at the completion of the work for all responsible CBOs except Weliwewa GN.

4-3-4 Output4

Villager's (CBO's) capacity to implement and manage productive and reproductive activities is enhanced.

The Project supported and trained villagers to enhance their capacity to manage their production. Several activities have been introduced for villages especially in Agriculture and Income generation. Monthly VCC meeting has been organized to discuss the matter in the village. Also, HPPC for promotion of production from target area was established, it consists of representatives from 25 organization, including Local government, Private sector, Banks, and NGOs. On the other hands, the study of Human Elephant Conflict (HEC) was conducted to avoid damage for agricultural products from the elephant.

Indicator1: CBOs in each village hold 324 workshops/trainings (3ws/trn×3CBOs×9GNs×4yr) with more than 70% participation of expected villagers.

For Income generation activities, nine (9) workshops/trainings were held with 91% of participation of expected villagers. And for Agricultural activities, totally eighty-three (83) workshops/trainings were held and one thousand six hundred and twenty three (1,623) farmers participated.

Indicator2: At least 50 % of trained villagers practice introduced better practices and/or follow technical guidance.

19 kinds of technical trainings were conducted, and more than 40 % of trained villagers practiced such introduced techniques and skills. They increased their income gradually by selling those products in the market.

Indicator3: CBOs' meetings related to development, including VCC, are held in target areas at least once a month.

The monthly VCC meeting has been organized in each village since its establishment in November 2007. Numbers of organized meeting in each village (GN) were shown in table below.

Table: Monthly VCC meeting (Nov.2007~Mar.2009)

Division	GN	Number
Hambantota	Koholankala	12
	Keliyapura	13
	Ketanwewa	12
Sooriyawewa	Ihalakumbukwewa	6
	Weeriyagama	12
	Weliwewa	10
Lunugawehera	Bogahawewa	14
	Padawgama	12
	Punchiappu Jandura	9

4-4 Project Purpose

The existing system and structure for the participatory rural development will be functioning through effective use of institutions and practices (e.g. Community Action Planning and Community Contract System), aiming at improving income and livelihood of the people in the project area.

According to the present achievement of indicators described below, the Project has certainly accumulated implementation of activities which suggested in CAPs in each village (GN). In this aspect, achieving the Project Purpose would be possible by the end of project period, except one village (GN) which has difficulty to reach agreement to implement activities of the Project.

Indicator1: More than 50% of the suggested activities in the formulated CAPs are implemented by the project or other development agencies (GOs and NGOs).

Since CAPs were formulated in each village (GN), several numbers of activities have been implemented. However, at present, the rate of such implementation of activities is different depending on the condition of villages. Following table shows the numbers of suggested and implemented activities.

Table: Number of suggested and implemented activities (Nov.2007~Mar.2009)

Division	GN	Suggested	Implemented	(%)
Hambantota	Koholankala	58	11	19
	Keliyapura	47	23	49
	Ketanwewa	59	20	34
Sooriyawewa	Ihalakumbukwewa	-	-	-
	Weeriyagama	36	29	81

	Weliwewa	52	22	42
Lunuganwehera	Bogahawewa	42	27	64
	Padawgama	43	21	49
	Punchiappu Jandura	43	14	33
Total		380	167	44

Indicator2: More than 50% of PIC and CBOs members recognise the usefulness of CAPs, as comprehensive development plans.

The proper data is not available at present. At the time of terminal evaluation, the survey regarding this recognition should be done.

Indicator3: More than 5 target GN Divisions receive external supports to implement identified individual projects

3 GN division receive external supports (from WFP, CARE, and World Vision) to implement the project activities so far. However, the recognition on CAP of these donors are partial.

Indicator4: 25% of households' income is increased in 9 target GN divisions.

The proper data is not available at present. At the time of terminal evaluation, the survey on income should be done.

4-5 Overall Goal

Income and livelihood of the people in areas within Hambantota and Southern Province will be improved by introducing the community approach programme for participatory rural development, which is acknowledged by stakeholders through the project.

The CAP approach conducted by the Project, which mainly consist of the process of formulating Community Action Plan and proper implementation of Community Contract System, show high ownership of rural infrastructures and facilities for operation and maintenance as well as active participation in the programmes of agricultural production and income generation.

It is difficult to forecast the achievement of Overall Goals of the Project at this moment, it would be dependent on the effort of Sri Lankan counterparts to extend the experience of the Project.

4-6 Implementation Process

4-6-1 Appropriateness of the implementation process

Activities of the Project have been implemented along with the plan. Inputs by the Japanese side have been brought without delay. Technical level which has been used in the Project for the

beneficially in target area as well as for counterparts has been appropriate. Degree of participation and intension of the target group were fully considered in the process of formulation CAP and implementation of their activities. Participation of related stakeholders and institutions such as Divisional Secretary office, Gramani Nadari office, Provincial and Inter provincial agricultural offices have been encouraged. Allocation of Assistant Project Managers in each Divisional Secretary office is effective to strengthen involvement of local government in the Project. Efforts for public relations are well done by issuing newsletters monthly and updating homepage regularly.

4-6-2 Project Management

Decision making and monitoring of the Project has been done in the national and provincial/ district level. At the National level, Joint Coordination Committee (JCC) has been organized, meeting of JCC was held four (4) times. At the provincial/ district level, Regional Coordination Committee (RCC) has been organized, meeting of RCC was held eight (8) times.

For coordination of the project activities at field level, Project Implementation Committees (PIC) have been organized. PIC meetings were organized more than 6 times annually. Total number of organized meeting is twelve (12) times in Hambantota DS and Lunugamwehera DS and nine (9) times in Sooriyawewa DS. Communication and relationship between the Japanese team and counterparts have been kept well in each level.

4-6-3 Other issues and problems which affect project activities

There are several issues arises from the project activities. Low number of attendants and low degree of attention paid by stakeholders affect the efficiency of the project activities at divisional levels, especially for function of PIC. And also, the position of Project Manager in counterparts has been vacant since March 2008.

On the other hand, a number of government organizations which concern rural development at field levels, as well as introduction of different approaches to community by other agencies such as NGOs caused confusion to the project activities.

5 Results of the Evaluation with Five Criteria

5-1 Relevance

The Project is highly relevant to the following points;

- 1) The aim of the Project consisted with Government development priority in Sri Lanka, which improves living standards of people living in the economically backward areas such as Southern Province. Sri Lankan government has implemented similar programs such as Gama-Neguma (Rural Enhancement Program).

- 2) The Project has introduced the approach which consists of formulation of Community Action Plan (CAP) at village (GN) level and proper implementation of Community Contract System (CCS). In the process for formulation of CAP, communities take initiative for discussing and analyzing their issues and finding out solutions. Also, proper implementation of CCS develops capacity of community to maintain public facilities in village. Therefore, such methodology has been able to meet the needs of the community as well as enhance such sense of ownership.
- 3) The Project functions as the platform which offers opportunities for participatory and coordinated development activities to the stakeholders in Hambantota District. The government organizations and communities have been strengthened their relation through the Project.

5-2 Effectiveness

The Project has already made certain results. It could be said that effectiveness of the Project is considered as moderately high at this middle point.

- 1) Formulation of CAP in each village (GN) was carefully prepared by the Project. And, all target villages (GNs) formulated CAPs by their initiatives, and Village Coordination Committees (VCCs) were established to represent those community members. This process was the first step to achieve the Project purpose.
- 2) After formulation of CAP, several activities have been implemented to respond the community needs. Especially, implementing small scale construction work by CCS and introducing agricultural varieties and technologies have made certain results. Therefore, communities in target area would be able to accumulate the experience of improvement of livelihoods by the CAP approach at the end of the Project.
- 3) Counterparts have already recognized the effectiveness of the CAP approach. However, funding sources of the counterpart agencies are not arranged. Also, low attention was paid to Project Implementation Committee (PIC) in each Division. It has been obstacle to implement the CAP approach by the counterpart agencies.

5-3 Efficiency

The project activities have been implemented along the plan, and inputs are effectively utilized to implement those activities. In this regards, the Project has been efficiently implemented to produce Outputs.

- 1) There were no such obstacles to make delay for the project activities as compared to the original plan.
- 2) Inputs by the Project have been utilized effectively to produce each Output. Especially, facilitation for formulation of the CAP, supervising construction work of infrastructures,

training and guiding for agricultural and other production were fully implemented.

- 3) Relationship between Southern Provincial Council and the Project team has been kept well, which contributed efficient management of project activities.

5-4 Impact

At this point, expecting to reach Overall Goals of the Project is not appropriate, due to limited information and condition. On the other hands, the Project activities have made some impacts on positive and negative sides.

- 1) The Project has shown right direction to achieve Project purpose at the end of the project term. However, expansion of the CAP approach to outside of target area would require further effort of Sri Lankan side such as allocation of budget and development of human resources.
- 2) Positive impact 1; Establishment of HPPC has induced active interaction among members for promotion of several product in Hambantota District. Also, it has high potential for sustainable and evolving activities by those producers.
- 3) Positive impact 2; The study of Human Elephant Conflict (HEC) was conducted by the Project. Result of the study was shared to other stakeholders at HEC seminar held at January 2009.
- 4) Negative impact; Sense of dependency exists in some part of community people, members of local authority, and government officers. Such persons sometimes hesitate to contribute to the benefits of all or fulfill their duties but seek personnel interests.

5-5 Sustainability

The sustainability of the project is considered as moderate with the observations of both positive aspects such as system, technique and intentions of key counterparts and uncertain ones such as finance, policy and organization.

- 1) Since SouthCAP was using the systems of CAP and CCS which are originally produced in Sri Lanka, there are fewer obstacles to continue SouthCAP approach after the project period. And there are intentions of Chief Secretary and District Secretary to continue and expand South CAP approach. However, currently, there is no back-up policy to mainstream this approach.
- 2) Allocations of budget as well as organizational arrangement to ensure sustainability are uncertain. On the other hand, the government of Sri Lanka puts high priority on rural development and allocates budgets on related programmes such as Gama Negema. As an institutional aspect, the function of PIC to coordinate among the stakeholder of the Project has not exercised well so far.
- 3) Technical aspect of the CAP approach in the Project will be sustained and maintain by member of local governments and communities. The Project has introduced various appropriate

techniques. And then, the government officers at divisional level enhanced their techniques through the participation in project activities.

6. Conclusion

From the results of the Measurement of Results, Examination of Implementation Process and Value Judgment based on Five Evaluation Criteria, the Joint Mid-term Review Team studied that SouthCAP project has high relevancy and has been efficiently implemented.

Also, with the appropriate project management, SouthCAP project has produced certain expected results at the project areas as well as some positive effects which are not intended in the initial plan, then the effectiveness is considered as moderately high and the occurrence of positive impacts are noted. However, the low participation of the Project Implementation Committee will be a hindrance factor to the achievement of Project Purpose and Overall Goal potentially.

The prospect of sustainability is the point to be evaluated cautiously in this mid-term review. As positive aspects for the sustainability, SouthCAP project utilizes Sri Lankan original CAP and Community Contract System and appropriate techniques, and Chief Secretary and District Secretary have intention to continue and expand SouthCAP approach. On the other hand, financial and organizational support for the sustainability is not assured.

From these observations stated above, the SouthCAP project is expected to carry on their activities as per initial plan. At the same time, to ensure the sustainability, the efforts of Sri Lankan side to allocate financial support and organizational back-up are required to commence during the latter half of project period.

7. Recommendations and Lessons Learned

<Recommendation to Sri Lanka side>

- Incorporation of SouthCAP approach into the government programmes -

Since the community based SouthCAP approach with an operational management structure at the district and divisional level provide a practical example for the rural development for better results, the incorporation of its approach into the government programmes in infrastructure and livelihoods development such as Gama-Neguma and Maga-Neguma is recommended as an appropriate action leading to sustainability. It is desirable to start those trials by the effort of local administration

during South CAP project period.

- Preparation of CAP in neighboring GNs -

It was observed through SouthCAP practice that the implementation of the development projects based on Community Action Plans (CAPs) is effective for sustainable rural development. In SouthCAP project, however, the target areas are each 3 GN divisions in Hambantota, Sooriyawewa and Lunugamwehera DS Divisions (total 9 GN divisions). That is justifiable for SouthCAP project because intensified input and careful supervision is necessary to produce successful examples steadily for the new approach. On the other hand, since the total coordination and management of development projects must be done at divisional level, it is preferable if more GNs in these DS divisions have their CAPs. So it is recommended that these DS offices start facilitation to prepare CAPs in neighboring GNs during the project period under the guidance of SouthCAP.

- Assignment of Project Manager -

The post of Project Manager has been vacant for more than 1 year. It is required that Chief Secretary of Southern Provincial Council appoints qualified person.

- Promoting proper Community Contract -

It was observed, through SouthCAP practice, that the implementation of Community Contract has many good aspects such as an enhancement of community capacity and confident, fostering the ownership on the infrastructure to ensure the self-maintenance and reducing the cost of the construction by the contribution of community. However, other than SouthCAP, "Community Contract" just in form, i.e. community signs but sub-contracts it, seems to be spreading in many places. It is recommended that each level government monitors the situation of "Community Contract" and promotes proper method of it.

<Recommendation to both Sri Lanka side and Project team>

- Core Team of PIC -

At present, Project Implementation Committee (PIC) is arranged at Division level to coordinate all the matters necessary to make all institutions participated in the activities on the ground. However, reviewing the past performance of PIC, participation of the representatives from the scheduled institutions in the regular meeting has not been reached at satisfactory level. For smooth implementation of the project, "Core Team" of PIC among selected relevant institutions is recommended to be materialized.

- Ihalakumbukwewa -

Activities in Ihalakumbukwewa are in stagnation due to the disagreement on the selection of infrastructure work. It is recommend to facilitate dialogue on rational base in order to find early solution.

<Recommendation to Project team>

- Compilation of experience -

In the Project, those community development activities have been implemented by human and financial recourses by its own. However, in case of the government programmes such as Gama-Neguma adopts the SouthCAP approach, it would be possibil to face several obstacles, due to the different condition of both programmes. Therefore, the SouthCAP Project is recommended to have analysis when issue arises, in terms of technical level of human resources, procedure for construction work, coordinating with other stakeholders and etc. Finally, the Project is expected to compile the experience of adoption of the CAP approach into the government programmes, to share with counterparts and drive the programmes by their own in future.

<Lessons Learned>

- Allocation of APM -

As an administration of SouthCAP project, Assistant Project Managers are assigned in each DS divisions. They are highly involved in the project activities and for example at the Regional Coordination Committee, they explain the progress in their divisions on behalf of SouthCAP. It seems that this design is effective to strengthen the ownership of the partner country and sustainability.

- Effect of Community Contract -

SouthCAP has been implementing proper Community Contract for the infrastructure works. It requires several steps such as construction training, construction management training, signing of contract, implementation with some community contribution, regular monitoring, operation and maintenance training. Though it takes time, the proper implementation of Community Contract seems to be useful for rural infrastructure rehabilitation or development because it helps to enhance community financial and technical capacity, ensure the maintenance by community people after completion, and reduce cost of construction.

Schedule of the Joint Mid-term Mission

	Date	Day	Time	Schedule	Remarks
1	4/19	Sun	21:40	Arr. Colombo	
2	4/20	Mon	9:00	Interview to MoPCLG	MoPCLG
			10:30	JICA Office Mtg.	JICA Office
			11:30	Interview to JICA JOCV Section	JICA Office
			13:30	Interview to MoNB	MoNB
			PM	Move to Galle	
3	4/21	Tue	8:30	Courtesy Call & Interview to SPC Chief Secretary	Chief Secretary's Office
			10:00	Launch Meeting with CS, Chief Advisor of SouthCAP, and mission members	same as above
			11:00	Move to Hambantota	
			14:00	Interview to Assistant Agrarian Service Commission & 3 DOs	ASD Office
			15:00	Interview to GA	GA Office
			16:00	Interview to SouthCAP staff	SouthCAP Office
4	4/22	Wed	8:30	Interview to Hambantota DS and APM	Hambantota DS Office
			9:00	Interview to Pradeshiya Sabaha Chairperson and TO	Hambantota PS
			9:30	Interview at Koholankala, field research	
			13:00	Interview at Keliyapura, field research	
			15:30	Interview at Ketanwewa, field research	
5	4/23	Thu	9:00	Interview to Sooriyawewa DS and APM	Sooriyawewa DS Office
			9:30	Interview to Pradeshiya Sabaha Chairperson and TO	Sooriyawewa PS
			10:00	Interview at Weeriyagama, field research	
			14:00	Interview at Weliwewa, field research	
			16:45	Interview at Ihalakumbukwewa, field research	
6	4/24	Fri	9:00	Interview to Lunuganwehera DS and APM	Lunuganwehera DS Office
			9:30	Interview to Pradeshiya Sabaha Chairperson and TO	Lunuganwehera PS
			10:00	Interview at Bogahawewa, field research	
			13:00	Interview at Padawgama, field research	
			15:45	Interview at Punciappu Jandura, field research	
7	4/25	Sat		Writing draft reports	
8	4/26	Sun		documents review	
9	4/27	Mon	10:00	Interview to CARE	CARE office
			14:00	Interview to CHA, Isuru, SEEDS and Walawa Kanta	ERD/ SouthCAP Office
10	4/28	Tue	11:30	Meeting with District Engineer and TO at PID	SouthCAP Office
			13:00	Interview to Deputy Provincial Director, 2 AI and SMO	DDA Office (Prov.)
			15:00	Interview to Deputy Director of Agriculture (Inter Provincial) & AI	DDA Office (IP)
11	4/29	Wed	8:30	Courtesy Call and interview to GA	GA Office
			9:30	Joint Review Team Internal meeting	
			11:00	Field research and interviews	
12	4/30	Thu	9:00	Internal meeting	SouthCAP Office
			12:00	Interview to SouthCAP staff	
			15:00	Interview to SPC Chief Secretary	Chief Secretary's Office
13	5/1	Fri		Writing draft reports	May Day
14	5/2	Sat		Writing draft reports	
15	5/3	Sun		Writing draft reports	
16	5/4	Mon	9:00	Internal meeting (report drafting to be completed)	SouthCAP Office
			13:30	RCC	GA Office
			PM	Move to Colombo	
17	5/5	Tue	AM	Reservation for meeting	MoPCLG
			14:30	JCC	MoPCLG
18	5/6	Wed	AM	Preparation for mission report (in Japanese)	JICA Office
			14:00	Report to EoJ (in Japanese)	EoJ
			PM	Report to JICA Chief Rep. (in Japanese)	JICA Office
19	5/7	Thu	1:20	Dep. Colombo (TG308)	

List of the Persons Consulted

1. Central Government of Sri Lanka

- Ministry of Local Government and Provincial Council
Mr. H.P. Cashian Herath, Secretary
Mr. Eric Illyapparachchi, Additional Secretary
- Ministry of Nation Building
Mr. B. H. (Buddhi) Passaperyma, Director-General
- Assistant Agrarian Service Commotion
Mr. Sawath Hewarathna, Divisional Officer – Weeriwela
Mrs. Ramani Alegenanardan, Divisional Officer – Bandogiriya
Mr. E.P.Sugathpala, Divisional Officer - Meegahojandena
- Deputy Director of Agriculture Inter Provincial Office
Mr. Hiran Peiries, Deputy Director
Mr. Susantha Gamini, Agricultural Instructor Mattala

2. Southern Province

- Southern Provincial Council
Mr. A. Samarasinghe, Chief Secretary
- Provincial Department of Irrigation, Hambantota District Office
Mr. Upul Chandana, District Irrigation Engineer
Mr. M. Wijamuni Aracbenic, Technical Officer
- Deputy Director of Agricultural Office
Mr. C. Nanayakkewa, Deputy Director
Mr. Zaneer, Subject Matter Officer

3. Hambantota District

- Hambantota District Office
Mr. R.M.D.B. Meegasmulla, District Secretary
Mr. Piyasena Wetthasinghe, Assistant Director, Small Enterprises Development Division
- Hambantota Production Promotion Committee
Mr. P. Weththazeinghe, Secretary

4. Hambantota Division

(1) Division Office

Mr. Ganesha Amarasinghe, Divisional Secretary

- Mr. L.A. Jayaratne, Assistant Project Manager
- (2) Koholankala GN
- Village Coordination Committee
Mr. Sugunasena, Chairman
Mr. Ariyaratna Muthukumarana, Secretary
Mr. Upahanda Muthukumarana, Member
- (3) Keliyapura GN
- Village Coordination Committee
Mr. Jayanath Indika, Vice Chairman
Mr. Asoka Manel, Secretary
Mr. Puw Runukas P.G.W., Member
- (4) Ketanwewa GN
- Village Coordination Committee
Mr. G.A.Eddin, Chairman
Mr. Malani Wannigama, Secretary
Mr. W.D. Piyasena, Member
Mr. R.A. Chaminda, Member
5. Sooriyawewa Division
- (1) Divisional Secretariat
- Mr. N.K.R. Pathirana, Divisional Secretariat
Mr. Srimantha Piyawardana, Assistant Project Manager
- (2) Pradeshiya Sabaha Office
- Mr. Nandasiri Ranatuuga, Chairman
Mr. Sugath Gamimi, Vice Chairman
Mr. Somasiri, Secretary
- (3) Weeriyagama GN
- Grama Niladhari Office
Mr. J. G. Dharmasena, GN
Mr. P. Luxman, Agriculture Research and Production Assistant
 - Village Coordination Committee
Mr. A.K. Sumanadasa, Chairman
Mr. P.K. Chandra, Member
Mr. Paudi Hiara Yaua, Member
Mr. A.N. Premawathi, Member
Mrs. Nishanthi Manamperi, Member
Mr. A.M. Premarathna, Member
- (4) Weliwewa GN

- Grama Niladhari Office
Mr. H.G.S. Premaka, GN
 - Village Coordination Committee
Mr. Mahinda Sepalika, Secretary
Mrs, Kusuma Ekanayake, Memberr
- (5) Ihalakumbukwewa GN
- Village Coordination Committee
Mr. G.H.J. Munasinha, Head of Farmers Association, Member

6. Lunuganwehera Division

(1) Divisional Secretary Office

- Mr. R.M.B. Jayathilaka, Assistant Divisional Secretary
- Mr. P. Wanigasekara, Assistant Project Manager

(2) Pradeshiya Sabaha Office

- Mr. Wijitha Ubewardhana, Chairman
- Mr. Wasantha Jayawandhana, Technical Officer

(3) Bogahawewa GN

- Grama Niladhari Office
Mr. Wannigama, GN
Mrs. Seedeve, Samurdhi Officer
- Village Coordination Committee
Mr. W.S. Pranandu, Chairman
Mr. H.W.K. Thilakasiri, Member
Mrs. Maduka Manori, Member
Mrs. M.K. Gunawathi, Member
Mrs. W.H. Wayalat, Member
Mrs. W. Agantha, Member

(4) Padwgana GN

- Grama Niladhari Office
Mr. E.K. Siril, GN
Mr. W.K.Dharmasekara, Agriculture Research and Production Assistant
Mr. Waruna K.P., Samurdhi office
- Village Coordination Committee
Mr. T.M. Jayathilaka, Voice Chairman
Mr. P.M. Ariyaratna, Secretary
Mrs. Lalitha Rajapaksha, Member
Mr. G.S. Ariyapala, Member
Mr. K.D. Nihal Kumara, Member

Mr. K.L. Nandasena, Member

Mr. W.A. Siripala, Member

- Famers Organizations

Mr. Sagara K.M. Sirisena

Mr. Premadasa W.L.A.

(5) Punchiappu Jandura GN

- Grama Niladhari Office

Mr. E.K. Siril, GN

Mrs.S.G. Chandralatha, Agriculture Research and Production Assistant

- Village Coordination Committee

Mr. A. Ghanarathna, Chairman

Mrs. K.A. Kusumawathi, Secretary

Mr. W.K. Wimalasena, Member

Mr. H.R.A. Pradeepa, Member

Mrs. D.H. Chandrani, Member

Mr. P.G. Gunathilaka, Member

Mr. W.G. Ariyaratna, Member

Mr. Y.A. Chaminda Pushpakumara

7. Assistant Agrarian Service Committion

Mr. Sarath Hewarathna, District Officer of Weeriwela

Mrs. Ramani Agbeguanwandan, District Officer of Bandaginya

Mr. E.P. Sugathapala, District Officer of Meegahejionderra

9. Other Organization

(1) Hambantota Product Promotion Committee (HPPC)

Mr. P. Welhhazeinghe, Secretary

(2) Care International

Mr. Dissanayaka M. Ilangarathna, Area officer

(3) Poverty Alleviation Microfinance Project

Mr. A. Jayawardana, District Coordinator-Hambantota

(4) Consortium of Humanitarian Agencies Ltd. (CHA)

Mr. Chameera Ekanayake, District Officer

(5) Sarvodaya Economic Enterprise Development Services Ltd. (SEEDS)

Mr. S.A. Siripala, Senior Enterprise Promotion Officer

Duration: 4 years
Target Area : 9 GNs in Hambantota DistrictProject Name : Rural Livelihood Improvement Project in Hambantota District (SouthCAP)
Target Group : Villagers (Local CBO members) and field level officers of various governmental organizations

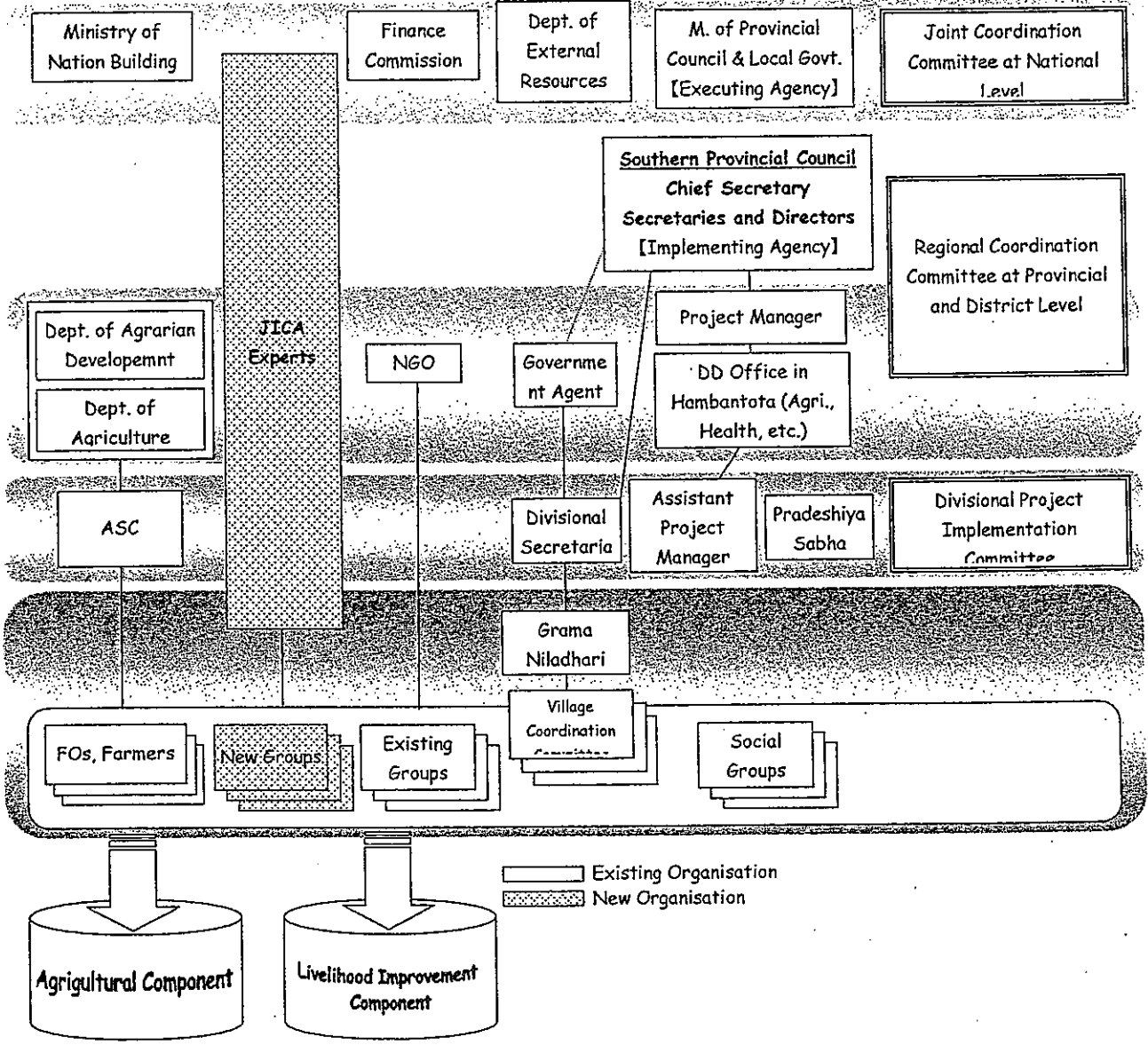
Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verifications	Important Assumptions
<p>Overall Goal Income and livelihood of the people in areas within Hambantota and Southern Province will be improved by introducing the community approach programme for participatory rural development, which is acknowledged by stakeholders through the project.</p>	<p>Proportion of households whose income increased in GN divisions formulated CAPs in Hambantota district. Number of GN Division who formulate CAP in Hambantota district. Proportion of CCS projects formulated and implemented from formulated CAPs.</p>	<p>Interviews and questionnaire surveys Statistical census Report of Divisional Secretary Report of Pradeshiya Sabha</p>	
<p>Project Purpose The existing system and structure for the participatory rural development will be functioning through effective use of institutions and practices (e.g. Community Action Planning and Community Contract System), aiming at improving income and livelihood of the people in the project area.</p>	<p>More than 30% of the suggested activities in the formulated CAPs are implemented by the project or other development agencies (GOs and NGOs) More than 30% of PIC and CBOs members recognise the usefulness of CAPs, as comprehensive development plans. More than 5 target GN Divisions receive external supports to implement identified individual projects. 25% of households income is increased in 9 target GN divisions.</p>	<p>Project evaluation study conducted by third party Project's progress report compiled by the project team Report of Divisional Secretary Report of Pradeshiya Sabha</p>	<p>Drastic reform of governmental organizations relating the rural development activity will not take place.</p>
<p>Outputs (1) Community Action Plans (CAPs) will be prepared in selected villages, then individual projects will be identified.</p>	<p>(1)-1 More than 2160 villagers (60persons*9GNs*4yr) and 204 field level officials (17officials*3DSs*4yr) trained for preparation of CAP in target villages. (1)-2 All targeted villages prepare CAPs.</p>	<p>Project progress report compiled by the project team CAP developed by beneficiaries Interview survey to beneficiaries Project progress report compiled by the project team</p>	
<p>(2) Divisional Coordination Committees will be functioning for implementation of CAPs.</p>	<p>(1)-3 80 % of identified individual projects estimated as useful by beneficiaries. (2)-1 Each target DS division holds PIC meeting more than 9 times annually. (2)-2 All PIC meetings are held with more than 50% participation of invited development stakeholders. (2)-3 Divisional Secretaries, DS Officers, P/S chair person and officers recognise the importance of coordination body at divisional level. (3)-1 At least 3 trainings are held per contract, and 70 % of expected villagers participate.</p>	<p>Meeting minutes and attendance records of PIC Interview survey to Divisional Secretaries and DS Officers Project progress report compiled by the project team Meeting minutes and attendance records of the Coordination Committees (PIC, VCC)</p>	<p>Peace environment does not become worsen in Southern area.</p>
<p>(3) Villager's (CBO's) skills for construction / maintenance works of rural infrastructure are developed through implementation of identified project(s).</p>	<p>(3)-2 More than 6 Community Contracted projects from CAPs are implemented in each DS Division. (3)-3 All Project-funded community contracts are completed with safe and satisfactory quality.</p>	<p>Activity record and accounting record of CBOs Activity record and accounting record of CBOs Inspection Report Completion Report Technical Report Activity record and accounting record of CBOs O&M plan</p>	
<p>(4) Villager's (CBO's) capacity to implement and manage productive and reproductive* activities is enhanced.</p>	<p>(3)-4 All responsible CBOs for Community Contracts complete the contracted project within contract amount. (3)-5 All responsible CBOs formulate the O&M plan within their capacity. (4)-1 CBOs in each village hold 324 workshops/trainings (2ws/1m*3CBOs*9GNs*4yr) with more than 70% participation of expected (4)-2 At least 50 % of trained villagers practice introduced better practices and/or follow technical guidance. (4)-3 CBOs' meetings related to development, including VCC, are held in target areas at least once a month.</p>	<p>Attendance records of the meetings/workshops Project progress report compiled by the project team Project monitoring and evaluation study Interview Survey to beneficiaries Project progress report compiled by the project team Attendance records of the meetings/workshops Meeting minutes and attendance records of VCC</p>	

<p>Activities</p> <p>1-1. Villagers and field level officials of related governmental organizations will learn the approach and skills that is essential for preparing CAP.</p> <p>1-2. Villagers' meeting will be held, with assistance of field level officials in selected GN Villages, then CAP will be formulated in each village.</p> <p>1-3. Individual activities will be identified based on CAP.</p> <p>2-1. Functions of the Divisional Coordination Committees will be confirmed and recognized by</p> <p>2-2. Villagers become aware of existence and functions of coordination committees.</p> <p>2-3. Coordination Committee meetings will be held.</p> <p>2-4. Outline of CAP will be explained at coordination committees and individual projects to be assisted under this cooperation will be identified.</p> <p>2-5. Government officials will indicate candidate projects for governmental assistance.</p> <p>3-1. CBOs will receive the training in construction and management of infrastructure works.</p> <p>3-2. CBOs will implement infrastructure works.</p> <p>3-3 Villagers will receive training(s) in Operation and Maintenance of infrastructure.</p> <p>4-1. Project will hold workshop(s) for the beneficiaries to be educated on better reproductive practices, in cooperation with NGO(s) if necessary.</p> <p>4-2. Project will give technical guidance to the beneficiaries on productive and reproductive activities.</p>	<p>Inputs</p> <p><Japanese Side></p> <p>1) Experts (F: Foreign, N: National)</p> <p>- Chief advisor (F)</p> <p>- Other Experts (Rural Development, Agriculture and Agricultural Production Infrastructures, etc.) (F)</p> <p>- Coordinator (F)</p> <p>- Deputy Chief Advisor (N)</p> <p>- Rural Society and Institutional Development (N)</p> <p>- Communal and Agricultural Infrastructure Development (N)</p> <p>- Agricultural Development (N)</p> <p>2) Local assistants for the Project's technical works</p> <p>3) Cost for equipments and small infrastructure development/rehabilitation to be implemented under the Project</p> <p>4) Training for beneficiaries and Sri Lankan Personnel</p> <p>5) Cost for project office management (personnel, equipments, and consumables)</p> <p><Sri Lankan Side></p> <p>1) Counterparts and other supporting staff</p> <p>2) Land, buildings and facilities for project office</p> <p>3) Sharing of expenses in project implementation, operation and maintenance</p> <p>4) Tax exemption measures, etc.</p>	<p>- Taxes are not imposed severer than the present situation</p> <p>Pre-conditions</p> <p>- The ceasefire is continued.</p> <p>- Relevant organizations agree with the implementation of the Project</p>
--	--	---

※reproductive : related to life environment

CAP : Community Action Plan CBO: Community Based Organization

Project Management Structure



Result of Evaluation Grid for Rural Livelihood Improvement Project in Hambantota District (South CAP)

A. Actual Project Achievement and Project Implementation Process

EVALUATION CRITERIA	Evaluation Questions		Information/Indicators	Result
	Questions	Sub-questions		
1. Project Achievement	1-1 Achievement of Overall Goal (expected) Income and livelihood of the people in areas within Hambantota and Southern Province will be improved by introducing the community approach programme for participatory rural development, which is acknowledged by stakeholders through the project.	1-1-1 Will the Proportion of households whose income be increased in GN divisions formulated CAPs in Hambantota district? 1-1-2 What is expected number of GN Division who formulate CAP in Hambantota district? 1-1-3 How is the proportion of CCS projects formulated and implemented from formulated CAPs?	Proportion of households whose income be increased in GN divisions formulated CAPs in Hambantota district. Number of GN Division who formulate CAP in Hambantota district Proportion of CCS projects formulated and implemented from formulated CAPs	The CAP approach conducted by the Project, which mainly consist of the process of formulating Community Action Plan and proper implementation of Community Contract System, show high ownership of rural infrastructures and facilities for operation and maintenance as well as active participation in the programmes of agricultural production and income generation. It is difficult to forecast the achievement of Overall Goals of the Project at this moment, it would be dependent on the effort of Sri Lankan counterparts to extend the experience of the Project.
	1-2 Achievement of Project Purpose (expected) "The existing system and structure for the participatory rural development will be functioning through effective use of institutions and practices, aiming at improving income and livelihood of the people in the project area."	1-2-1 Will more than 50% of the suggested activities in the formulated CAPs be implemented by the project or other development agencies (GOs and NGOs)? 1-2-2 Will more than 50% of PIC and CBOs members recognize the usefulness of CAPs, as comprehensive development plans? 1-2-3 Will more than 3 target GN divisions receive external supports to implement identified individual projects? 1-2-4 Will 25% of households income be increased in 9 target GN divisions?	Implementation of suggested activities in the formulated CAPs by the project or other development agencies (GOs and NGOs) Recognition of PIC and CBOs members for usefulness of CAPs, as comprehensive development plans Receiving such external supports to target GN divisions to implement identified individual projects Number of households income in 9 target GN divisions	Since CAPs were formulated in each village (GN), several numbers of activities have been implemented. However, at present, the rate of such implementation of activities is different, depending on the condition of villages. The proper data is not available at present. At the time of terminal evaluation, the survey regarding this recognition should be done. 3 GN division receive external supports from WFP, CARE, and World Vision) to implement the project activities so far. However, the recognition on CAP of these donors is partial. The proper data is not available at present. At the time of terminal evaluation, the survey on income should be done.
	1-3 Achievement of Outputs	1-3-1 Has Output 1: "Community Action Plans (CAPs) will be prepared in selected villages, then individual projects will be identified." been produced? 1-3-2 Has Output 2: "Divisional Coordination Committees will be functioning for implementation of CAPs." been produced? 1-3-3 Has Output 3: "Villagers' (CBOs) skills for construction / maintenance works of rural infrastructure are developed through implementation of identified project(s)." been produced?	1) More than 2160 villagers (60persons*9GNs*4yr) and 204 field level officials (17officials*3DSs*4yr) trained for preparation of CAP in target villages. 2) All targeted villages prepare CAPs. 3) 80 % of identified individual projects estimated as useful by beneficiaries. 1) Each target DS division holds PIC meeting more than 9 times annually. 2) All PIC meetings are held with more than 50% participation of invited development stakeholders. 3) Divisional Secretaries, DS Officers, P/S chair person and officers recognize the importance of coordination body at divisional level. 1) At least 3 trainings are held per contract, and 70 % of expected villagers participate. 2) More than 6 Community Contracted projects from CAPs are implemented in each DS Division. 3) All Project-funded community contracts are completed with safe and satisfactory quality. 4) All responsible CBOs for Community Contracts complete the contracted project within contract amount. 5) All responsible CBOs formulate the O&M plan within their capacity.	1) During the preparation phase of the CAP in each village (GN), total number of participants for training program was 686 from the community and 154 from government officers, respectively. 2) All targeted villages (nine GNs) prepared CAPs, during the two days workshops for formulation of the CAP held in October 2007 to January 2008. 3) According to the result of CAP review workshops, most of small scale infrastructures which constructed from the CAP were recognized as usefulness by villagers. 1) Since the establishing of the PICs at August 2007, PIC meeting was organized more than 9 times annually. Totally, number of organized the meeting is 12 times in Hambantota DS, 9 times in Sooriyawewa DS and 12 times in Lununawwera DS. 2) The proper data is not available, however, according to the interview of the Project staffs, low number of attendants and low degree of attention paid by officers at divisional level. 3) According to summarizing the result of interviews in the review, they may recognize such importance to coordinate development plan at divisional level. 1) Construction Training (Skill), Construction Management Training, and Operation and Management (O&M) Training were conducted for village. (O&M Training was not conducted in Weliswewa) According to the records of the Project, more than 70% were attended in Construction Training (Skill) in each village (GN) except Keliyapura GN which recorded 65%. Also, more average rate of attendance for Construction Management Training was 78%, and for O&M Training was 90%, respectively. 2) Number of Community Contracted projects in Hambantota DS, Lununawwera DS and Sooriyawewa DS are 3, 2 respectively. 3) All Project-funded community contracts are completed with safe and satisfactory quality by the end of March, 2009. 4) Most of the projects were cancelled within the agreed contract amounts. There were few cases in which particular works have been cancelled due to villagers request and alternative works were implemented instead of the cancelled works within the contract. 5) The O&M plans were formulated through O&M trainings and the plans were compiled in their O&M book

	<p>1-3-4 Has Output 4: "Villagers (CBO's) capacity to implement and manage productive and reproductive activities is enhanced," been produced?</p>	<p>1) CBOs in each village hold 324 workshops/trainings (3w/m*3CBOs*9GNs*4yr) with more than 70% participation of expected villagers. 2) At least 50 % of trained villagers practice introduced better practices and/or follow technical guidance. 3) CBOs' meetings related to development, including VCC, are held in target areas at least once a month.</p>	<p>1) For income generation activities, nine (9) workshops/trainings were held with 91% of participation of expected villagers. And for agricultural activities, totally eighty-three (83) workshops/trainings were held, and one hundred and twenty three (1,623) farmers participated. 2) 19 kinds of technical trainings were conducted, and more than 40 % of trained villagers practiced such introduced techniques and skills. They increased their income gradually by selling those products in the market. 3) The monthly VCC meeting has been organized in each village since its establishment in November 2007.</p>
<p>1-4 Actual Inputs</p>	<p>1-4-1 Japanese Inputs</p>	<p>1) Long and short term experts</p>	<p>Experts: 7 (seven) persons in six fields (Totally 70 MM)</p>
	<p>2) Local expenditure</p>	<p>a) Organizing seminar/training course</p>	<p>Local cost expenditure for implementing activity of the Project such as conducting training in target area, implementation of construction work, and other administration works was spent 21,917,000 LKR for FY 2007, and 29,265,000 LKR for FY 2008 (up to December). Including the cost for providing equipment which mentioned above, totally 59,612,000 LKR was spent.</p>
		<p>b) Utilizing Local human resources</p>	<p>National staff: 24 (twenty-four) in five division.</p>
		<p>3) Equipment & facilities</p>	<p>The equipment for operation of the Project such as Computers and its related equipment, Vehicles were provided by JICA is equivalent to 8,430,000 LKR.</p>
		<p>4) Training course</p>	<p>a) 3(three) persons on "Counterpart Training on Rural Development through Community Approach" b) 4(four) persons on "OVOP International Seminar in China" c) 4(four) persons on "Counterpart Technical Exchange in Indonesia"</p>
<p>1-4-2 Sri Lankan Inputs</p>	<p>1) Allocation of Counterparts and staffs</p>		<p>During the implementation of the Project, appropriate personals have been assigned as counterparts from the Southern Provincial Council. Total number of counterparts is 11 staffs.</p>
	<p>2) Local expenditure</p>		<p>Total amount of local expenditure for implementing the activities by Sri Lankan side has been spent 450,000 LKR by December 2008.</p>
<p>2-1 Appropriateness of the implementation process</p>	<p>2-1-1 Activities were implemented along with the plan</p>	<p>Points and remarks concerned from planning to implementation</p>	<p>Activities of the Project have been implemented along with the plan. Inputs by the Japanese side have been brought without delay. Technical level which has been used in the Project for the beneficiary in target area as well as for counterparts has been appropriate. Degree of participation and intension of target group were fully considered in the process of formulation CAP and implementing their activities.</p>
	<p>2-1-2 Appropriateness of technical transfer as well as activities of Japanese experts</p>	<p>Progress of capacity of Sri Lankan C/Ps</p>	<p>On the other hands, related stakeholders and institutions such as Divisional Secretary office, Gramani Nadat office, Provincial and Inter provincial agricultural offices have been invited. Allocation of Assistant Project Manager in each Divisional Secretary office is effective to participate to the Project.</p>
	<p>2-1-3 Degree of involvement of Counterparts and related institution into the Project</p>	<p>Degree of involvement and collaboration of Counterparts and related institution into the Project</p>	<p>Decision making and monitoring of the Project has been done in the national and provincial level. In the National level, Joint Coordination Committee (JCC) has been organized, meeting of JCC was held four (4) times. And, in the provincial level, Regional Coordination Committee (RCC) has been organized.</p>
	<p>2-1-4 Degree of participation and intension of the target group or related institution in activities.</p>	<p>Degree of participation and intension of the target group or related institution in activities.</p>	<p>For coordination of the project activities at field level, Project Coordination Committee (PIC) has been organized. PIC meeting was organized more than 6 times annually. Total number of organized the meeting is twelve (12) time in Hambantota DS and Lunugamwehera DS and nine (9) times in Sooriyawewa DS. Communication and relationship between the Project side and counterparts have been kept well in each level.</p>
<p>2-2 Project Management</p>	<p>2-2-1 Function of Monitoring system of the Project</p>	<p>Monitoring plan and results (to show that monitoring and evaluation system was established and functioned)</p>	<p>There are several issues arises for the project activities such as followings. Low number of attendants and low degree of attention paid by stakeholders affect the efficiency of the project activities at district levels, especially for function of PIC. And also, the position of Project Manager in counterparts has been vacant since March 2008. On the other hands, many number of government organizations which concerned rural development at field levels and introduction of different approach to community by other agencies such as NGO have confused the project activities.</p>
	<p>2-2-2 Communication between Japanese experts and C/Ps regarding project activities</p>	<p>Frequency of communication between Japanese experts and C/Ps</p>	<p>meeting of RCC was held eight (8) times.</p>
	<p>2-2-3 Decision making and its process regarding project management</p>	<p>Number of organizing Joint Coordination Committee</p>	<p>For coordination of the project activities at field level, Project Coordination Committee (PIC) has been organized. PIC meeting was organized more than 6 times annually. Total number of organized the meeting is twelve (12) time in Hambantota DS and Lunugamwehera DS and nine (9) times in Sooriyawewa DS. Communication and relationship between the Project side and counterparts have been kept well in each level.</p>
<p>2-3 Others</p>	<p>2-3-1 Other issues and problems which affect project activities</p>	<p>Important assumption and/or any unexpected factor which affect the Project activities</p>	<p>There are several issues arises for the project activities such as followings. Low number of attendants and low degree of attention paid by stakeholders affect the efficiency of the project activities at district levels, especially for function of PIC. And also, the position of Project Manager in counterparts has been vacant since March 2008. On the other hands, many number of government organizations which concerned rural development at field levels and introduction of different approach to community by other agencies such as NGO have confused the project activities.</p>

Result of Evaluation Grid for Rural Livelihood Improvement Project in Hambantota District (South CAP)

B. Analysis on Five Evaluation Criteria		EVALUATION QUESTIONS		Information Indicators	Evaluation Results
EVALUATION CRITERIA	Questions	Sub-questions			
3. Relevance	3-1 Consistency between the overall goal, and Policy of Sri Lankan government	3-1-1 Are the overall goal consisted with Development policy in Sri Lanka?	Consistency with community needs and community development policy in Sri Lanka	The aim of the Project consisted with Government development priority in Sri Lanka, which improves living standards of people living in the economically back ward areas such as Southern Province. Sri Lankan government has implemented similar programs such as Gama Neguma (Rural Enhancement Program)	
		3-1-2 Are the overall goal consisted with Community development policy in Sri Lanka?	Consistency with related government development policy in Sri Lanka		
	3-2 Appropriateness of the Project purpose	3-2-1 Is the project purpose consisted with Sri Lankan needs	Consistency between the project purpose and Sri Lankan needs	The Project has introduced the approach which consists of formulation of CAP at village (GN) level and proper implementation of CCS. In the process for formulation of CAP, communities take initiative for discussing and analyzing their issues and finding out solutions. Also, proper implementation of CCS develops capacity of community to maintain public facilities in village. Therefore, such methodology has been able to meet the needs of the community as well as enhance such sense of ownership.	
		3-2-2 Are the outputs and activities responded to local needs in target area?	Appropriateness of the outputs and activities to local needs		
4. Effectiveness (expected) (See the Project Achievement table for the italics)	3-3 Appropriateness as Japanese ODA	3-3-1 Is the Project appropriate as Japanese ODA and JICA technical assistance?	Consistency with Japanese ODA policy and JICA country assistant plan	Japanese ODA policy and JICA technical assistance plan focus on improvement of rural livelihood among those economically back ward areas.	
		3-3-2 Technical advantage of Japan in this field	Comparison with other donor projects/programs		JICA has already experiences to implement CAP project in other area of Sri Lanka. Therefore, it has advantage to do it more than other agencies.
	3-4 Relevance of project design	3-4-1 Appropriateness of composition between Overall goal, Project purpose, Outputs and	Comparison between plan and present achievement	The Project has implemented along the plan, no delay of activities. Composition of the between Overall goal, Project purpose, Outputs and Activities should be appropriate.	
		3-4-2 Appropriateness of selection of target area and groups	Comparison between plan and present achievement		Southern Province was selected as economically backward area by government of Sri Lanka and target area was carefully selected by the Project with counterparts.
5. Efficiency (See the Project Achievement table for the italics)	4-1 Degree of achievement of Project Purpose	4-1-1 Is achievement of project purpose expected as originally planned?	See Project Achievement	The Project has certainly accumulated implementation of activities which suggested in CAPs in each village (GN). In this aspect, achieving the Project Purpose would be possible by the end of project period, except one village (GN) which has difficulty to reach agreement to implement activities of the Project.	
		4-1-2 Are there any inhibiting factors to achieve project purpose?	See Project Achievement		
	4-2 Were the project design and implementation appropriate to achieve the project purpose?	4-2-1 Were Outputs appropriate enough to achieve Project Purpose?	See Project Achievement	Outputs have been gradually produced to achieve the Project purpose. Counterparts have already recognized the effectiveness of the CAP approach. However, funding resource from the counterparts are not clearly prepared. Also, low attention paid to Project Coordination Committee (PIC) in each Division would be obstacle to implement the CAP, approach by the counterparts.	
		4-2-2 Is important assumption still available and/or satisfied in the future?	Change of external condition for the project, etc		Still available
5. Efficiency (See the Project Achievement table for the italics)	5-1 Degree of achievement of Outputs	5-1-1 Is achievement of outputs as originally planned?	See Project Achievement	Outputs have been gradually produced to achieve the Project purpose. Counterparts have already recognized the effectiveness of the CAP approach. However, funding resource from the counterparts are not clearly prepared. Also, low attention paid to Project Coordination Committee (PIC) in each Division would be obstacle to implement the CAP, approach by the counterparts.	
		5-1-2 Are there any inhibiting factors to achieve Outputs?	See Project Achievement		
	5-2 Efficiency of Activities	5-2-1 Were Activities appropriate to produce Outputs?	See Project Achievement	Activities were appropriate to produce Outputs.	
		5-3-1 Are Japanese inputs appropriateness?	See Project Achievement		
5. Efficiency (See the Project Achievement table for the italics)	5-3 Appropriateness of inputs in relation to the produced Outputs (Have the timing, quality, and quantity of inputs been necessary and sufficient to achieve outputs?)	1) Dispatch of Japanese experts (Number, Timing field)	Inputs such Japanese experts, National staffs, provision of equipments, conducting training in target area as well as Japan, Indonesia, and China by the Project have been utilized effectively to produce each Output. Especially, facilitation for formulation of the CAP, supervising construction work of infrastructures, training and guiding for agricultural and other production were fully implemented. 3) Relationship between Southern Provincial Council and the Project team has been kept well, which contributed efficient management of project activities.		
		2) Provision of equipment (variety, number, timing)			
	3) Acceptance of trainees (timing, number, content/quality of the training)				
	4) Expenses for local cost such as conducting training course, seminar,				

<p>6. Impact (See the Project Achievement table for the italics)</p>	<p>6-1 Impacts of the Project for the long term, and other fields</p>	<p>5-3-2 Are Sri Lankan inputs appropriateness?</p> <p>5-3-3 How are the degree of utilization of inputs?</p> <p>5-3-4 Is the project management efficient?</p>	<p>Utilization of Local human resources for project activities</p> <p>1) Allocation of C/Ps (Number, timing, field)</p> <p>2) Operational cost for the project</p> <p>3) Quality and quantity of equipment and facilities provided</p> <p>1) Personnel</p> <p>2) Equipment, facilities</p> <p>3) Local operational cost</p> <p>See Project Achievement</p> <p>See Project Achievement</p> <p>Related government policy/plan, etc</p> <p>Unintended positive impact, if any:</p> <p>Unintended negative impact, if any:</p>	<p>During the implementation of the Project, appropriate personals have been assigned as counterparts from the Southern Provincial Council. Total number of counterparts is 11 staffs. Also, one house are allocated for the Project, which contributed the project activities effectively. Low number of attendants and low degree of attention paid by stakeholders affect the efficiency of the project activities at district levels, especially for function of PIC. And also, the position of Project Manager in counterparts has been vacant since March. Personnel, Equipment, facilities and Local operational cost have been fully utilized efficiently.</p> <p>There were no such obstacles to make delay for the project activities as compared to the original plan.</p> <p>The Project has shown right direction to achieve Project purpose at the end of the project term. However, expansion of the CAP approach to outside of target area, it would require further effort for counterpart agencies such as allocation of budget and development of human resources.</p> <p>1) Establishment of HPPC has induced active interaction among members for promotion of several product in Hambaniota District. Also, it has high potential for sustainable and evolving activities by those producers. 2) The study of Human Elephant Conflict (HEC) was conducted by the Project. Result of the study was shared to other stakeholders at HEC seminar held at January 2009.</p> <p>Sense of dependency exists in some part of community people, members of local authority, and government officers. Such persons sometimes hesitate to contribute to the benefits of all or fulfill their duties but seek personnel interests.</p>
<p>7. Sustainability (expected)</p>	<p>7-1 Sustainability of project effects</p>	<p>6-1-1 Will Overall Goal be estimated to be achieved? Any inhibited factor arise?</p> <p>6-1-2 Will be able to affect any impact to formulate policy in Sri Lanka?</p> <p>6-1-3 Are there any unintended positive situation produced by the project?</p> <p>6-1-4 Are there any unintended negative situation produced by the project?</p> <p>7-1-1 Have policies and institution been fulfilled for sustaining of project effects?</p> <p>7-1-2 Have Central and Regional governments, and concerned organizations dealt with necessary arrangement on budgets and operation to utilize project effects?</p> <p>7-1-3 Have Central and Regional governments and concerned organizations maintained transferred technologies?</p>	<p>Present and future aspect of Community development policies as well as concerned institutions in Sri Lanka</p> <p>Organizational arrangement of Central governments on budgets and operation</p> <p>Organizational arrangement of Regional governments on budgets and operation</p> <p>Organizational arrangement of concerned organizations on budgets and operation</p> <p>Maintenance of transferred technologies</p> <p>Upgrading of transferred technologies</p>	<p>In terms of policy and institution in Government of Sri Lanka, CAP as well as CCS is originally produced by them. Therefore, sustaining the CAP approach would not contradict any policies and institutions. However, adaption of CAP is not obligated to each village (GN), also, there is no such intitutional arrangement by Divisional level.</p> <p>According to the result of interview, Chief Secretary of Southern Provincial Council and District Secretary of Hambaniota have strong intention to sustain the CAP approach. However, allocations of budget as well as organizational arrangement have not been done yet. Also, PIC has tended to lose its function to coordinate among the stakeholder of the Project.</p> <p>Technical aspect of the CAP approach in the Project will be sustained and maintain by member of local governments and communities. The Project has introduced various appropriate techniques. And then, the government officers at divisional level enhanced their techniques through the participation in project activities.</p>

**Explanation on the Questionnaire:
Mid-term Review for
Technical Cooperation Project on “Rural Livelihood Improvement Project in
Hambantota District (SouthCAP)”**

This is a questionnaire for Mid-term review on Technical Cooperation Project on “Rural Livelihood Improvement Project in Hambantota District (South CAP)” (hereafter we refer as “**the Project**”). The joint mid-term review will be conducted from April 20 to May 6.

Prior to main discussion between the Japanese review team and Sri Lankan team, Mr. Harumi IIDA, who is an evaluation analyst of the review team, will start data collection and preparation of materials for the mid-term review.

Mr. IIDA will arrive at Sri Lanka April 19, and will visit your office during the preparation phase. This Questionnaire is part of data collection and gathering information to the process of the mid-term review works. Therefore, your cooperation to answer each question is important, and also helpful for the evaluation process.

The results of Questionnaire will be summarized during the mid-term review with participation of both Sri Lankan and Japanese sides. Also the analyzed data of the questionnaire will be presented in public.

Please see the attached Questionnaire and answer all the questions, by filling in the questionnaire, with computer typed letter or bloc letter.

It would be highly appreciated if you could attach materials or documents to prove your answers as well as the indication of resources of such data. (Organization structure, budgetary sheets, and member list of counterparts are most important.)

After you complete the questionnaire, please return to JICA Sri Lanka office (Fax: 011-2300473, e-mail: Yuasa.Keiichiro@jica.go.jp **by April 20, 2009.**)

Thank you very much for sharing your time and cooperation.

No.1

**Questionnaire Sheets for
Technical Cooperation Project on “Rural Livelihood Improvement Project in
Hambantota District (SouthCAP)”**

Joint Mid-term Review Team

For : Central Government of Sri Lanka

*Some questions may not be applicable to your directorate, agency or governments. If so, please skip such questions and move to the next one.

Full Name: _____

Your job title and institution: _____

Reference: Overall Goal and Project Purpose of the Project

Overall Goal:

“Income and livelihood of the people in areas within Hambantota and Southern Province will be improved by introducing the community approach program for participatory rural development, which is acknowledged by stakeholders through the project.”

Project Purpose:

“The existing system and structure for the participatory rural development will be functioning through effective use of institutions and practices, aiming at improving income and livelihood of the people in the project area.”

1. Justification of the Project

- (1) Has the aim of the project consisted with Development policy or Development Program in Sri Lanka? Please, indicate if there are related such important policies or programs to justified the Project.

- (2) Has the aim of the project corresponded to the local needs in target area (Hambantota and Southern Province)? Have such local needs not changed since the Project started in March 2007?

- (3) Is there any duplication of program by other donor agents or NGOs in target area?

2. Expectation of achieving the Project purpose

- (1) Do you expect that the Project Purpose will be achieved within the project period (by March 2011)? What does it mean that “functioning of the existing system and structure for the participatory rural development” in Southern Province or target area?

- (2) If, you think the Project Purpose is not achievable, what are reasons or obstacles to face to the Project?

3. Efficiency of the Activity and Project Management

3.1 Activities

- (1) How do you evaluate the implementation of activities, have they implemented smoothly to the planned schedule?

- (2) If, you find any delay in the activities, do you know why such delay occurred?

- (3) What is the most significant input from Sri Lankan side to the project activities?

- (4) What is the most significant input from Japanese side to the project activities?

3.2 Project Management

- (1) How has your organization/institution been involved in the project implementation process?

- (2) Do you feel the decision making process in the Project is well coordinated?

- (3) Do you think such relationship between your organization/institution and Japanese side are kept well?

- (4) Have you found any difficulty in the Project Management?

4. Far-reaching impact of the project

4.1 Reaching to Overall Goal

- (1) Following the outcome of the Project, do you expect any tendency or evidence for such improving income and livelihood of the people in target areas?

- (2) Do you expect the experience of the Project could be extended to other area of Hambantota and/or Southern Province? How is it possible?

4.2 Other impacts

- (1) Have you observed any unexpected positive impacts brought by the Project in target area and/or other area of Southern Province?

- (2) Have you observed any unexpected negative impacts brought by the Project in target area and/or other area of Southern Province?

5. Sustainability of the project outcome after the project term ended

5.1. Policy and Institutional aspect

- (1) Do you expect the project outcome will be sustained or utilized within National Government in the form of policy, regulation and program?

- (2) And, what kinds of arrangements are necessary to do so?

5.2 Organizational and Financial aspects

- (1) Do you think there will be continuous support by National and/or Local governments to keep or sustain the project outcome?

- (2) What are the prospects of the budget allocation of Sri Lankan government or your organization for sustaining the Project outcome?

5.3. Technical aspects

(1) Do you think the transferred technologies/knowledge/approach from the Project to Sri Lankan counterparts will be sustained, maintained or kept being strengthened?

(2) If, such transferred technologies/knowledge/approach are not sustained or maintained in Sri Lankan counterparts, what is the reason?

6. Other Comments, if any

Thank you for your kind cooperation.

No.2

**Questionnaire Sheets for
Technical Cooperation Project on “Rural Livelihood Improvement Project in
Hambantota District (SouthCAP)”**

Joint Mid-term Review Team

For : South Provincial Council

*Some questions may not be applicable to your directorate, agency or governments. If so, please skip such questions and move to the next one.

Full Name: _____

Your job title and institution: _____

Reference : Overall Goal and Project Purpose of the Project

<p>Overall Goal: “Income and livelihood of the people in areas within Hambantota and Southern Province will be improved by introducing the community approach program for participatory rural development, which is acknowledged by stakeholders through the project.”</p>
<p>Project Purpose: “The existing system and structure for the participatory rural development will be functioning through effective use of institutions and practices, aiming at improving income and livelihood of the people in the project area.”</p>

1. Justification of the Project

(4) Has the aim of the project consisted with Development policy or Development Program in Southern Province? Please, indicate if there are related such important policies or programs to justified the Project.

(5) Has the aim of the project corresponded to the local needs in target area (Hambantota and Southern Province)? Have such local needs not changed since the Project started in March 2007?

(6) Is there any duplication of program by other donor agents or NGOs in target area?

2. Expectation of achieving the Project purpose

(3) Do you expect that the Project Purpose will be achieved within the project period (by March 2011)? What does it mean that “functioning of the existing system and structure for the participatory rural development” in Southern Province or target area?

(4) If, you think the Project Purpose is not achievable, what are reasons or obstacles to face to the Project? (changing of external factors, etc.)

3. Efficiency of the Activity and Project Management

3.1 Activities

(5) How do you evaluate the implementation of activities, have they implemented smoothly to the planned schedule?

(6) If, you find any delay in the activities, do you know why such delay occurred?

(7) What kinds of activity are most effective for improving rural livelihoods in target area?

(8) What kinds of activity are most effective for capacity building of target community?

(9) What is the most significant input from Sri Lankan side to the project activities?

(10) What is the most significant input from Japanese side to the project activities?

3.2 Project Management

(5) How has your organization/institution been involved in the project implementation process?

(6) Do you feel the decision making process in the Project is well coordinated?

- (7) Do you think such relationship between your organization/institution and Japanese side are kept well?
- (8) Do you think you or your organization have contributed well for management process of the Project?

4. Far-reaching impact of the project

4.1 Reaching to Overall Goal

- (3) Following the outcome of the Project, do you expect any tendency or evidence for such improving income and livelihood of the people in target areas?
- (4) Do you expect the experience of the Project could be extended to other area of Hambantota and/or Southern Province? How is it possible?

4.2 Other impacts

- (3) Have you observed any unexpected positive impacts brought by the Project in target area and/or other area of Southern Province?
- (4) Have you observed any unexpected negative impacts brought by the Project in target area and/or other area of Southern Province?

5. Sustainability of the project outcome after the project term ended

5.1. Policy and Institutional aspect

- (3) Do you expect the project outcome will be sustained or utilized within National Government in the form of policy, regulation and program?
- (4) And, what kinds of arrangements are necessary to do so?

5.2 Organizational and Financial aspects

- (3) Do you think there will be continuous support by National and/or Local governments to keep or sustain the project outcome?

- (4) What are the prospects of the budget allocation of Sri Lankan government or your organization for sustaining the Project outcome?

5.3. Technical aspects

- (1) Do you think the transferred technologies/knowledge/approach from the Project to Sri Lankan counterparts will be sustained, maintained or kept being strengthened?

- (2) If, such transferred technologies/knowledge/approach are not sustained or maintained in Sri Lankan counterparts, what is the reason?

6. Other Comments, if any

Thank you for your kind cooperation.

No.3

**Questionnaire Sheets for
Technical Cooperation Project on “Rural Livelihood Improvement Project in
Hambantota District (SouthCAP)”**

Joint Mid-term Review Team

For: District Secretariat

*Some questions may not be applicable to your directorate, agency or governments. If so, please skip such questions and move to the next one.

Full Name: _____

Your job title and institution: _____

Reference: Overall Goal and Project Purpose of the Project

Overall Goal:

“Income and livelihood of the people in areas within Hambantota and Southern Province will be improved by introducing the community approach program for participatory rural development, which is acknowledged by stakeholders through the project.”

Project Purpose:

“The existing system and structure for the participatory rural development will be functioning through effective use of institutions and practices, aiming at improving income and livelihood of the people in the project area.”

1. Justification of the Project

(7) Has the aim of the project consisted with Development policy or Development Program in Southern Province? Please, indicate if there are related such important policies or programs to justified the Project.

(8) Has the aim of the project corresponded to the local needs in target area (Hambantota and Southern Province)? Have such local needs not changed since the Project started in March 2007?

(9) Is there any duplication of program by other donor agents or NGOs in target area?

2. Expectation of achieving the Project purpose

(5) Do you expect that the Project Purpose will be achieved within the project period (by March 2011)? What does it mean that “functioning of the existing system and structure for the participatory rural development” in Southern Province or target area?

(6) If, you think the Project Purpose is not achievable, what are reasons or obstacles to face to the Project? (Changing of external factors, etc.)

3. Efficiency of the Activity and Project Management

3.1 Activities

(11) How do you evaluate the implementation of activities, have they implemented smoothly against the planned schedule?

(12) If, you find any delay in the activities, do you know why such delay occurred?

(13) What kinds of activity are most effective for improving rural livelihoods in target area?

(14) What kinds of activity are most effective for capacity building of target community?

(15) What is the most significant input from Sri Lankan side to the project activities?

(16) What is the most significant input from Japanese side to the project activities?

3.2 Project Management

(9) How has your organization/institution been involved in the project implementation process?

(10) Do you feel the decision making process in the Project is well coordinated?

(11) Do you think such relationship between your organization/institution and Japanese side are kept well?

(12) Do you think you or your organization have contributed well for management process of the Project?

4. Far-reaching impact of the project

4.1 Reaching to Overall Goal

(5) Following the outcome of the Project, do you expect any tendency or evidence for such improving income and livelihood of the people in target areas?

(6) Do you expect the experience of the Project could be extended to other area of Hambantota and/or Southern Province? How is it possible?

4.2 Other impacts

(5) Have you observed any unexpected positive impacts brought by the Project in target area and/or other area of Southern Province?

(6) Have you observed any unexpected negative impacts brought by the Project in target area and/or other area of Southern Province?

5. Sustainability of the project outcome after the project term ended

5.1. Policy and Institutional aspect

(5) Do you expect the project outcome will be sustained or utilized within National Government in the form of policy, regulation and program?

(6) And, what kinds of arrangements are necessary to do so?

5.2 Organizational and Financial aspects

- (5) Do you think there will be continuous support by National and/or Local governments to keep or sustain the project outcome?

- (6) What are the prospects of the budget allocation of Sri Lankan government or your organization for sustaining the Project outcome?

5.3. Technical aspects

- (1) Do you think the transferred technologies/knowledge/approach from the Project to Sri Lankan counterparts will be sustained, maintained or kept being strengthened?

- (2) If, such transferred technologies/knowledge/approach are not sustained or maintained in Sri Lankan counterparts, what is the reason?

6. Other Comments, if any

Thank you for your kind cooperation.

No.4

**Questionnaire Sheets for
Technical Cooperation Project on “Rural Livelihood Improvement Project in
Hambantota District (SouthCAP)”**

Joint Mid-term Review Team

For: Government Official at Frontline

*Some questions may not be applicable to your directorate, agency or governments. If so, please skip such questions and move to the next one.

Full Name: _____

Your job title and institution: _____

Reference : Overall Goal and Project Purpose of the Project

Overall Goal:

“Income and livelihood of the people in areas within Hambantota and Southern Province will be improved by introducing the community approach program for participatory rural development, which is acknowledged by stakeholders through the project.”

Project Purpose:

“The existing system and structure for the participatory rural development will be functioning through effective use of institutions and practices, aiming at improving income and livelihood of the people in the project area.”

1. Justification of the Project

(10) Has the aim of the project corresponded to the local needs in target area (Hambantota and Southern Province)? Have such local needs not changed since the Project started in March 2007?

(11) Is there any duplication of program by other donor agents or NGOs in target area?

2. Expectation of achieving the Project purpose

(7) Do you expect that the Project Purpose will be achieved within the project period (by March 2011)? What does it mean that “functioning of the existing system and structure for the participatory rural development” in Southern Province or target area?

- (8) Have you find any change of target communities? Have they shown any progress to manage their project in terms of ownership, responsibility, sustainability and etc.?
- (9) Do you think the CAP is really useful for your jobs? Also, does it really helpful for rural development in target area?
- (10) If, you think the Project Purpose is not achievable, what are reasons or obstacles to face to the Project? (Changing of external factors, etc.)

3. Efficiency of the Activity and Project Management

3.1 Activities

- (17) How do you evaluate the implementation of activities, have they implemented smoothly against the planned schedule?
- (18) If, you find any delay in the activities, do you know why such delay occurred? What are obstacles for those activities?
- (19) What kinds of activity are most effective for improving rural livelihoods in target area?
- (20) What kinds of activity are most effective for capacity building of target community?
- (21) What is the most significant input from Sri Lankan side to the project activities?
- (22) What is the most significant input from Japanese side to the project activities?

3.2 Project Management

- (13) Have you involved in the implementation process as well as decision making in the Project?

(14) Do you think such relationship between you and Japanese expert team is kept well?

4. Far-reaching impact of the project

(7) Have you observed any unexpected positive impacts brought by the Project in target communities?

(8) Have you observed any unexpected negative impacts brought by the Project in target communities?

5. Sustainability of the project outcome after the project term ended

(7) Do you think there will be continuous support by National and/or Local governments to keep or sustain the project outcome in target area?

(8) What are the prospects of the budget allocation of your organization for sustaining the Project outcome?

(9) What are the key factors to maintain the project outcome after the Project withdrawal?

(10) Do you think the transferred technologies/knowledge/approach from the Project to you side will be sustained, maintained or kept being strengthened? And, what kinds of arrangements are necessary to do so?

(11) Do you think such obtained technologies/knowledge/capacity from the Project to community will be sustained, maintained or kept being strengthened? If not, what is the reason?

6. Other Comments, if any

Thank you for your kind cooperation.

Record of Inputs

(1) Experts and National staff

a) Japanese Experts

No.	Name	Position	MM
1	Ms. Akino Kitazume	Chief Advisor/Community Development	20.13
2	Ms. Ayako Mitsui	Coordinator	7.23
3	Mr. Keiji Tamura	Agricultural Infrastructure	14.00
4	Mr. Masayoshi Terada	Operation and Maintenance	8.00
5	Mr. Zenroku Oginosaku	Agricultural Production-1	3.00
6	Mr. Teruhiko Nibe	Agricultural Production-2	2.00
7	Mr. Atsushi Nanakubo	Marketing and Processing	4.93
8	Ms. Rie Iwai	Coordinator	10.80

b) National staff

	Division	Number
1	Administration	10
2	Agriculture	3
3	Income Generation	1
4	Infrastructure	5
5	Institutional Development	5
Total		24

(2) Assignment of Counterpart

No.	Name	Position	Term
1	Mr. M.G.T. Navaratne	Project manager	Sep.2007 to Mar. 2008
2	Mr. H.A. Amalapara	Assistant Project Manager (Lunuganwehera DS division)	Sep.2007 to Feb.2008
3	Mr. Piyasena Wanigasekara	Assistant Project Manager (Lunuganwehera DS division)	Mar.2009 to present
4	Mr. L. A. Jayaratne	Assistant Project Manager (Sooriyawewa DS division)	Oct.2007 to present
5	Mr. A. W. Srimantha Priyawardhana	Assistant Project Manager (Hambantota DS division)	Oct.2007 to present
6	Mr. Anura Vidanapathirana	Agricultural Monitoring Officer, Southern Provincial Department of Agriculture Hamabantota	Oct. 2007 to Nov.2007

Annex 7

7	Mr. M.F.A.Zaneer	Subject Matter Officer, Deputy Directors' Agriculture Office, Hambantota	Oct. 2007 to Nov.2007
8	Mr. A.W. Pathirana	Monitoring Officer, ditto	Oct. 2007 to Nov.2007
9	Mr. M. Wijemuni Arachchi	Technical Officer, Provincial Irrigation Department	May 2007 to present
10	Mr. M.M.Rohitha	Technical Officer, Pradeshiya Sabha - Sooriyawewa	Feb.2008 to present
11	Mr. R.M.Rajudeen	Technical Officer, Pradeshiya Sabha - Habmantota	Feb.2008 to present

(3) Training

a) The Counterpart Training on Rural Development through Community Approach (Jan.10, 2008~Jan.22, 2008)

	Name	Position
1	Mr. A. Samarasinghe	Chief Secretary of Southern Provincial Council
2	Mr. H. K. Dayapema	Deputy Chief Secretary of Southern Provincial Council
3	Mr. R.M.D.B. Meegasmulla	District Secretary, Hambantota District

b) OVOP International Seminar in China (Nov.13,2008~Nov.21,2008)

	Name	Position
1	Mr. G. Amarasinghe	Divisional Secretary, Hambantota Division
2	Mr. E.K.A. Suneetha	Divisional Secretary, Lunugamwehera
3	Mrs. N.K.R. Pathirana	Divisional Secretary, Sooriyawewa
4	Mr. P. Weththasinghe	Assistant Director, Department of Small Enterprise Development

c) Counterpart Technical Exchange in Indonesia (Feb.16, 2009~Feb.28, 2009)

	Name	Position
1	Mr. Piyasena Wanigasekara	Assistant Project Manager (Lunugamwehera DS division)
2	Mr. L. A. Jayaratne	Assistant Project Manager (Sooriyawewa DS division)
3	Mr. A. W. Srimantha Priyawardhana	Assistant Project Manager (Hambantota DS division)
4	Mr. M. F. A. Zaneer	Department of Agriculture, Southern Provincial

(4) Equipment provided by JICA

	Name of equipment	No.	custody place
1	A3 colour inkjet printer	1	Project office
2	A4 colour laser printer	1	Project office
3	A4 inkjet Printer	5	Project office
4	A4 Laser Printer	2	Project office
5	Air conditioner	3	Project office
6	Arc View	1 package	Project office
7	Auto CAD LT	4	Project office
8	Auto Level	1	Project office
9	Book binding machine	1	Project office
10	Current meter	1	Project office
11	Desk top PC	7	Project office
12	Desk top PC	3	Project office
13	FAX/Telephone set	1	Project office
14	Generator	1	Project office
15	Grass cutter	5	Project office (to be handed over to CBO)
16	Hook gauge	1	Project office
17	Internal phone set	1set	Project office
18	Irrigation pump kit	6	To be handed over to Agrarian Service Centre
19	LAN cable switcher	2	Project office
20	Laptop PC	3	Project office
21	Laptop PC	1	Project office
22	Laptop PC and software	1	Project office
23	Motor Bike	3	Southern provincial council
24	Motor Bike	5	Project office
25	OHP	3	Agrarian Service Centre
26	Paper shredder	1	Project office
27	PC software (Adobe Acrobat)	3	Project office
28	PC software (Illustrator)	1	Project office
29	PC software (Microsoft Office XP and Sinhalese Software)	11 sets	Project office
30	PDF maker	1	Project office
31	Photo copy machine	1	Project office
32	Pick up cover	4	Project office

Annex 7

33	portable generator	2	Project office
34	Projector	2	Project office
35	Refrigerator	1	Project office
36	Safety Box	1	Project office
37	Scanner	1	Project office
38	Tamping Rammer	3	Project office
39	Toyota Hilux 4WD Double Cab	4	Project office
40	Video Camera	1	Project Office
41	Water-level logger	3	Project office

(5) Local Cost Implementation

a) Japanese side

Unit: LKR1000

Budget Item	FY2007	FY2008 (up to Dec 08)	Total Amount
A. Local Expenditure			
1) Training, Office and National Experts	20,131	17,079	37,210
2) Construction	0	10,409	10,409
3) Maintenance of vehicles and equipments	921	1,161	2,082
4) Sub-contract to local consultant	865	615	1,480
Sub-total	21,917	29,265	51,181
B. Procurement of Equipment	8,430	0	8,430
Total	30,347	29,265	59,612

b) Sri Lankan side (Southern Province)

Unit: LKR1000

Budget Item	FY2007	FY2008 (up to Dec 08)	Total Amount
Salary for Project manager	255		255
Allowance of APM	63	108	171
VAT for JICA Vehicle (4 cars)	21,246		21,246
Fuel cost for Donated motorbike		24	24
Total	21,501	132	21,696

Narrative Summary		Indicators in PDM		Result		Challenges that lie ahead		Important Assumption	
Overall Goal									
Income and livelihood of the people in areas within Hambantota and Southern Province will be improved by introducing the community approach programme for participatory rural development, which is acknowledged by stakeholders through the project.		1 Proportion of households whose income increased in GN divisions formulated CAPs in Hambantota district.		23/47= 49%		Weeriyagama 29/36=81%		Bogahawewa 27/42=64%	
		2 Number of GN Division who formulate CAP in Hambantota district.		11/58= 19%		Weliwewa 22/52=42%		Padawgama 21/43=49%	
		3 Proportion of CCS projects formulated and implemented from formulated CAPs.		20/59=34%				Pappu Jandura %	
				N/A					
Object Purposes									
The existing system and structure for the participatory rural development will be functioning through effective use of institutions and practices (e.g. Community Action Planning and Community Contract System), aiming at improving income and livelihood of t		1 More than 50% of the suggested activities in the formulated CAPs are implemented by the project or other development agencies (GOs and NGOs)							
		2 More than 50% of PIC and CBOs members recognise the usefulness of CAPs, as comprehensive development							
		3 More than 5 target GN Divisions receive external supports to implement identified individual projects.							
		4 25% of households income is increased in 9 target GN divisions.							
Narrative Summary		Indicators in PDM		Result				Important Assumption	
Outputs									
1) Community Action Plans (CAPs) will be prepared in selected villages, then individual projects will be identified.		(1)-1 More than 2160 villagers (60persons*9GNs*4yr) and 204 field level officials (17officials*3DSs*4yr) trained for preparation of CAP in target		Total No. from Community: 688 Total No. from Govt. officials: 154					
		(1)-2 All targeted villages prepare CAPs.		9 CAPs formulated					
		(1)-3 80 % of identified individual projects estimated as useful by beneficiaries.		N/A					
2) (2) Divisional Coordination Committees will be functioning for implementation of CAPs.		(2)-1 Each target DS division holds PIC meeting more than 9 times annually.		Aug07-Mar.08 + Apr.08-Sep.08+ Oct08.Mar09 4 + 2 + 4 = 12 L'wehera 4 + 3 + 5 = 12 So'wewa 4 + 3 + 2 = 9				Low number of attendants and low degree of attention paid by officers negatively affect the PIC meetings. The importance of coordinating village plans and the available resources shall be understood by the divisional level officers.	
		(2)-2 All PIC meetings are held with more than 50% participation of invited development stakeholders.							
		(2)-3 Divisional Secretaries, DS Officers, P/S chair person and officers recognise the importance of coordination body at divisional level.							

Narrative Summary	Indicators in PDF	Result							Challenges that lie ahead	Important Assumption
		GN Division	Construction Training(Skill)	Participants	Construction Management Training	Participants	O&M Training	Participants		
3) Villagers (CBO's) skills for construction / maintenance works of rural infrastructure are developed through implementation of identified project(s).	(3)-1 At least 3 trainings are held per contract, and 70 % of expected villagers participate.	Weeriyagama	Yes	85%	Yes	80%	Yes	82.50%		
		Welliwewa	Yes	75%	Yes	75%	Not yet conducted			
		Ketanwewa	Yes	80%	Yes	70%	Yes	91%		
		Kaliyapura	Yes	65%	Yes	75%	Yes	100%		
		Koholankala	Yes	83%	Yes	80%	Yes	58%		
		Bogahawewa	Yes	70%	Yes	80%	Yes	100%		
		PAJ	Yes	73%	Yes	85%	Yes	100%		
		Padawagama	Yes	90%	Yes	75%	Yes	100%		
		Average			78%		78%		90%	
									82%	
									In Italakumbukwewa GN Division, the activities have been stagnated since August 08. A decision should be made for continuation, or discontinuation.	
(3)-2 More than 6 Community Contracted projects from CAPs are implemented in each DS Division.		total average								
		3 in Hambantota DS Division 3 in Lunuganwehera DS Division, 2 in Sooriyawewa DS Division,								
(3)-3 All Project-funded community contracts are completed with safe and satisfactory quality.	(3)-3 All Project-funded community contracts are completed with safe and satisfactory quality.	Completion of the Community Contract work								
		Required Progress / Actual Progress (End of Dec 2008) / Actual progress as of end March								
		Ke'pura	100% / 97.5%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		Ko'kala	100% / 100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		Ke'wewa	100% / 86%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		Pigama	100% / 95%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		B'wewa	100% / 100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		PAJ	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		Welliwewa	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		Weeriyagama	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

Narrative Summary	Indicators in PDF	Result	Challenges that lie ahead	Important Assumption																											
	<p>(3)-4 All responsible CBOs for Community Contracts complete the contracted project within contract amount.</p>	<p>most of the projects were completed within the agreed contract amounts. There were some cases in which particular works have been cancelled due to villagers' request and alternative works were implemented instead of the cancelled works within the contract</p> <table border="1" data-bbox="391 1070 845 1444"> <thead> <tr> <th>GN Division</th> <th>Contract Amount</th> <th>Actual amount</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Weeriyagama</td> <td>PI-1,234, 258.46</td> <td>PI-1,228, 056.05</td> </tr> <tr> <td>Weiwewa</td> <td>1,791,930.83</td> <td>1,759,923.06</td> </tr> <tr> <td>Ketanwewa</td> <td>1,789,904.67</td> <td>1,786,258.00</td> </tr> <tr> <td>Keliyapura</td> <td>PI- 833,500.58 855,531.71 P2-865,336.63 P2- P3-129,912.97</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Koitolankala</td> <td>2,000,000.00</td> <td>2,000,000.00</td> </tr> <tr> <td>Bogahawewa</td> <td>PI- PI-809,250.84 812,901.33 P2-832,207.20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PAJ</td> <td>PI- PI-791,148.02 830,346.24 P2-617,469.25 P2- P3-358,080.56</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Padawgama</td> <td>912,816.00</td> <td>912,816.00</td> </tr> </tbody> </table>	GN Division	Contract Amount	Actual amount	Weeriyagama	PI-1,234, 258.46	PI-1,228, 056.05	Weiwewa	1,791,930.83	1,759,923.06	Ketanwewa	1,789,904.67	1,786,258.00	Keliyapura	PI- 833,500.58 855,531.71 P2-865,336.63 P2- P3-129,912.97		Koitolankala	2,000,000.00	2,000,000.00	Bogahawewa	PI- PI-809,250.84 812,901.33 P2-832,207.20		PAJ	PI- PI-791,148.02 830,346.24 P2-617,469.25 P2- P3-358,080.56		Padawgama	912,816.00	912,816.00		
GN Division	Contract Amount	Actual amount																													
Weeriyagama	PI-1,234, 258.46	PI-1,228, 056.05																													
Weiwewa	1,791,930.83	1,759,923.06																													
Ketanwewa	1,789,904.67	1,786,258.00																													
Keliyapura	PI- 833,500.58 855,531.71 P2-865,336.63 P2- P3-129,912.97																														
Koitolankala	2,000,000.00	2,000,000.00																													
Bogahawewa	PI- PI-809,250.84 812,901.33 P2-832,207.20																														
PAJ	PI- PI-791,148.02 830,346.24 P2-617,469.25 P2- P3-358,080.56																														
Padawgama	912,816.00	912,816.00																													
<p>(4) Villager's (CBO's) capacity to implement and manage productive and reproductive* activities is enhanced.</p>	<p>(3)-5 All responsible CBOs formulate the O&M plan within their capacity.</p> <p>(4)-1 CBOs in each village hold 324 workshops/trainings (3ws/lm*3CBOs*9GNs*4yr) with more than 70% participation of expected</p> <p>(4)-2 At least 50 % of trained villagers practice introduced better practices and/or follow technical guidance.</p> <p>(4)-3 CBOs' meetings related to development, including VCC, are held in target areas at least once a month.</p>	<p>O&M plans were formulated through O&M trainings and the plans were compiled in their O&M booklet at the completion of the work. O&M trainings were conducted as indicated in (3)-1.</p> <p>Income generation : 9 workshops/trainings were held with 91% of participation of expected villagers.</p> <p>Agriculture : data attached in Annual report</p> <p>Villages said that there are many people Practicing the training what we did in training programme some peoples are reluctant to use these activities.</p>																													
		<p>VCC (Nov.07-Sep.08)+ (Oct08.Mar09) + PMM</p> <p>Kc'pura 5 + 2 + 6 = 13</p> <p>Ko'k'ala 6 + 2 + 4 = 12</p> <p>Ke'wewa 3 + 2 + 7 = 12</p> <p>P'igama 6 + 3 + 3 = 12</p> <p>B'wewa 6 + 2 + 6 = 14</p> <p>P'landura 5 + 1 + 3 = 9</p> <p>We'wewa 3 + 3 + 4 = 10</p> <p>We'gama 5 + 2 + 5 = 12</p> <p>I'wewa 6 + 0 + = 6</p>																													

Narrative Summary	Indicators in PDF		Result			Challenges that lie ahead	Important Assumption
	Activities	Annual Activity Report (Mar. 07 - Jul. 07)	Annual Activity Report (Aug. 2007 - Mar. 2008)	Annual Activity Report (Apr. 2008 - Mar. 2009)	Annual Activity Report (Apr. 2008 - Mar. 2009)		
<p>(1) Community Action Plans (CAPs) will be prepared in selected villages, then individual projects will be identified.</p> <p>(2) Divisional Coordination Committees will be functioning for implementation of CAPs.</p>	1.1 Villagers and field level officials of related governmental organizations will learn the approach and skills that is essential for preparing CAP.	<ul style="list-style-type: none"> -on the job training -Half-day workshop by facilitators in each GN division, following group discussion with participatory tool. -2 CAP seminars (Jun. 07) -Facilitators orientation for participatory workshop at 3DS (Jul. 07) 	<ul style="list-style-type: none"> -one day facilitators training (over 20pic.) -Facilitators' training (30 front-line officers, Sep.2007) 	<ul style="list-style-type: none"> -Project Coordination Training -Facilitation skill Training -OJT -Counterpart technical exchange in Indonesia 	<ul style="list-style-type: none"> -Taxes are not imposed severer than the present situation 		
	1.2 Villagers' meeting will be held, with assistance of field level officials in selected GN Villages, then CAP will be formulated in each village.		<ul style="list-style-type: none"> -2day CAP workshop in all 9 GNs with collaboration of PT, APMs, etc. -Internal Reflection after each CAP workshop -VCC formulation in 9 GNs -18 VCC meeting held 	<ul style="list-style-type: none"> -43 VCC meetings (Apr.-Mar.09) 	<ul style="list-style-type: none"> -CAPs were formulated only once in the selected GN Divisions. To assure the sustainability, continuation of the same process is important. Promotion of the same process in other GN Divisions shall be also take into consideration. 		
	1.3 Individual activities will be identified based on CAPs.		<ul style="list-style-type: none"> 9 CAP reports formulated 	<ul style="list-style-type: none"> 8 CAP review report formulated 			
	2.1 Functions of the Divisional Coordination Committees will be confirmed and recognized by development stakeholders.	<ul style="list-style-type: none"> 2 JCC Meeting (Apr., Jul. 07) 2 RCC Meeting (Apr., Jul. 07) 6 PIC Meeting (2*3DS) (Apr, Jun. 07) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 JCC Meeting (Mar.08) 2 RCC Meeting (Dec.07, Mar. 08) 12 PIC Meetings (4*3DS) (Sep.07-Mar.08) Monthly monitoring format is prepared 	<ul style="list-style-type: none"> -4 RCC Meeting (Jun, Sep, Dec, Mar) -19 PIC Meeting (May08-Mar.09) 	<ul style="list-style-type: none"> -The internal needs of divisional level coordination is very low at present. 		
	2.2 Villagers become aware of existence and functions of coordination committees.			<ul style="list-style-type: none"> Many group discussions with 8 responsible CBOs 	<ul style="list-style-type: none"> -Villagers are also passive in receiving the external aids, rather than actively channel the available resources. Positive thinking and forward steps for 		
2.3 Coordination Committee meetings will be held.							
2.4 Outline of CAP will be explained at coordination committees and individual projects to be assisted under this cooperation will be identified.							
2.5 Government officials will indicate candidate projects for governmental assistance.			<ul style="list-style-type: none"> -On-the-Job training by inviting to the meeting -OVOP video seminar to DS, P/S chair, APMs etc 		<ul style="list-style-type: none"> -Preconditions 		

Narrative Summary	Indicators in PDF	Result			Challenges that lie ahead	Important Assumption
<p>Villagers (CBO's) skills for construction / maintenance works of rural infrastructure are developed through implementation of identified project(s).</p>	3.1 CBOs will receive the training in construction and management of infrastructure works.	-3 construction training (3GN, Feb-Mar 08) Technical staffs from relevant Government Office participated	-9 construction trainings (9GN) -8 Construction Management Training (8GN, ex. I'wewa) -8 community contract (8GN, ex. I'wewa)			<ul style="list-style-type: none"> The ceasefire is continued.
	3.2 CBOs will implement infrastructure works.		-work through survey with collaboration with relevant government institutions (7GN, Mar. 08) -7 detailed plan ratification (7GN, Jun, Jul 08, 2 GN later) -8 implementation of construction (4 road, canal, toilet, water supply, tank) -Progress monitoring M			
	3.3 Villagers will receive training(s) in Operation and Maintenance of infrastructure.		-Study tour for O&M Infrastructure @Walawe Left Bank (Mar. 08)	-7 O&M Workshops conducted		

Narrative Summary	Indicators in PDF	Result	Challenges that lie ahead	Important Assumption
<p>(4)</p> <p>Villager's (CBO's) capacity to implement and manage productive and reproductive activities is enhanced.</p>	<p>4.1 Project will hold workshop(s) for the beneficiaries to be educated on better reproductive practices, in cooperation with NGO(s) if necessary.</p>	<p>-several transect walk, group discussion by project team -farmer group discussion for agriculture detail plan (Dec.07, 79 Ptc) -5 income generating meetings (Dec.07-Feb.08) -Project coordination training (3 DS, Jan-Feb.08) -9 Agricultural Trainings (9GN, Nov.07-Feb.08) -1 Microfinance Workshop (Feb.08) -Meeting with private institutions by PT -study trips for CBO members about promotion and marketing -2nd workshop for Food Processing and Agricultural Marketing (Nov.07) -Hambantota Products Promotion Steering Committee (Nov.07) technical training in 4 categories</p>	<p><Income Generation> -2 income generating Mtg. (Jun.08) -2 financial management training workshop (Mar. Jul. 08) <Agriculture> Lowland: -2 self seed production training (1'wewa, May, Aug.08) -3 Parachute Transplanting Training (1'wewa May, Aug 08) Highland:</p>	
<p>Others</p> <p>Public Relations</p>	<p>4.2 Project will give technical guidance to the beneficiaries on productive and reproductive activities.</p> <p>Monthly news letter</p>	<p>Project Brochure Monthly news letter Counterpart Training in Japan Baseline Study (Nov.07-Mar.08) Land Administration Study Marketing Study (presented on Jan.08) 10 JOCV visited Young leader's training in Japan (Jan.08)</p>	<p>Project Brochure updated Monthly news letter Human Elephant Conflict Study Coordination with JOCV, NGOs (CARE International, Rural Entrepreneurs' Network) JIRCAS study team (Sep.08) Joint CAP Seminar</p>	

Plan of Operation (PO)

Activity	2007			2008			2009			2010			2011
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
1. Community Action Plans (CAPs) will be prepared in selected villages; then individual projects will be identified.	Plan	Actual											
1.1 Villagers and field level officials of related governmental organizations will learn the approach and skills that is essential for preparing CAP.	Plan	Actual											
1.2 Villagers' meeting will be held, with assistance of field level officials in selected GN Villages, then CAP will be formulated in each village.	Plan	Actual											
1.3 Individual activities will be identified based on CAPs.	Plan	Actual											
2. Divisional Coordination Committees will be functioning for implementation of CAPs.	Plan	Actual											
2.1 Functions of the Divisional Coordination Committees will be confirmed and recognized by development stakeholders.	Plan	Actual											
2.2 Villagers become aware of existence and functions of coordination committees.	Plan	Actual											
2.3 Coordination Committee meetings will be held.	Plan	Actual											
2.4 Outline of CAP will be explained at coordination committees and individual projects to be assisted under this cooperation will be identified.	Plan	Actual											
2.5 Government officials will indicate candidate projects for governmental assistance.	Plan	Actual											
3. Villager's (CBO's) skills for construction/maintenance works of rural infrastructure are developed through implementation of identified project(s).	Plan	Actual											
3.1 CBOs will receive the training in construction and management of infrastructure works.	Plan	Actual											
3.2 CBOs will implement infrastructure works.	Plan	Actual											
3.3 Villagers will receive training(s) in Operation and Maintenance of infrastructure.	Plan	Actual											
4. Villager's (CBS's) capacity of implement and manage productive/reproductive activities is enhanced.	Plan	Actual											
4.1 Project will hold workshop(s) for the beneficiaries to be educated on better reproductive practices, in cooperation with NGO(s) if necessary.	Plan	Actual											
4.2 Project will give technical guidance to the beneficiaries on productive and reproductive activities.	Plan	Actual											

現地聞き取り調査結果表

1. 中央政府、州評議会等

(1) スリランカ国政府 (4月20日)

地方政府・州評議会省	Mr. H.P. Cashian Herath, Secretary Mr. Eric Illyapparachchi, Additional Secretary
<ul style="list-style-type: none"> • South CAP のアプローチは、地域において関与する政府機関を全て巻き込んでおり、同省の事業実施方針とも合致する。 • 同省が所管する支援事業は、South CAP も含めて、同省の年次報告書に記載して、議会への報告としている。 • 南部州で、今後、South CAP の経験を拡大していくためには、そのためのユニットを設置する必要があるだろう。州への予算は、州評議会からの申請によるものである。 • South CAP と同様なプログラムとしては、国家建設省が実施するガマ・ネグマがある。同省独自の事業として実施されており、地方政府・州評議会省とはラインが異なるため、州レベルでの調整が必要となる。 • 地方政府においては、UNDP が南部州内において、州評議会及び郡事務所の能力強化を目的とした Art Goal 事業が掲げられる。South CAP とは、対象分野や受益者が異なっている（インドネシアのゴロンタロ州との技術交換有）。 • South CAP で優れていることは、コミュニティーにおける計画立案と農業の新技術の導入方法である。後者は、パラシュート法等をデモンストレーションによって農家の参加を促している。 • その他；地方公務員の教育機関として、Sri Lanka Institute of Local Governance がある。同省傘下にあるが、独立組織である。 	
国家建設省	Mr. B. H. (Buddhi) Passaperyma, Director-General
<ul style="list-style-type: none"> • SouthCAP のアプローチは、スリランカ政府（国家建設省）が実施しているガマ・ネグマ（Gama Neguma ; intensive village development programme）で活用できる。 • Gama Neguma は、ラージャパクサ政権の貧困削減政策の中心的な役割を持つもので、村レベルの住民主導プログラムである。2009 年は 188 億ルピーの予算がついている。 • Gama Neguma では、Divisional Secretary（郡長）が Grama Niladari（行政村長）の支援のもと、村のニーズを特定し、ニーズに沿った参加型開発をすることになっている。 • しかし Gama Neguma の運用は現在適切に行われておらず、政治家の口出しで事業が決まっているケースもある。これを変えていくことは容易でない。 • 一方、SouthCAP はコミュニティーの awareness をきちんと行い、真のニーズに沿って合理的に事業を決定、実施している。また、資金や時間や技術以上に、「参加」が重要であり、SouthCAP では経験豊富な日本の専門家の知見を導入し、また JOCV も一緒に awareness に取り組んでいる。 • 時が経てば、Gama Neguma と SouthCAP の成果の違いが明らかになるだろう。その違いを示していくことで、SouthCAP の成功手法を取り入れて Gama Neguma を改善していくことが可能になるのではないか。 	

(2) 南部州評議会 (4月21日)

南部州評議会次官室	Mr. A. Samarasinghe, Chief Secretary 他
<ul style="list-style-type: none"> • South CAP は、当初は活動の実施スピードに遅さを感じたが、村の多様なニーズに沿って実施されており、スリランカの状況に合致している。 • CAP アプローチにおいて、コミュニティーからのコントリビューションを求めることや、政府とコミュニティー間のパートナーシップを築く点が特筆される。従来より多くの参加型開発が実施されたが、政府は常に外に置かれていた。CAP アプローチは、政府とコミュニティー間にあったギャップを埋めるものである。 	

- CAP アプローチでは、様々なレベルで数多くの会合が設定されている。コミュニティーとの会合について、それほど多くの設定は出来ないが、政府の担当官がアレンジしていくことは可能であろう。
- 地方政府の予算は、州の評議会がその編成権を持っている。
- UNDP が実施する Art Goal 事業は、例えば、地域の医療機関の支援を行っており、コンピューターの供与等を行っている。

(3) 農業サービス支援協会

農業サービス支援協会 一郡担当官 (DO)	Mr. Sarath Hewarathna 他 2 名
<ul style="list-style-type: none"> ● South CAP は、地域の草の根のニーズに対応し、最も貧困度の高い地域にアクセスを行っていることを認識している。 ● DO の能力向上に関しては、DO を通じた調整、クロス・モニタリング、フィールド・ツアー等が有効であった。一方、PIC への参加について、時間的な制約があった。 ● CAP アプローチの課題としては、工事の運営や完工後の維持のための基金の設置などは困難を伴うであろう。 ● 同アプローチの将来的な持続性について、政府側スタッフの能力不足や、CAP が持つ包括的なアプローチ等、全ての領域やプロセスをカバーできない。また、活動資金の不足があり、中央政府との交渉が必要である。 ● CAP アプローチの実施において、部局毎に経験の相違があり、共有が必要である。限られた人員しかフィールド・ツアーに参加していない。 	

(4) Hambantota 県

ハンバントータ県 次官事務所	Mr. R.M.D.B. Meegasmulla, District Secretary
<ul style="list-style-type: none"> ● Hambantota 県は、12 の郡から構成され、576 の行政村がある。 ● CAP アプローチの特徴として、コミュニティー住民の能力向上や啓発プログラムによる意識の向上など、事業の持続性を高めることに繋がっていること。 ● また、クロス・モニタリングや、コミュニティーへの距離の近さ、日本の経験等も掲げられる。 ● 対象地域やコミュニティーの特徴としては、津波被害への支援の際に、多くの資金が流入し、また、住民が活動に動員された経験がある。 ● South CAP と類似する事業として、政府のガマ・ネグマがある。行政村レベルでは、村評議会や、住民自治会等から県にプロポーザルが提出されるもの。 ● CAP アプローチは大変使いやすいものである。South CAP 終了後、誰が CAP アプローチを他地域に拡大していくかについて、現在、経験を蓄積している段階。しかし、事業予算がない。県の予算は、中央及び州評議会より支出される。 	
ハンバントータ 生産物振興協会 (HPPC)	Mr. P. Weththazeinghe, Secretary 他
<ul style="list-style-type: none"> ● South CAP の主導で、2007 年 11 月に設立された。地方政府、民間企業、NGO、銀行、農業組合など 25 の団体が加盟している。目的は、本県の農産物や手工芸品の販売促進である。 ● 各県には商工会議所が設置されているが、HPPC は更に幅広い団体が参加している。 ● 活動は、展示会等への出品や、研修、セミナーの実施である。活動のための銀行口座も持っている。会合は月に一回開催している。先日、12 回目の会合が行われ、6 割の出席率であった。 ● 前回の会合では、HPPC の中期的展望が議論された。今後の展開として、生産物の相互の連関を強めていくことが重要とされた。 ● 域内農家への啓発や情報伝達は、DS や NGO を通じて行っている。 ● 現状の課題として、メンバーである農家の能力向上であり、また、活動に係る交通費などの経費である。 	

2. 対象地域 3 郡

(1) Hambantota 郡 (4 月 22 日)

1) 郡次官事務所	Mr. Ganesha Amarasinghe, Divisional Secretary Mr. L.A. Jayaratne, Assistant Project Manager
<ul style="list-style-type: none"> CAP について、資金、手法、経験の全てが重要である。 CAP 対象村とそれ以外の村との相違は、資金等をもたらったか否か。全コミュニティが支援を受けているわけではない。 コミュニティの依存心は強く、自立意識を持つことは容易くない。津波被害以降、住民の要望が増えた。 DS の役割は、コミュニティへの調整、指導など CAP と同じ。しかし、活動予算がない。 住民側の態度の変容に係る訓練が必要である。 (DS は就任後、数カ月で South CAP の理解に乏しい模様) 	
2) 郡評議会	(面談無し)
(事務所の訪問時、評議会議長は不在。予定面談時間が超過し、こちら側が退出する際に同議長が帰所した。そのため、来訪の趣旨説明と挨拶のみ行った。同評議会議長は、プロジェクトの活動に対して、これまで個人的に非協力的であった由。)	
3) 村落調整委員会 (VCC)	
a. Koholankala 行政村 (VCC 議長他 2 名) <ul style="list-style-type: none"> 行政村内の世帯数は約 218 である。 CAP では、飲料水供給のための水道管敷設事業を行った。工事は時間が掛ったが、村にとっては非常に有益なものとする。 事業の計画から、実施、メンテナンスまでの過程を経験した。 コミュニティ事業ではリーダーシップの確保が重要。また、VCC の役割を明確化し、活動記録を残すことも重要とする。 次期の事業は灌漑施設の改修を予定しているが、住民の収入向上のための研修も必要とする。 VCC の現状の課題は、会合への低い参加率にある。プロジェクト終了後には、技術的な支援が必要であり、何らかの権威付けが必要。 CAP 対象外の村に対して、VCC の運営や事業実施の経験を伝えることが可能とする。 (VCC 議長は工場経営者) 	
b. Keliyapura 行政村 (VCC 議長他 2 名) <ul style="list-style-type: none"> VCC メンバーは 15 人である。 これまで灌漑施設の改修事業を行い、50 世帯が工事に参加した。 VCC としては、村全体のことを考えていかなければいけない。また、活動、研修、意思決定への参加が重要。メンバーとしては、社会全体における位置付けと責任を意識すること。 しかし、現状として、議論の話題によっては、会合へのメンバーの参加が確保されないことが問題である。 地方政府への期待は特にない。また、事業の実施に係る他の資金源についても知らない。 これまで、VCC メンバーは、会計やマイクロ・クレジットの研修を受けた。今後は、プロジェクト・プロポーザル作成の研修が必要。 	
c. Ketanwewa 行政村 (VCC 議長他 3 名) <ul style="list-style-type: none"> VCC メンバーは 10 人である。行政村内世帯数は約 150 である。 農業が住民間の共通の課題であり、VCC では農業開発が議論の中心となる。保健、女性や青少年問題は余り話し合うことはない。 一方、若年層の村からの流出が課題となっている。(VCC では 10 人中、4 人が青年) CAP の活動において、最も困難であったのは、コミュニティ・コントリビューションに関する住民への説得であった。 South CAP は、住民と政府との間をつなぐ場を提供しており、政府とどのように 	

<p>対話を行うかを学んだ。今後も、そのやり方を続けて行きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 政府側との関係において、教育は提供されているが、医療施設が十分ではない。保健衛生問題についても話し合い、政府に6回も交渉に赴いたが何の対応もなかった。 ● バス等の公共交通機関についても同様である。

(2) Sooriyawewa 郡 (4月23日)

1) 郡次官事務所	Mr. N.K.R. Pathirana, Divisional Secretariat Mr. Srimantha Piyawardana, Assistant Project Manager
<ul style="list-style-type: none"> ● 一つの村で意見集約の困難から事業が行われていないが、全体的に良好な進捗状況と理解している。 ● South CAP は、技術及び資金的支援と理解しているが、事業実施期間が短いのではないか。 ● 郡次官事務所への South CAP のインパクトは特にない。研修への参加率が低いのは職員の認識が低いからか。 (以上、DS。就任7カ月目) ● CAP のアプローチは、他支援団体とは異なり、ポリシーや方法論がある。 ● South CAP 対象外の村に対しても、CAP アプローチを拡大する必要がある。 (以上、APM) 	
2) 郡評議会	Mr. Nandasiri Ranatuuga, Chairman Mr. Sugath Gamimi, Vice Chairman、他一名
<ul style="list-style-type: none"> ● South CAP の活動全てのプロセスに関わっている。 ● CAP のアプローチは、活動プロセスにおいて、透明性を確保している点が、他の事業と異なっている。特に、計画立案システムについて優れている。また、活動実施における技術、態度など得るものがあった。 ● 政府や他団体とのアプローチの標準化は必要であるが、実情は難しい。将来的には統合が望ましい。 ● South CAP の活動の中で、PIC では、意見交換や情報収集が有益であり、他政府事務所との調整が出来るようになった。 	
3) 村落調整委員会 (VCC)	
a. Weeriyagama 行政村 (行政村長、VCC 議長他6名)	
<ul style="list-style-type: none"> ● 同郡内には約500世帯が居住している。 ● South CAP では、村落内の道路や灌漑施設の改修を行った。農業事業は収量が向上するなど、成功していると思われる。 ● CAP アプローチにおいて、コミュニティー自身による計画立案と活動のモニタリングのプロセスがあったことが重要であり、成功の秘訣であったと理解。 ● また、他 NGO と異なり、政府のシステムに沿ったフォーマルなアプローチで、計画に沿った段階的な実施と住民側への説明、透明性の確保が掲げられる。 ● 課題としては、工事の支払い相手を住民組織としていることであり、VCC が望ましい。 ● GN は、VCC においてはアドバイザーである。 (以上、同席した GN の回答) ● VCC メンバーは16人である。(常時、10人程度が会合に参加) ● CAP より、村内で最も状況が酷かった道路の改修事業を行った。直接の受益は40世帯だが、他農家にとってもメリットが大きい。 ● 道路のメンテナンスについて、メンテナンス委員会が設立されている。県建設事務所の技術的な支援もあり、住民が無償でメンテナンスを行っている。しかし、維持費用の基金の持続性に課題がある。基金管理委員会も設立されている。 ● マッシュルームの育成・販売も行っている。当初は6農家が取り組んだが、現在は2農家となった。課題が発生した場合、農業技官、South CAP チームに相談している。 ● 他地区の VCC メンバーに合う機会は特にない。 	

b. Weliwewa 行政村 (行政村長、VCC 議長他 1 名)	
<ul style="list-style-type: none"> • CAP より、村内道路の改修事業を実施した。同事業は各戸へのアクセスまでの考慮している点の特筆される。(出来れば、舗装もしてほしかった。) • CCS の関して、関与する住民組織の選定に注意が必要であり、利益配分に注意して良好な団体を選ぶ必要ある。 • 道路のメンテナンスは、コミュニティー側で行っている。GN 及び VCC より、各戸に要請しているが、住民側のモチベーションは低い。 • VCC としては、会合へのメンバーの出席が課題である。他の団体 (Care, Oxfam, IFA、農民団体等) との会合の重複がある。 • Care 等との事業の統合は、アプローチが異なり、難しい。 (以上、同席した GN の回答) 	
c. Ihalakumbukwewa 行政村 (農業組合長一名)	
<ul style="list-style-type: none"> • South CAP において、事業は実施しておらず、何の進捗もない。 • 村としては、当初の灌漑施設の改修をあくまで要求しており、South CAP 側が実施しないことが理解できない。 (VCC メンバーとの会合は召集されず、一部のメンバーより聞き取り) 	

(3) Lunuganwehera 郡 (4 月 24 日)

1) 郡次官事務所	Mr. R.M.B. Jayathilaka, Assistant Divisional Secretary Mr. P. Wanigasekara, Assistant Project Manager
<ul style="list-style-type: none"> • 同地域では、水問題が課題となっている。トイレの建設は有効なものであった。 • South CAP で導入したコミュニティー・コントリビューションは非常に重要であり、CCS として政府側でも実施している。 • コミュニティー・コントリビューションは、政府方式では最後の住民側に要請するが、South CAP ではプロセスの中に取り入れていることが大きな相違である。 • これまでの South CAP の活動より、対象となった 3 村の事業に対するオーナーシップ意識の醸成、共同作業の重要性が理解できた。また、リーダーシップがコミュニティー活動において重要であった。 • 政府側は公共サービス等の情報をたくさん持っている。VCC メンバーは、他団体のリーダーでもあり、情報伝達のために有効活用したい。 • VCC は、村開発のリード役を担っており、政府側としても、良好な関係を維持している。 • South CAP の難点としては、政府のアプローチとの接点が低い、対象が限定され全てをカバーしていない、地域毎に異なるニーズに対して細切れに支援していることが挙げられる。 • 包括的アプローチについて、実施機関間の調整は可能であるが、事業は個々に勝手に実施される懸念有り。 	
2) 郡評議会	Mr. Wijitha Ubewardhana, Chairman Mr. Wasantha Jayawandhana, Technical Officer
<ul style="list-style-type: none"> • South CAP では、コミュニティー側のニーズに一致した事業を行っている点が評価できる。 • コミュニティーへのニーズに対応するためには、住民に対する教育が必要と理解している。 • 工事実施前の調査が重要な意味を持っている。 • 政府プログラム (ガマ・ネグマ) において、現在、ある寺の修復事業を実施している (予算規模: 500million Rp.)。住民側との話し合いも最終段階であり、リーダーシップの重要を感じた。 • South CAP との活動により、評議会も能力向上の機会を得た。今後も、リーダーシップ研修など、人材育成に協力してほしい。 	
3) 村落調整委員会 (VCC)	
a. Bogahawewa 行政村 (行政村長、VCC 議長他 6 名)	
<ul style="list-style-type: none"> • VCC メンバーは、15 人 (女性は 9 名)。行政村内世帯数は約 210 世帯である。 	

- CAPでは、灌漑施設の改修等を行った。工事に際しては、VCCの下にワーキング委員会を組織した。
- CAPでは、コミュニティー・コントリビューションが求められる。具体的には、裨益世帯が19日間の無償労働を行った。従来、こうしたやり方は求められなかった。
- VCCとしては、工事に際して、住民側にコントリビューションを求めることが最も困難であり、工事の重要性を理解してもらうために説明して回った。
- コミュニティー自身が中心となって行ったことから、事業に愛着を感じている。施設引き渡し後にも、水路近辺の木の伐採など、メンテナンスを定期的に行っている。
- 同地域では、以前より、Norad、World Vision、IFA等が活動していたこともあり、住民参加事業には慣れている。しかし、South CAPは、住民側にガイダンスをすることが他とは違う。
- South CAP対象外の村に対しては、共同活動やリーダーシップの重要性をアドバイスしたい。

b. Padawgama 行政村 (行政村長、VCC議長他10名)

- VCCメンバーは13人である(女性は4人)。行政村内世帯数は、約400世帯。
- 地方政府(GN等)は、VCCにおいてはアドバイザーとしての位置づけである。
- CAPで行った貧困層に対するトイレの設置工事について、村内では当初は100世帯以上のニーズがあった。しかし、地方政府からの法的な問題があるとの指摘により、最終的には24世帯への設置となった。
- VCCの運営において、コミュニティーからは沢山の要望が掲げられるため、その調整が最も困難であった。
- 村内には、農業組合、女性組合等の組織が沢山、存在している。VCCメンバーはこれらの組織のメンバーでもあり、VCC以外でも所属する組織で課題を議論する機会がある。
- VCCの役割は、South CAPに対応するための存在であり、プロジェクトが終了すれば役割も終わり、消滅する。

c. Punciappu Jandura 行政村 (行政村長、VCC議長他8名)

- VCCのメンバーは15人、行政村内世帯数は、約250世帯。
- CAPより、まずは頭首項灌漑施設の改修を行った。その他、煉瓦生産組合、果物生産、米作の改善事業などを行っている。
- 従来より、他団体からの支援において、コミュニティー間で議論することに慣れている。問題は、常に財源がないことである。
- しかし、コミュニティー・コントリビューションや、コミュニティー主導で事業の選定や実施を行ったのは初めてである。
- VCCメンバーは、各地区の住民や農民組合において選出されており、行政村内における課題の優先付けや事業の選定に関して、責任を持って行っている。
- VCCメンバーには、社会福祉活動を担った経験を持つものも居り、VCCとしての活動は社会貢献としても捉えられている。
- 但し、メリットとデメリットの双方があり、研修などは日常生活に支障を来さないよう、一日のプログラムとしてほしい。
- CAP終了後も、VCCは存続させていきたい。
- VCCメンバーの社会福祉についても、真剣に考慮してもらいたい。メンバーも貧困層であり、癌などの疾患にさらされた場合、この地域ではどうしようもない。

3. NGO、政府農業関連事務所

(1) CARE International (4月27日)

CARE 地域事務所

Mr. Dissanayaka M. Ilangarathna, Area officer

- South CAPに関しては、市場を意識した農業支援など多数の活動を行っており、特に政府機関と共同で行うことで、活動効果の持続性を確保しようと努めていると理解。

- CARE と South CAP では、コミュニティーへの直接的なアプローチを採ることは共通しているが、CARE は保健分野等も含めて、住民生活全般を対象としているところが異なる。
- 行政村単位の開発計画である CAP について、予算上の制約もあり、全ての項目を支援することは難しいのではないか。
- CARE は、CAP と同様に、行政村より一段下の集落レベルで村落開発計画を作成している。現在、3 郡 97 の集落 (hamlet) をカバーしている。
- CAP の他団体による活用を想定した場合、郡次官 (DS) や行政村長 (GN) が中心となって調整を行うべき。しかし、政府側で CAP の策定を行うことは予算や人員の不足から難しいのではないか。
- CAP をリソースとして扱うことは有益と考えるが、CARE 独自の方針がある。しかし、政府を取り込んだ活動は持続性の観点から有効であり、South CAP との共同作業も可能。
- 村落内では、実務能力のある人間は限られており、複数のドナーの事業の調整や委員会のメンバー等に、一部に集中してしまうのが現実である。
- 県レベルでの開発関係者の会合として、県調整委員会があるが、開催は 2、3 カ月に一回程度。郡レベルにおいて、各分野別の会合が設定することが必要である。

(2) 現地 NGO (4 月 27 日)

Poverty Alleviation Microfinance Project (PAMP)、Consortium of Humanitarian Agencies Ltd. (CHA)、Sarvodaya Economic Enterprise Development Services Ltd. (SEEDS)	
a) CHA、Mr. Chameera Ekanayake, District Officer	<ul style="list-style-type: none"> ● 農家の生計向上を支援しており、プロジェクトの初期から、活動に協力しており、HPPC のメンバーとなった。 ● プロジェクトより、家庭菜園等について経験が得られ、支援農家 (グループ・リーダー 20 人) に対して普及を図っている。 ● 津波以降、住民の依存心が増加した。GA 等が中心となって、NGO 等がおこなう支援を、住民の依存心低下に向けてするようにすべき。 ● ハンバントータ貿易フェア等にも HPPC を通じて参加している。 ● HPPC はプロジェクトの支援で設立されたが、現在は多少、活動が停滞している。専門の事務局を設置する必要がある。 ● HPPC は、地方政府の外郭団体化し、GA が中心となり、DS にも影響力を発揮することができる。
b) PAMP、Mr. A. Jayawardana, District Coordinator-Hambantota	<ul style="list-style-type: none"> ● マイクロ・ファイナンスの業務を担っており、プロジェクトの収入向上活動と連携している。支援対象は、6000 人で、2008 年度の貸付額は 55million SLR。 ● プロジェクトの対象地域であるルヌガンフェラなどで、住民の煉瓦製造活動に対して、資金の提供を行っている。 ● 住民の依存心の低下に対しては、貯蓄を推進することで、生活力の向上に努めたい。 ● HPPC は、生産者が情報交換と協力を行うためのプラットフォームとして良好に機能している。加盟団体間の相互協力は効果的である。個々の CAP を見たことはない。
c) SEEDS、Mr. S.A. Siripala, Senior Enterprise Promotion Officer	(面会時間より遅くに到着し、SEEDS 側の事業説明が主になされ、プロジェクトに対するコメントは無かった。)

(3) 南部州灌漑局及び農業局 (4 月 28 日)

南部州灌漑局ハンバン トータ県事務所	Mr. Upul Chandana, District Irrigation Engineer Mr. M. Wijamuni Aracbenic, Technical Officer
<ul style="list-style-type: none"> ● 同局は中央政府が管掌する灌漑施設 (国家事業) 以外の灌漑施設の工事、維持管理を担っている。ハンバントータ県事務所は、同県内を管轄している。 	

<ul style="list-style-type: none"> 同事務所のスタッフは 10 人（エンジニアは 1 人）で、年間予算は 10million SLR となっている。予算は州及び中央から支出される。中央からは予算は議会から Decentralized Capital Budget（DCB）を活用する。 South CAP が実施している参加型の開発事業については、以前に政府事業である南部地域開発で経験している。 同事務所の通常業務としては、農家等の要請によって灌漑施設の工事や維持管理を行うこと。工事の実施に先立って査察を行っている。 South CAP が導入した CCS や、コミュニティー・コントリビューションについては、コミュニティーによる施設の維持管理に影響を与えるものであるが、NGO 等の他の団体は取り入れていない。 同事務所として、特に農家への訓練等を行っていない。また、同事務所の新技術に係る導入機会は、年一回である。 	
南部州農業局副局長事務所	Mr. C. Nanayakkewa, Deputy Director Mr. Zaneer, Subject Matter Officer
<ul style="list-style-type: none"> South CAP とは州農業局事務所として、協力関係にある。農家と直接的な接点を持つ South CAP のアプローチは興味深い。 同事務所の普及員等の現場で活動する人員は、様々な制約から個々の農家に長く滞在することは出来ない。 South CAP の活動に加わることにより、農家のニーズ把握や普及方法（OHP の活用等）を職員が学習した。また、一村一品活動や、家内栽培、グワバ等の換金作物の導入などを経験した。 地域の課題としては、1994 年と比較して農産物の生産性が 50%程度となっていること。また、事務所の課題として、運営上は問題はないが、現場における活動の機動性確保のための車両不足が掲げられる。 	

(4) 政府灌漑局（Inter-Provincial）

政府灌漑局ハンバントータ事務所	Mr. Hiran Peiries, Deputy Director Mr. Susantha Gamini, Agricultural Instructor Mattala
<ul style="list-style-type: none"> South CAP は、農家の生計向上を行うアプローチと理解している。 プロジェクトの活動を通じて、農業技術の強化が図られると共に OVOP のコンセプト入手 また、Integrated Pest Management, Post Harvest Management, 野菜栽培を理解 スタディー・ツアーが、政府職員のみならず、農家も対象としており、技術の向上に効果が認められた。 農業技術の普及を主としているが、マーケティングとの関係性を強めたい。そのため、外部との調整が必要。 南部州灌漑局との関係は、実質的に無い。中央政府機関であり、予算上も分かれている。南部州側との業務の重複はないが、PIC のような受け皿として共通のものが必要である。郡レベルでの調整は可能と思われる。 同事務所の業務として、農業回転基金の運営を行っている。 現場には、農業指導員（AI）は、三日に一回は赴いている。 	

4. SouthCAP 現地スタッフ

SouthCAP team：ナショナル・スタッフ・インタビュー（4月30日）

1. Institutional Development（インタビュー対象者 4 名）
a) 活動の障害等
<ul style="list-style-type: none"> 政府職員の活動への低い参加率が常に障害であった。特に、開発関連の役職にも係わらず、現場に来ない職員が多かった。 行政村長の参加率が特に悪く、一方、活動に対する資金的要求をされるケースがあった。 ハンバントータ郡の評議会議長は、プロジェクトの活動業績を常に判定する傾向があった。 PIC において、実質的に議長役が二人おり、運営が非効率であった。

<ul style="list-style-type: none"> ● 村においては、住民の外部への依存心が抜けず、プロジェクトに対する物質的な要求が常に在った。 ● 対象地域において、他団体との活動が重複し、他方が無償供与を行う場合、プロジェクトのアプローチが住民に理解されない場合があった。 ● 同様に、対象地域において、沢山の支援団体の会合が、同じメンバーに集中することから、プロジェクトが主催する会合への住民の参加率が低かった。
<p>b) 日本専門家との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本人専門家との関係性は良好である。 ● 一方、プロジェクトへの外部からの視察が多数あり、活動が阻害されることもあった。
<p>c) 政府機関（C/P）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CAPが公的なものとなるには、政府機関との関係性を重視していく必要がある。同様に、NGOも含めた会合を持ち、CAPに基づいた協調を図る必要がある。 ● APMの能力は向上しており、CAPの策定も出来るのではないかと思われる。
<p>2. Infrastructure（インタビュー対象者3名）</p>
<p>a) 活動の障害等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住民、農家の低い参加率が活動を進める上での障害であった。 ● 農家を対象として活動を行う場合、農繁期などに活動参加を求めることは容易ではなく、農業活動のパターンを考慮に入れて置く必要がある。 ● 政府機関との関係は良好であったと云える。（ハンバントータ郡評議会除く）
<p>b) 日本専門家との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インフラ工事の実施における記録・文書化や、管理運営プロセスについて学ぶところが多かった。
<p>c) 政府機関（C/P）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工事実施等、活動に係るモニタリング・システムが欠落している。 ● 政府関係職員の時間的余裕が限られている。 ● CCSを政府主導で行った場合、業者に単純に委託される懸念がある。その場合、住民側の貢献や維持管理の期待は出来ない。また、事業の選定など、政治的な課題となる恐れがある。
<p>3. Income generation（インタビュー対象者1名）</p>
<p>a) 活動の障害等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 郡次官事務所には、複数名の開発担当官がいるにも関わらず、活動に対しては無理解であった。この分野においては経験不足である。 ● 政府側は、同分野の業務をNGOの活動範疇と理解している。 ● HPPC設立後においても、DSのイニシアティブの低さは変わっていない。
<p>b) 日本専門家との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特に問題は無い。
<p>c) 政府機関（C/P）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● C/Pとしては、DSレベルではAPMが適当と考える。 ● 政府機関側は、プロジェクトが潤沢な予算を持っていると考えている。 ● HPPCとプロジェクトは良好な関係にあるが、政府職員を巻き込み、十分な活動経験を積ませることが必要。
<p>4. Agriculture（インタビュー対象者1名）</p>
<p>a) 活動の障害等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農業事務所等の政府機関とプロジェクトとの貧困農家へのアプローチの相違が顕著であった。 ● 政府機関側は、常に高収量品種（HYV）を普及しようとするが、プロジェクトは農家側のニーズを優先し適正技術に沿った品種を導入するため、常に議論があった。 ● プロジェクト活動に政府職員が参加する際には、業務範囲外活動であるとして、資金的要求があった。 ● 農家側では、常に、物的支援の要請が掲げられた。また、リスクを避ける傾向が強い。

<ul style="list-style-type: none"> ● 農家や政府機関との調整に、多くの時間が費やされた。
<p>b) 日本専門家との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有機肥料の導入など、技術的支援があった。 ● 日本人専門家を一見したいという理由で農家の参加が増えた。
<p>c) 政府機関（C/P）の能力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 政府機関側は、プロジェクトの活動成果を認め、自らが遅れていると認識している模様。 ● 政府機関との協働活動は継続していく必要がある。一方、農業事務所長等、指導者レベルの現場への参加が無く、メンタリティーを変える必要がある。 ● GAからのトップダウン的な指導も有効かもしれない。

5. その他（JOCV）

青年海外協力隊・村落 開発普及員	飯田 彰 隊員（スーリャウエワ郡） 井口 昌哉 隊員（ルヌガンヴェフェラ郡）
<ul style="list-style-type: none"> ● 飯田、井口両隊員共に、2008年9月に郡次官事務所に配属された。同事務所では、郡内の開発事業の計画から導入、進捗まで管理する開発部門に配置された。 ● 同部門には、郡内の村落を対象としてフィールド活動を行う開発官等の6~8名程度の同僚が配置されている。 ● 郡次官側より、隊員の業務として、日本語クラスの開講、日本の経済発展等に係る講義や、一村一品運動の推進支援などの活動を求められている。（飯田隊員）郡内全般において、住民主体による参加型開発の推進のため、住民組織化の支援や調整を行うことを求められている。（井口隊員） ● 実際の活動においては、両名ともに、面積の広い郡内を回る足をもっておらず、各行政村や集落への訪問が定期的に行うことに、困難を感じている。 ● SouthCAP プロジェクトの連携に関しては、具体的な活動としては行っていない。今後は、情報の共有等に努めたい。 	

付属資料5. 質問票回答

質問票回答(1) 中央政府

		地方政府・州評議会省	国家建設省
		Mr. H.P. Cashian Herath, Secretary	Mr. B. H. (Buddhi) Passaperyma, Director-General
項目	設 問		
1. プロジェクトの妥当性	(1)プロジェクトの目的はスリランカ国政府の開発政策と合致しているか。関連するプログラムはあるか。	そう思う。スリランカ国政府は、経済的な発展から取り残されている地域住民の生計向上と貧困の緩和は、優先的な政策となっている。そのために、ガマ・ネグマ等の農村開発プログラムを実施している。これらの開発は努力は、地方政府への権限移譲等を通じて実施されており、プロジェクトのアプローチと合致している。	そう思う。ガマ・ネグマは、紛争地を除く地域で、政府が郡レベルで実施する統合的な農村開発計画である。
	(2)プロジェクトの目的は対処地域のニーズと合致しているか。	対象地域は経済的発展が遅れている地域であり、プロジェクトは住民や現場の組織と共に活動を行っている。プロジェクトは、開発のあるべき姿を示しており、プロジェクト・チームはそのための変革者として位置付けられる。	プロジェクトは地域の必要と思われる課題に的確に対処している。コミュニティが参加する農村開発はプロジェクトの基本的なコンセプトとして、徐々に関係者において理解を広げている。
	(3)NGO等の他団体との支援の重複はないか。	JCC等で、そのような重複がないよう調整を行っている。	(回答無し)
2. プロジェクト目標の達成予測	(1)プロジェクト実施期間終了までに、目標は達成できると思われるか。	プロジェクトは機能的に活動しており、目標は達成されると思う。政府より権限委譲された機能が州評議会及び県に既にあると思う。	特に、活動上の支障がなければ目標達成が可能と思われる。また、現状の行政における認識と制度への適用が考慮される。
	(2)プロジェクト目標の達成を阻む要因は何か。	プロジェクト目標は達成されると思う。	プロジェクト目標は達成されると思う。
3. プロジェクト活動の効率性とマネージメント	3.1 プロジェクト活動		
	(1)プロジェクトの活動は円滑に実施されたか。	そう思う。活動の進捗はJCCにおいてモニタリングされている。	いくつかの障害はあったと思うが、活動は効果的に実施された。
	(2)プロジェクト活動の遅延はあった、原因は何か。	特に活動の遅延は報告されていない。プロジェクト活動のインパクトについて、地方行政官等のカウンターパートを巻き込み、また、成果の広報が求められる。	特に活動の遅延は報告されていない。
(3)最も効果的と思われるスリランカ国側の投入は何か	地方政府・州評議会省、南部州評議会、ハンバントータ県及び地域の住民である。	プロジェクトは政府の方針に良く合致しており、スリランカ国側の関連機関が活動に適格に機能している。	

	(4)最も効果的と思われる日本側の投入は何か。	これらまで主に開発が行われていなかった地域を選び、農村の住民と共に地域の経済の改善を図っていること。	専門家の活動と研修である。
	3.2 プロジェクト・マネージメント		
	(1)プロジェクトの実施過程に十分に参与して来たか。	そう思う。主に JCC や政策ガイダンス等で行っている。	ガマ・ネグマの実施においてはそう言える。
	(2)プロジェクトの意思決定は十分に調整されていたか。	そう思う。州評議会次官やハンバントータ県次官が意思決定に関与し、活動は地方の状況を勘案して実施されている。	そう思う。
	(3)日本側スタッフとの関係性は良好であったか。	そう思う。大変効果的である。同省は、他にも日本の技術プロジェクトが実施されている。	そう思う。
	(4)プロジェクト運営に係る課題はあったか。	現状において問題はないと思われる。一方、プロジェクトの持続性は検討する時期にある。	特に無い。
4. プロジェクトのインパクト	4.1 上位目標の到達予測		
	(1)対象地域において、プロジェクトの実施による住民の生計向上は期待できるか。	そう思う。本省は対象地域における改善を期待している。しかし、南部州及びハンバントータ県自身がその評価をするべきだろう。	そう思う。
	(2)対象地域以外の南部州/ハンバントータ県の村において、プロジェクトの経験は波及するか。	そう思う。プロジェクトがそれらの地域で、住民や行政官を招請した上でパイロット的に活動を実施することが必要と思われる。	ガマ・ネグマの実施地域において、その予算の活用が考慮される。
	4.2 その他のインパクト		
	(1)プロジェクトの実施による予期しないポジティブなインパクトは観察されたか。	対象地域である農村において適切で効果的な技術と方法が導入された認識している。	そう思う。農村住民が、自らの開発における“チーム・スピリット”による自助努力について影響を受けたと思われる。
	(2)プロジェクトの実施による予期しないネガティブなインパクトは観察されたか。	(回答無し)	特に無い。
5. プロジェクト効果の持続性	5.1 政策及び制度面		
	(1)プロジェクトの効果は持続するか、また、中央政府等の政策や制度での活用の可能性はあるか。	持続性を確保するための準備を開始する必要がある。	そう思う。

	(2) その場合、どのような政策的、制度的な措置が必要か。	持続性を確保するプログラムの実施	ガマ・ネグマの実施における相互協力
5.2 組織及び財政面			
	(1) プロジェクト効果を維持するための、中央及び地方評議会における組織的な支援は期待できるか。	プロジェクト効果を維持するメカニズムが必要である。	そう思う。
	(2) プロジェクト効果を維持するための、中央及び地方評議会における財政的な支援は期待できるか。	州評議会の予算がそのために活用されることが重要。	ガマ・ネグマの予算活用が考慮される。
5.3 技術面			
	(1) プロジェクトで導入された技術、知識、アプローチはカウンターパート側で維持されていくか。	この点に関し、JCCで議論を行う必要がある。	そう思う。
	(2) もし、これらの技術等が維持されない場合、その要因は何か。	南部州評議会の開発関連組織は、プロジェクトの効果を維持し、技術、知識、アプローチを活用するキャパシティを持って、同州の中期経済計画に適用できると思われる。	カウンターパート側のコミット面不足があるが、必要性が生じた際に上位層への提言を行うと思われる。
6. その他のコメント			
		本省としては、プロジェクトの実施を、現地の人材開発の観点からも評価している。そのため、プロジェクトの現地人職員と、州及び県の行政職員の協働関係を、さらに強化することで、プロジェクト終了後の効果の持続を確保することができる。	プロジェクトは、農村開発を通じて、国家の根幹的な開発を行っている。住民と協働は困難を伴うが、克服可能である。

質問票回答(2) 南部州評議会

		Mr. A. Samarasinghe Chief Secretary	Ms. I.V.N. Preethika Kumudunie Deputy Chief Secretary (Planning)
項目	設問		
1. プロジェクトの妥当性	(1) プロジェクトの目的はスリランカ国政府の開発政策と合致しているか。関連するプログラムはあるか。	そう思う。マチンダ・チンタナ・プログラム以下のガマ・ネグマがある。	そう思う。ガマ・ネグマが相当。
	(2) プロジェクトの目的は対処地域のニーズと合致しているか。	そう思う。	確実にそう思う。
	(3) NGO 等の他団体との支援の重複はないか。	特に無い。	特に無い。
2. プロジェクト目標の達成予測	(1) プロジェクト実施期間終了までに、目標は達成できると思われるか。	いくつかの選定された地域についてはそう思う。	そう思うが、全てではない。
	(2) プロジェクト目標の達成を阻む要因は何か。	(州側の?)プロジェクトの参加する動機が不足している。	(回答無し)
3. プロジェクト活動の効率性とマネージメント	3.1 プロジェクト活動		
	(1) プロジェクトの活動は円滑に実施されたか。	そう思う。	年間実施計画に沿って確認する必要がある。
	(2) プロジェクト活動の遅延はあった、原因は何か。	イハラクンブクウェワ村の住民参加の不在。	同上
	(3) 農村生活の改善に効果的な活動は何か。	マイクロ・クレジットのためのコミュニティ基金の設立	マイクロ・クレジットのためのコミュニティ基金の設立
	(4) 対象住民の生計向上に効果的な活動は何か	村落の住民組織の強化活動	住民が自らの課題を認識するための啓発活動等
	(5) 最も効果的と思われるスリランカ国側の投入は何か	住民活動への直接的なモニタリングと指導	住民活動への直接的なモニタリングと指導
	(6) 最も効果的と思われる日本国側の投入は何か。	活動のための予算	活動予算と新技術の提供
	3.2 プロジェクト・マネージメント		
	(1) プロジェクトの実施過程に十分に関与して来たか。	カウンターパート資機材の提供	部分的に関与した(所属部署の管轄範囲として)。
	(2) プロジェクトの意思決定は十分に調整されていたか。	そう思う。	そう思う。
(3) 日本国側スタッフとの関係性は良好であったか。	そう思う。	そう思う。	
(4) プロジェクト運営に係る課題はあったか。	そう思う。	(回答無し)	

4. プロジェクトのインパクト	4.1 上位目標の到達予測		
	(1)対象地域において、プロジェクトの実施による住民の生計向上は期待できるか。	確実にそう思う。	そう思う。
	(2)対象地域以外の南部州/ハンバトータ県の村において、プロジェクトの経験は波及するか。	最も適格な郡においては実施することはできる。	そう思う。村落レベルで実施されている既存の開発事業と合同すること。
	4.2 その他のインパクト		
	(1)プロジェクトの実施による予期しないポジティブなインパクトは観察されたか。	(回答無し)	そう思う。
(2)プロジェクトの実施による予期しないネガティブなインパクトは観察されたか。	特に無い。	(回答無し)	
5. プロジェクト効果の持続性	5.1 政策及び制度面		
	(1)プロジェクトの効果は持続するか、また、中央政府等の政策や制度での活用の可能せいはあるか。	そう思う。	そう思う。
	(2)その場合、どのような政策的、制度的な措置が必要か。	政府による同様な開発活動と同時に実施すること。	国家政策において参加型開発アプローチを重視すること。
	5.2 組織及び財政面		
	(1)プロジェクト効果を維持するための、中央及び地方評議会における組織的な支援は期待できるか。	(回答無し)	(回答無し)
	(2)プロジェクト効果を維持するための、中央及び地方評議会における財政的な支援は期待できるか。	(回答無し)	カウンターパート予算の提供
	5.3 技術面		
	(1)プロジェクトで導入された技術、知識、アプローチはカウンターパート側で維持されていくか。	そう思う。	そう思う。
(2)もし、これらの技術等が維持されない場合、その要因は何か。	活動資金及びモニタリングの不足。	(回答無し)	
6. その他のコメント		(回答無し)	現在、村にある農業組合、青年クラブ等の住民組織の強化が重要。また、特にPICメンバー等を含め、受益者や関係者の動機付けの向上が必要。

質問票回答(3) ハンバントータ県他 (その1)

		Mr. R.M.D.B. Meegasmulla District Secretariat	Mr. Piyasena Weththasinghe Assistant director, Small Enterprises Development Division
項目	設問		
1. プロジェクトの妥当性	(1)プロジェクトの目的はスリランカ国政府の開発政策と合致しているか。関連するプログラムはあるか。	そう思う。政府のマガ・ネグマ等と同様なコンセプトを持っている。	そう思う。南部州評議会が実施する REAP プログラム等がある。
	(2)プロジェクトの目的は対処地域のニーズと合致しているか。	そう思う。	そう思う。基礎的な生活ニーズの充足の後には、自立した生計向上が課題となり、農業等の生産性の向上が必要となる。
	(3)NGO 等の他団体との支援の重複はないか。	特に無い。	CARE,CHA,MERCYCOPS等のNGOが同様な活動をしている。
2. プロジェクト目標の達成予測	(1)プロジェクト実施期間終了までに、目標は達成できると思われるか。	そう思う。しかし、完全にはではない。	確実にそう思う。
	(2)プロジェクト目標の達成を阻む要因は何か。	資金不足や現状の制度等。	(回答無し)
3. プロジェクト活動の効率性とマネージメント	3.1 プロジェクト活動		
	(1)プロジェクトの活動は円滑に実施されたか。	そう思う。	(回答無し)
	(2)プロジェクト活動の遅延はあった、原因は何か。	特に無い。	(回答無し)
	(3)農村生活の改善に効果的な活動は何か。	継続的で、住民に近い位置での指導とモニタリング。	(回答無し)
	(4)対象住民の生計向上に効果的な活動は何か	(回答無し)	(回答無し)
	(5)最も効果的と思われるスリランカ国側の投入は何か	プロジェクト事務所用の建物の提供と活動の障害に対する調停、調整、指示等。	(回答無し)
	(6)最も効果的と思われる日本国側の投入は何か。	能力向上や新技術のための資金	(回答無し)
	3.2 プロジェクト・マネージメント		
(1)プロジェクトの実施過程に十分に関与して来たか。	活動の進捗確認や、活動に係る協議、問題等に対する調停、調整、指示等。	HPPC の事務局として参加。HPPC においては、企業設立等の支援を行っている。	
(2)プロジェクトの意思決定は十分に調整されていたか。	そう思う。	そう思う。	
(3)日本国側スタッフとの関係性は良好であったか。	そう思う。	所属組織と HPPC は密接に関係を保ち、活動を進めてきた。	

	(4)プロジェクト運営において貢献したか。	そう思う。	HPPC の設立と活動において十分に寄与した。
4. プロジェクトのインパクト	4.1 上位目標の到達予測		
	(1)対象地域において、プロジェクトの実施による住民の生計向上は期待できるか。	そう思う。	(回答無し)
	(2)対象地域以外の南部州/ハンバトータ県の村において、プロジェクトの経験は波及するか。	活動経験を共有し、他地域からプロジェクト・サイトへの訪問を促すことよって出来る。	住民の要望によって、プロジェクトの経験は、他地域においても活用可能である。
	4.2 その他のインパクト		
	(1)プロジェクトの実施による予期しないポジティブなインパクトは観察されたか。	特に無い。	対象地域の農民は新技術についても、予期したよりも早く習得した。
	(2)プロジェクトの実施による予期しないネガティブなインパクトは観察されたか。	特に無い。	(回答無し)
5. プロジェクト効果の持続性	5.1 政策及び制度面		
	(1)プロジェクトの効果は持続するか、また、中央政府等の政策や制度での活用の可能せいはあるか。	そう思う。	そう思う。
	(2)その場合、どのような政策的、制度的な措置が必要か。	(回答無し)	フォローアップの継続、技術支援とカウンセリング、市場調査、また、必要な場合の小規模財政支援等。
	5.2 組織及び財政面		
	(1)プロジェクト効果を維持するための、中央及び地方評議会における組織的な支援は期待できるか。	(回答無し)	特に必要ないと思う。プロジェクトは、受益者自身で活動を継続するための仕組みを措置した。
	(2)プロジェクト効果を維持するための、中央及び地方評議会における財政的な支援は期待できるか。	(回答無し)	そう思う。
	5.3 技術面		
	(1)プロジェクトで導入された技術、知識、アプローチはカウンターパート側で維持されていくか。	そう思う。	そう思う。
(2)もし、これらの技術等が維持されない場合、その要因は何か。	継続的なモニタリングと活動の不足。	(回答無し)	
6. その他のコメント		(回答無し)	(回答無し)

質問票回答(3) ハンバントータ県他(その2)

		州間農業事務所	南部州農業事務所	
項目	設 問	Mr. W.L. Hras Peis Deputy Director	Mr. Chadrasena Nanayakkara, Deputy Director of Agriculture	Mr. Upul Chandana Epa District Irrigation Engineer
1. プロジェクトの妥当性	(1) プロジェクトの目的はスリランカ国政府の開発政策と合致しているか。関連するプログラムはあるか。	(回答無し)	そう思う。PRAによって住民の課題を分析することから始め農村の経済と社会の改善を図っている。	そう思う。
	(2) プロジェクトの目的は対処地域のニーズと合致しているか。	(回答無し)	そう思う。しかし、地域のニーズとは膨大であり、全てに対応することは難しい。	そう思う。
	(3) NGO 等の他団体との支援の重複はないか。	他の NGO が活動を行っていたが、現状では重複していない。	いくつかの対象の村では、NGO との活動の重複が見られる。	特に無い。
2. プロジェクト目標の達成予測	(1) プロジェクト実施期間終了までに、目標は達成できると思われるか。	そう思う	開発事業の結果が出るまでは時間を要するため、回答は難しい。	(回答無し)
	(2) プロジェクト目標の達成を阻む要因は何か。	(回答無し)	住民は、他の NGO の活動にも多く参加しており、社会的な混乱が見られる。	(回答無し)
3. プロジェクト活動の効率性とマネジメント	3.1 プロジェクト活動			
	(1) プロジェクトの活動は円滑に実施されたか。	活動は円滑に実施されたと思う。	農業関連の活動で協議を行った。	スケジュールの実施において、いくつかの課題があった。
	(2) プロジェクト活動の遅延はあった、原因は何か。	特に無い。	(回答無し)	多くの農業団体は資金不足であり活動が十分に出来なかった。
	(3) 農村生活の改善に効果的な活動は何か。	本来のニーズに則った活動が必要。	(回答無し)	灌漑、農業、道路ネットワーク形成支援等
	(4) 対象住民の生計向上に効果的な活動は何か	農業における住民の知識、技術、態度の変容。	(回答無し)	(回答無し)
	(5) 最も効果的と思われるスリランカ国側の投入は何か	計画と実施に係る技術移転	担当行政官を派遣し、プロジェクトの支援を行った。	農村で活動している経験

	(4)最も効果的と思われる日本国側の投入は何か。	これまで出来なかった地域と住民への支援、資金と人材	開発システムの提供や、技術や資金の提供。	資金と人材
	3.2 プロジェクト・マネジメント			
	(1)プロジェクトの実施過程に十分に参与して来たか。	技術担当官が活動や研修に参加。また、現場の活動におけるモニタリングと評価を実施	農業開発において、技術担当官、普及担当官が技術支援を行った。	部分的に関与した。
	(2)プロジェクトの意思決定は十分に調整されていたか。	特に参与はしていない。	(回答無し)	そう思う。
	(3)日本国側スタッフとの関係性は良好であったか。	そう思う。	そう思う。	そう思う。
	(4)プロジェクト運営に貢献したか。	そう思う。	活動上の調整に貢献した。	建築関連において。
4.プロジェクトのインパクト	4.1 上位目標の到達予測			
	(1)対象地域において、プロジェクトの実施による住民の生計向上は期待できるか。	いくつかのケースにおいて生計向上がなされている。	対象地域において、既にと特別な注意を払い、普及活動を実施している。	そう思う。
	(2)対象地域以外の南部州/ハンバトータ県の村において、プロジェクトの経験は波及するか。	現状のプロジェクトのパフォーマンスを評価した上で全体的な行う必要がある。	住民自身の経済性に関する対応にかかっている。	そう思う。
	4.2 その他のインパクト			
	(1)プロジェクトの実施による予期しないポジティブなインパクトは観察されたか。	特に無い。	(回答無し)	特に無い。
	(2)プロジェクトの実施による予期しないネガティブなインパクトは観察されたか。	特に無い。	(回答無し)	特に無い。
5.プロジェクト効果の持続性	5.1 政策及び制度面			
	(1)プロジェクトの効果は持続するか、また、中央政府等の政策や制度での活用の可能性はあるか。	(回答無し)	そう思う。	(回答無し)

	(2) その場合、どのような政策的、制度的な措置が必要か。	(回答無し)	ポジティブな効果によるが、同様なプログラムや政策が必要。	(回答無し)
5.2 組織及び財政面				
	(1) プロジェクト効果を維持するための、中央及び地方評議会における組織的な支援は期待できるか。	現状では特に問題はないと思う。	そう思う。	もちろんそう思う。
	(2) プロジェクト効果を維持するための、中央及び地方評議会における財政的な支援は期待できるか。	同事務所で基本的に対処できる。	プロジェクトの成果による。将来的に同様なプログラムを他地域実施されることを期待している。	施設の定期的なメンテナンスは州灌漑局の予算で行われる。
5.3 技術面				
	(1) プロジェクトで導入された技術、知識、アプローチはカウンターパート側で維持されていくか。	そう思う。しかし、継続的なモニタリング活動が必要。	JICA 専門家からの更なる技術支援が必要。	組織や個人で特段の能力向上が無く、課題は生じない。
	(2) もし、これらの技術等が維持されない場合、その要因は何か。	各農家がこれらの技術を維持していくことを怠った場合や同事務所に非協力的な場合。	適切な技術が継続には問題ないが、更なる技術的な向上が期待される。	(回答無し)
6. その他のコメント				
		プロジェクトは技術や資金、資材の提供において、包括的なプログラムとなっており、良い結果を残すだろう。	(回答無し)	(回答無し)

質問票回答(3) 各郡次官事務所

		ハンバントータ郡次官事務所 Mr. Ganesha Amarasinghe Secretary	スーリャウエワ郡次官事務所 Mr.N.R.Pathirana Secretary
項目	設 問		
1. プロジェクトの妥当性	(1) プロジェクトの目的は対処地域のニーズと合致しているか。	住民の議論で作成された CAP を基にする活動は、地域のニーズと合致している。これらのニーズは徐々に変化している。	そう思う。それほど離れていない。
	(2) NGO 等の他団体との支援の重複はないか。	NGO が活動しているが、異なる分野である。	特に無い。
2. プロジェクト目標の達成予測	(1) プロジェクト実施期間終了までに、目標は達成できると思われるか。	コミュニティや現場の行政官の態度の変化、コミュニティー・エンパワーメントをもたらす新たなメカニズムが求められる。また、そのための活動の円滑化のために、現場の行政官への少しのインセンティブが不可欠。	そう思う。
	(2) プロジェクト目標の達成を阻む要因は何か。	徐々にコミュニティの変化が認められるが、更なる変化を期待するには、「社会的なエンパワーメント・プログラム」の開始が求められる。	(回答無し)
3. プロジェクト活動の効率性とマネージメント	3.1 プロジェクト活動		
	(1) プロジェクトの活動は円滑に実施されたか。	活動計画通りに実施されている。	PIC 会合において確認している。
	(2) プロジェクト活動の遅延はあった、原因は何か。	いくつかの活動対象地域では、むしろ、活動が遅く感じられる。活動において、住民との会合が多く持つが、彼らは多数の会合に出たがらない。また、現場で活動する行政官（村長、農業普及員等）は、車両の燃料代不足に十分に足を運ぶことが出来ない。	天候、住民の態度等
	(3) 農村生活の改善に効果的な活動は何か。	インフラ施設の整備、住民態度変容活動、技術支援	特に農業生産における収入向上活動
	(4) 対象住民の生計向上に効果的な活動は何か	技術支援、ワークショップ、研修プログラム	受動的な住民の態度を変えるエムパワーメント活動
	(5) 最も効果的と思われるスリランカ側の投入は何か	行政官の活動	受益者の参加
	(6) 最も効果的と思われる日本側の投入は何か。	行政官への技術指導	住民ニーズの理解

	3.2 プロジェクト・マネージメント		
	(1)プロジェクトの実施過程に十分に参与して来たか。	そう思う。郡レベルにおいて、特に APM は活動に十分に参加した。	モニタリング、活動に係る協議
	(2)プロジェクトの意思決定は十分に調整されていたか。	そう思う。特に APM はプロジェクト・チームと十分な協議した。	そう思う。
	(3)日本国側スタッフとの関係性は良好であったか。		そう思う。
	(4)プロジェクト運営に係る課題はあったか。	(回答無し)	そう思う。
4.プロジェクトのインパクト	4.1 上位目標の到達予測		
	(1)対象地域において、プロジェクトの実施による住民の生計向上は期待できるか。	活動初期には、資金的支援を期待していた住民の対応は芳しくなかった。しかし、現在、彼らは慎重に計画し、技術を学ぶことの重要性を理解している。	そう思う。
	(2)対象地域以外の南部州/ハンバトータ県の村において、プロジェクトの経験は波及するか。	(回答無し)	そう思う。
	4.2 その他のインパクト		
	(1)プロジェクトの実施による予期しないポジティブなインパクトは観察されたか。	(回答無し)	(回答無し)
	(2)プロジェクトの実施による予期しないネガティブなインパクトは観察されたか。	(回答無し)	(回答無し)
5.プロジェクト効果の持続性	5.1 政策及び制度面		
	(1)プロジェクトの効果は持続するか、また、中央政府等の政策や制度での活用の可能せいはあるか。	現状において、政府側の対応が明確にされておらず、早急な対処が必要。	そう思う。
	(2)その場合、どのような政策的、制度的な措置が必要か。		農業生産に係る収入向上活動が重要であり、優先付けする必要がある。
	5.2 組織及び財政面		
	(1)プロジェクト効果を維持するための、中央及び地方評	通常、南部州評議会を通じて財政委員会から予算が配分される。上述した「社会的なエ	そう思う。

<p>議会における組織的な支援は期待できるか。</p> <p>(2) プロジェクト効果を維持するための、中央及び地方評議会における財政的な支援は期待できるか。</p>	<p>ンパワーメント・プログラム」に対する予算配分の可能性が期待される。</p>	<p>農業分野において、政府のアピ・ワワミ、ラタ・ネグマ等のプログラムがあり、財政的な裏付けがある。</p>
<p>5.3 技術面</p>		
<p>(1) プロジェクトで導入された技術、知識、アプローチはカウンターパート側で維持されていくか。</p>	<p>そう思う。しかし、更なる強化のためには、行政官はプロジェクトの中で更に研鑽されなければならない。また、第三国での技術研修も非常に有効であり、今後も継続することが必要。</p>	<p>そう思う。</p>
<p>(2) もし、これらの技術等が維持されない場合、その要因は何か。</p>	<p>(回答無し)</p>	<p>(回答無し)</p>
<p>6. その他のコメント</p>	<p>プロジェクト終了後を想定し、その成果を維持するためのシステムの立ち上げが必要である。</p>	<p>(回答無し)</p>

質問票回答(4) 各郡現地活動行政官(その1)

		ハンバントータ郡次官事務所	郡評議会
		Mr. Liyana Arachchige Rayaratne Assistant Project Manager	Mr. M. Wiyamyni Arachebi Technical Officer
項目	設 問		
1.プロジェクトの妥当性	(1)プロジェクトの目的は対処地域のニーズと合致しているか。	住民の議論で作成されたCAPを基にする活動は、地域のニーズと合致している。これらのニーズは徐々に変化している。	そう思う。
	(2)NGO等の他団体との支援の重複はないか。	NGOが活動しているが、異なる分野である。	特に無い。
2.プロジェクト目標の達成予測	(1)プロジェクト実施期間終了までに、目標は達成できると思われるか。	目標を達成するには、行政官やコミュニティを動かす更なるシステムが必要である。	(回答無し)
	(2)対象コミュニティの変化や事業における自助努力は見られるか。	そう思う。しかし、コミュニティや現場の行政官の態度の変化、コミュニティー・エンパワーメントをもたらすには、政府は啓発活動を活発に行う必要がある。新たなメカニズムが求められる。そのためには、「社会的なエンパワーメント・プログラム」の開始し、県及び州評議会において、社会エンパワーメント部門の創設が必要。	そう思う。プロジェクトの活動結果に対して、維持管理を行うよう責任感を持つようになってきている。
	(3)プロジェクトは業務において有効と感じているか。	プロジェクトは大変、有効である。プロジェクトの有効性を、現場の行政官や住民に広めるため更なる努力をしたい。	そう思う。自らが行う業務をプロジェクトによって実施することが出来ている。
	(4)プロジェクト目標の達成を阻む要因は何か。	プロジェクト目標は達成可能と思うが、行政官やコミュニティを変えるために、更なる参加が必要。行政官への少額のインセンティブ等も必要。	(回答無し)
3.プロジェクト活動の効率性とマネージメント	3.1 プロジェクト活動		
	(1)プロジェクトの活動は円滑に実施されたか。	活動計画通りに実施されている。	活動上の障害がいくつかあった。
	(2)プロジェクト活動の遅延はあった、原因は何か。	いくつかの活動対象地域では、むしろ、活動が遅いようにも感じられる。活動において、住民との会合が多く実施されるが、彼らは多数の会合に出たがらない。また、現場	インフラ整備事業の実施において、殆どの農業組合は、資金が不足していた。

		で活動する行政官（村長、農業普及員等）は、車両の燃料代不足に十分に足を運ぶことが出来ない。	
	(3)農村生活の改善に効果的な活動は何か。	インフラ施設の整備、住民態度変容活動、技術支援	灌漑施設、農業指導、道路ネットワーク
	(4)対象住民の生計向上に効果的な活動は何か	技術支援、ワークショップ、研修プログラム	(回答無し)
	(5)最も効果的と思われるスリランカ国側の投入は何か	行政官の活動	農村では業務した経験と技術的ノウハウ
	(6)最も効果的と思われる日本国側の投入は何か。	行政官への技術指導	資金、人材、機材
	3.2 プロジェクト・マネジメント		
	(1)プロジェクトの実施過程に十分に参与して来たか。	そう思う。郡レベルにおいて、特に APM は活動に十分に参加した。	事業実施過程のみ
	(2)プロジェクトの意思決定は十分に調整されていたか。	そう思う。特に APM はプロジェクト・チームと十分な協議した。	活動予算の制限により、いくつかの不可欠な工事に参加していない。
	(3)日本国側スタッフとの関係性は良好であったか。		(回答無し)
	(4)プロジェクト運営に係る課題はあったか。	(回答無し)	(回答無し)
	4.プロジェクト活動によるインパクト		
4.プロジェクトのインパクト	(1)プロジェクトの実施による予期しないポジティブなインパクトは観察されたか。	活動初期には、資金的支援を期待していた住民の対応は芳しくなかった。しかし、現在、彼らは慎重に計画し、技術を学ぶことの重要性を理解している。	(回答無し)
	(2)プロジェクトの実施による予期しないネガティブなインパクトは観察されたか。	(回答無し)	(回答無し)
	5.1 政策及び制度面		
5.プロジェクト効果の持続性	(1)プロジェクトの効果は持続するか、また、中央政府等の政策や制度での活用の可能性はあるか。	現状において、政府側の対応が明確にされておらず、早急な対処が必要（JICA がインドネシアのスラウェシで実施した事業のような措置を参照）。	そう思う。

5.2 組織及び財政面		
(1)プロジェクト効果を維持するための、組織や財政的な措置がなされるか	通常、南部州評議会を通じて財政委員会から予算が配分される。上述した「社会的なエンパワーメント・プログラム」	特に無い。
(2) プロジェクトの効果を持続するために必要な要素は何か。	に対する予算配分の可能性が期待される。	関係者の責任分担の明確化。
5.3 技術面		
(1)プロジェクトで導入された技術、知識、アプローチはカウンターパート側で維持されていくか。	そう思う。しかし、更なる強化のためには、行政官はプロジェクトの中で更に研鑽されなければならない。また、第三国での技術研修も非常に有効であり、今後も継続することが必要。	特に課題を持つような技術は導入されておらず、問題は無い。
(2)もし、これらの技術等が維持されない場合、その要因は何か。	また、コミュニティにおいても、徐々に、プロジェクトより獲得した技術の活用が行われている。行政側もこのような動きを支援しなければならない。	(回答無し)
6. その他のコメント	プロジェクト終了後を想定し、その成果を維持するためのシステムの立ち上げが必要である。そのために、インドネシアの JICA スラウェシ・プロジェクトの SISDUK や PKPM など、州、県の代表で現地視察団を送ってほしい。また、CD プロジェクトなどを当地で行うよう調整してほしい。	新たな灌漑施設の整備など、自らの業務は既にプロジェクトの中で共有されている。これは自らの責任を日本側の示すための有意義は機会となった。

質問票回答（４）－ 各郡現地活動行政官（その２）

		南部州農業事務所		
項目	設問	Mr. Walimunige Susantha Gamrne Agriculture Inspector,	Mr. Wijamunige Anura Pathmasiri Kulasinghe Agriculture Inspector	Mr.H.A. Upani Agriculture Inspector
1. プロジェクトの妥当性	(1)プロジェクトの目的は対処地域のニーズと合致しているか。	そう思う。	プロジェクトの目的は地域のニーズに合致している。	プロジェクトの目的は地域のニーズに合致している。
	(2)NGO 等の他団体との支援の重複はないか。	特にない。	農業事務所やNGO の活動のいくつかが重複している。	農業事務所の活動のいくつかが重複している。
2. プロジェクト目標の達成予測	(1)プロジェクト実施期間終了までに、目標は達成できると思われるか。	そう思う。	思わない。機能と活動レベルが低い。	思わない。活動ペースが遅い。
	(2) 対象コミュニティの変化や事業における自助努力は見られるか。	そう思う。	そう思う。住民の貢献による工事の実施等の変化がある。	そう思う。しかし、大変遅い。
	(3)プロジェクトは業務において有効と感じているか。	そう思う。	そう思う。	そう思う。
	(4)プロジェクト目標の達成を阻む要因は何か。	(回答無し)	目標は達成できないと思う。理由は云えない。	目標は達成できないと思う。
3. プロジェクト活動の効率性とマネジメント	3.1 プロジェクト活動			
	(1)プロジェクトの活動は円滑に実施されたか。	(回答無し)	(回答無し)	(回答無し)
	(2)プロジェクト活動の遅延はあった、原因は何か。	(回答無し)	道路や灌漑施設建設時の政府機関の支払いの遅延	(回答無し)
	(3)農村生活の改善に効果的な活動は何か。	資源の提供	小規模農家グループの収入向上支援	小規模農家グループの抽出と支援
	(4)対象住民の生計向上に効果的な活動は何か	訓練等の実施	啓発プログラムの改善	知識向上のための訓練
	(5)最も効果的と思われるスリランカ側の投入は何か	技術	行政官による技術支援	行政官による技術支援
(6)最も効果的と思われる日本側の投入は何か。	資源	資金及び技術指導	技術訓練指導	

	3.2 プロジェクト・マネージメント			
	(1)プロジェクトの実施過程に十分に参与して来たか。	時々	時々	そう思う。
	(2)日本側スタッフとの関係性は良好であったか。	そう思う。	そう思う。	そう思う。
4. プロジェクトのインパクト	4.1 プロジェクト活動によるインパクト			
	(1)プロジェクトの実施による予期しないポジティブなインパクトは観察されたか。	特に無い。	特に無い。	(回答無し)
	(2)プロジェクトの実施による予期しないネガティブなインパクトは観察されたか。	特に無い。	イハラクンブックウエワ村では、プロジェクトが機能していない。	(回答無し)
5. プロジェクト効果の持続性	5.1 政策及び制度面			
	(1)プロジェクトの効果は持続するか、また、中央政府等の政策や制度での活用の可能せいはあるか。	そう希望する。	恐らく、支援があると思われる。	そう思う。
	5.2 組織及び財政面			
	(1)プロジェクト効果を維持するための、組織や財政的な措置がなされるか	(回答無し)	(回答無し)	(回答無し)
	(2)プロジェクトの効果を持続するために必要な要素は何か。	(回答無し)	(回答無し)	農村施設の管理権限をコミュニティに移譲すること。
	5.3 技術面			
	(1)プロジェクトで導入された技術、知識、アプローチはカウンターパート側で維持されていくか。	少しだけだが、その維持と改善を望んでいる。	現場に向かう機材等が不足している。	そう思う。プロジェクトの重要性を更に周知すること。
(2)もし、これらの技術等が維持されない場合、その要因は何か。	そう思う。	そう思う。	そう思う。	
6. その他のコメント	(回答無し)	(回答無し)	(回答無し)	

質問票回答（４）－ 各郡現地活動行政官（その３）

		南部州農業事務所		ルヌガンヴェフェ ラ郡次官事務所
項目	設問	Mr. Mohamed Farook Ahamed Zaneer Subject Matter Officer - Other field crops	Mr. Edirisooriya Patabendige Sugathapala, Divisional officer	Mr. Piyasena Wanigasekara Development officer
1. プロジェクトの妥当性	(1)プロジェクトの目的は対処地域のニーズと合致しているか。	そう思う。プロジェクトは地域の課題への対処から開始されている。	そう思う。	そう思う。
	(2)NGO 等の他団体との支援の重複はないか。	農業事務所や NGO 等が同様な活動を行っている。	特に無い。	そう思う。
2. プロジェクト目標の達成予測	(1)プロジェクト実施期間終了までに、目標は達成できると思われるか。	思わない。活動と機能が十分ではない。	そう思う。	そう思う。
	(2) 対象コミュニティの変化や事業における自助努力は見られるか。	大きなものではないが、変化がある。住民は何が課題を理解している。	(回答無し)	(回答無し)
	(3)プロジェクトは業務において有効と感じているか。	そう思う。	(回答無し)	(回答無し)
	(4)プロジェクト目標の達成を阻む要因は何か。	どのような要因か判らない。	(回答無し)	(回答無し)
3. プロジェクト活動の効率性とマネジメント	3.1 プロジェクト活動			
	(1)プロジェクトの活動は円滑に実施されたか。	(回答無し)	(回答無し)	そう思う。
	(2)プロジェクト活動の遅延はあった、原因は何か。	(回答無し)	(回答無し)	特に無い。
	(3)農村生活の改善に効果的な活動は何か。	小規模農家グループのニーズを把握し、社会的経済的な支援を行うこと。	(回答無し)	農業活動、種子生産、パラシュート農法、インフラ整備
	(4)対象住民の生計向上に効果的な	啓発活動	(回答無し)	研修プログラム、財政マネーメン

	活動は何か			ト、一村一品運動
	(5)最も効果的と思われるスリランカ側の投入は何か	技術指導や道路開発等に加わった行政官	(回答無し)	郡評議会、開発/技術官、活動モニタリング等
	(6)最も効果的と思われる日本側の投入は何か。	技術知識や資金的支援	(回答無し)	村落事業の選定から住民への引き渡しまで全てが上手くいった。
	3.2 プロジェクト・マネージメント			
	(1)プロジェクトの実施過程に十分に参与して来たか。	(回答無し)	(回答無し)	そう思う。活動の其々の過程に参加した。
	(2)日本側スタッフとの関係性は良好であったか。	そう思う。	(回答無し)	そう思う。
4. プロジェクトのインパクト	4.1 プロジェクト活動によるインパクト			
	(1)プロジェクトの実施による予期しないポジティブなインパクトは観察されたか。	(回答無し)	(回答無し)	そう思う。
	(2)プロジェクトの実施による予期しないネガティブなインパクトは観察されたか。	(回答無し)	(回答無し)	特に無い。
5. プロジェクト効果の持続性	5.1 政策及び制度面			
	(1)プロジェクトの効果は持続するか、また、中央政府等の政策や制度での活用の可能性はあるか。	継続的な支援を望む。	(回答無し)	そう思う。
	5.2 組織及び財政面			
	(1)プロジェクト効果を維持するための、組織や財政的な措置がなされるか	(回答無し)	(回答無し)	そう思う。
	(2)プロジェクトの効果を持続するために必要な要素は何か。	(回答無し)	(回答無し)	コミュニティによる維持への継続的な関与。
	5.3 技術面			
(1)プロジェクトで導入された技術、知識、アプローチはカウンター	そう思う。所属部門において技術やアプローチに係る支援を継	(回答無し)	習得した知識を域外に波及させるため、郡及び農業会合にてこれ	

	パート側で維持されていくか。	続出来ると思う。		らの知見を、他の地域の行政村職員や郡評議会職員と共有することが重要。
	(2)もし、これらの技術等が維持されない場合、その要因は何か。	そう思う。	(回答無し)	そう思う。
6.	その他のコメント	(回答無し)	(回答無し)	(回答無し)

